

令和4年度 市民意識調査 結果報告書

～「個性きらめき 魅力あふれる ホツとなまち 岸和田」の実現をめざして～



2022（令和4）年12月

岸和田市

目 次

第1 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査方法と回収結果	2
3. 利用上の注意	3
4. 本調査における施策体系と設問の関係	4
第2 回答者の属性	7
1. 母集団と回答者の比較	8
2. 回答者の内訳	10
第3 住みやすさ意識調査結果	15
1. 「住みやすさ」の全体の結果	16
2. 「住みやすさ」の経年比較	17
3. 「住みやすさ」の属性分析	18
4. 「住み続けたい」の全体の結果	25
5. 「住み続けたい」の属性分析	25
6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果	33
7. 「住み続けたいと思う理由（上位3項目）」の属性分析	33
8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果	36
9. 「住み続けたくないと思う理由（上位3項目）」の属性分析	36
10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係	40
11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果	42
第4 施策指標調査結果	43
1. 施策指標	44
2. 施策指標値調査結果	44
第5 重要度調査結果	47
1. 「重要度」の全体の結果	48
2. 基本目標別の「重要度」の結果	50
3. 「重要度（上位3項目）」の属性分析	54
第6 子育て世代の意向状況	61
1. 子育て世代の調査結果の傾向	62
2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況	63
第7 自由意見	67
1. 「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の体系	68
2. いただいた様々なご意見	70
巻末資料	79
1. その他集計結果	80
2. アンケート調査票	85

第 1 調査の概要

第1 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住している15歳以上75歳未満の市民を対象に、地域の課題や市が取り組んでいる施策に対する市民意識を調査・分析し、今後の岸和田市のまちづくりの参考資料とするためのものです。平成17年から平成19年にかけては、「第3次岸和田市総合計画」の施策体系の下に実施され、平成22年以降は、「第4次岸和田市総合計画（岸和田市まちづくりビジョン）」の施策体系下を実施しました。今回の調査からは、令和5年4月にスタートする「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の施策体系下を実施します。

本調査は、限られた財源の中、効果的・効率的に資源配分をしていくための参考資料とするためのもので、調査の結果は、行政サービスの検討・向上につなげるとともに、様々な計画や予算等に反映させることを目的としています。

具体的には、市民の声を積極的に市政に反映させ、市民との協働によるまちづくりをさらに推進するため、市民自身の思いや居住地域についてどう感じているか、今後、市がどのような施策に力を注いでいくべきであると感じているか（重要度）、また、その取組の成果を計る『物差し』としての指標（成果指標）の進行管理のための調査です。

2. 調査方法と回収結果

（1）調査地区

大阪府岸和田市全域

（2）調査対象

市内在住の15歳以上75歳未満の男女約4,000人

（3）抽出方法

岸和田市住民基本台帳（令和4年4月30日現在）から無作為に抽出

（4）調査方法

アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

郵送回収、または、インターネット回答

（5）調査期間

令和4年5月18日～6月3日

（6）回収結果

抽出数	実送付数	有効回答数	有効回答率
4,002人	3,969人	1,451人	36.6%
有効回答数の内訳		郵送回答 1,158人	構成比 79.8%
		ネット回答 293人	構成比 20.2%

※ 郵送返戻等の理由により、抽出数と実送付数との間に差が生じます。

(7) 調査主体

岸和田市総合政策部企画課

(8) 集計・分析

株式会社 地域社会研究所

3. 利用上の注意**(1) 調査結果**

- (1) 結果は百分率で表示しています。百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問該当者を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

(2) 標本誤差の信頼区間

本調査は標本調査のため、統計上の誤差（標本誤差）が生じます。標本誤差は、母集団と得られた標本数（サンプル数）の結果によって異なります、信頼度 95%における誤差は、下記の表のとおりです。

たとえば、1,451 人の回答者がいる中で、Aという選択肢を選んだ回答者が 50%だったとすると、標本誤差は±2.6%であるため、誤差を考慮した場合、同種の調査を 100 回実施すれば 95 回までは、この回答率は 47.4%～52.6%の間に入るだろう、と推定できるということになります。

■主要な回答者の比率における信頼区間

		総数	都市 中核	岸和田 北部	葛城 の谷	岸和田 中部	久米田	牛滝 の谷	29歳 以下	30～ 49歳	50～ 64歳	65歳 以上	男性	女性
母集団 (N)		138,227	35,052	25,655	24,463	15,022	20,165	17,870	30,005	44,128	39,055	25,039	68,147	70,080
サンプル数 (n)		1,451	402	277	187	157	197	194	261	451	426	299	684	704
回答者の 比率	50%	2.6	4.9	5.9	7.1	7.8	6.9	7.0	6.0	4.6	4.7	5.6	3.7	3.7
	55% 45%	2.5	4.8	5.8	7.1	7.7	6.9	7.0	6.0	4.6	4.7	5.6	3.7	3.7
	60% 40%	2.5	4.8	5.7	7.0	7.6	6.8	6.9	5.9	4.5	4.6	5.5	3.7	3.6
	65% 35%	2.4	4.6	5.6	6.8	7.4	6.6	6.7	5.8	4.4	4.5	5.4	3.6	3.5
	70% 30%	2.3	4.5	5.4	6.5	7.1	6.4	6.4	5.5	4.2	4.3	5.2	3.4	3.4
	75% 25%	2.2	4.2	5.1	6.2	6.7	6.0	6.1	5.2	4.0	4.1	4.9	3.2	3.2
	80% 20%	2.0	3.9	4.7	5.7	6.2	5.6	5.6	4.8	3.7	3.8	4.5	3.0	2.9
	85% 15%	1.8	3.5	4.2	5.1	5.6	5.0	5.0	4.3	3.3	3.4	4.0	2.7	2.6
	90% 10%	1.5	2.9	3.5	4.3	4.7	4.2	4.2	3.6	2.8	2.8	3.4	2.2	2.2
	95% 5%	1.1	2.1	2.6	3.1	3.4	3.0	3.1	2.6	2.0	2.1	2.5	1.6	1.6

4. 本調査における施策体系と設問の関係

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	重要度	施策指標 (施策関連)
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生き、育てられている	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	問23-1	
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	問23-2	問22-ウ 問22-タ
	働きながら子育てができています	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	問23-3	問22-チ
	子どもの健康と安全が保たれている	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	問23-4	—
		食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	問23-5	—
		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	問23-6	問22-ツ
		障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	問23-7	—
	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	問23-8	—
		適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	問23-9	—
		子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	問23-10	問22-テ
		学校園の適正な維持管理や魅力ある運営を行う	問23-11	—
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	問23-12	—
		地域の産業を担う人材育成を進める	問23-13	—
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	問23-14	問7
		スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	問23-15	問4
		芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	問23-16	問5
	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	働きたい人の就労機会の確保を進める	問23-17	問22-ク
		市内事業所の労働環境の向上を進める	問23-18	問17 問22-イ 問22-ケ
		障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	問23-19	問22-ア
		高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	問23-20	問22-ア
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	問23-21	問6
		岸和田の歴史や文化の保存・活用を進める	問23-22	問22-コ

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	重要度	施策指標 (施策関連)
健康で自分らしく 生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	問23-23	問14
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	問23-24	問13
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	問23-26	問22-ス
		男女共同参画の取組を進める	問23-27	問22-セ
		みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	問23-28	問22-ナ
		平和への意識向上を進める	問23-25	問22-シ
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	問23-29	問22-ハ
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	問23-30	—
		医療保険制度を適切に運営する	問23-31	—
		高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	問23-32	問22-ノ
		障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	問23-33	—
		生活困窮者などに必要な支援を行う	問23-35 問23-36	—
		住宅困窮者に居住支援を行う	問23-34	—
安全で安心して 暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	問23-37	問22-ト
		空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	問23-38	—
		防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	問23-39	—
		安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	問23-40	問20
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	問23-41	—
		発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める	問23-42	問18 問19
		火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	問23-43	—

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	重要度	施策指標 (施策関連)
人と自然が共生した 住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	問23-44	問21
		安全安心な水を安定的に供給する	問23-45	問22-工
		まちの美化を進める	問23-46	問10
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	問23-47	—
		貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	問23-48	問22-サ
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	問23-49	問11
		省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	問23-50	問12
にぎわいと活力を 創造するまち	活発な経済活動が行われている	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	問23-51	問15 問16 問22-キ
		新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	問23-52	—
		農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	問23-53	問22-オ
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	問23-54	問22-カ
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	問23-55	—
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	問23-56	問22-ニ
		拠点とのアクセス性の向上を図る	問23-57	問22-ネ
		適正な土地利用と景観形成を進める	問23-58	問22-ヌ
みんなが 持続可能なまち をつくる	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	—	問8 問9 問22-ヒ
		当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	—	問22-ソ
	持続可能で信頼される行政になっている	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	—	—
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	—	—
		行政手続きが便利になる環境づくりを進める	—	問22-フ
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	—	—
		市独自の歳入確保を進める	—	—

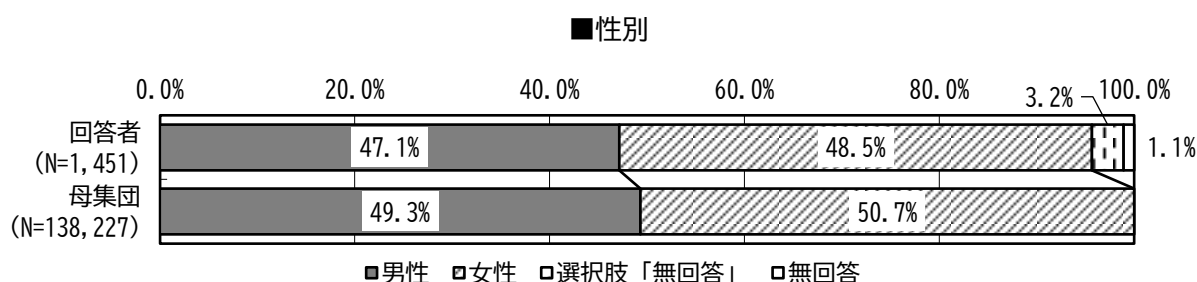
第2 回答者の属性

第2 回答者の属性

1. 母集団と回答者の比較

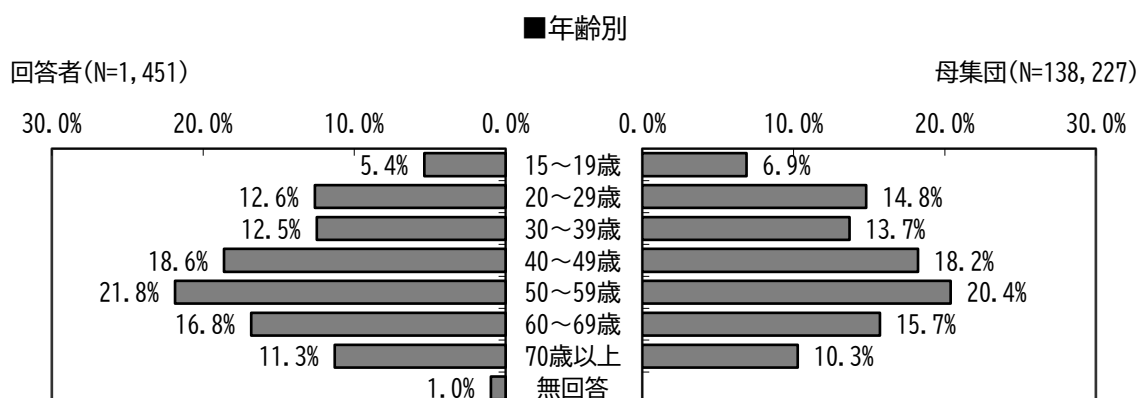
(1) 性別

性別にみると、回答者の割合は、「選択肢で『無回答』を選んだ人」と単なる「無回答」を除くと、母集団と同様に女性の割合が高くなっています。



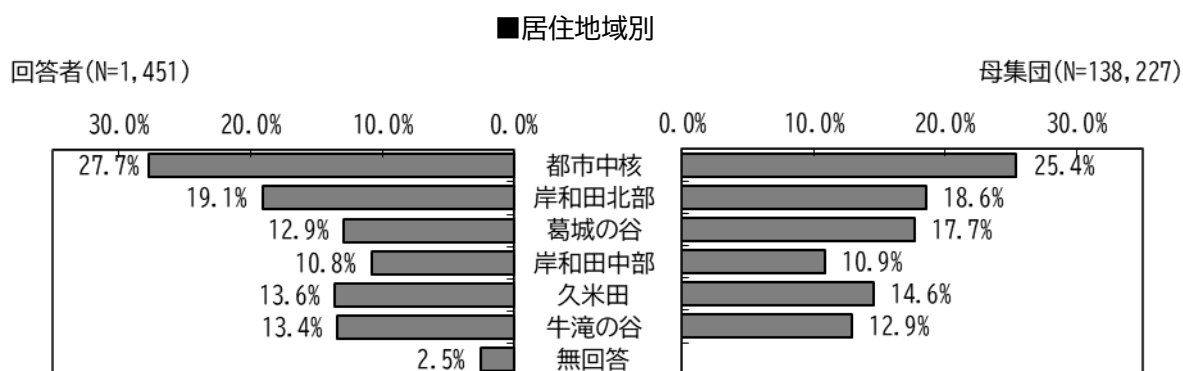
(2) 年齢

年齢別にみると、回答者の割合構成比率は、母集団に比べて、40歳未満の比率が低く、40歳以上の比率が高い傾向にあります。



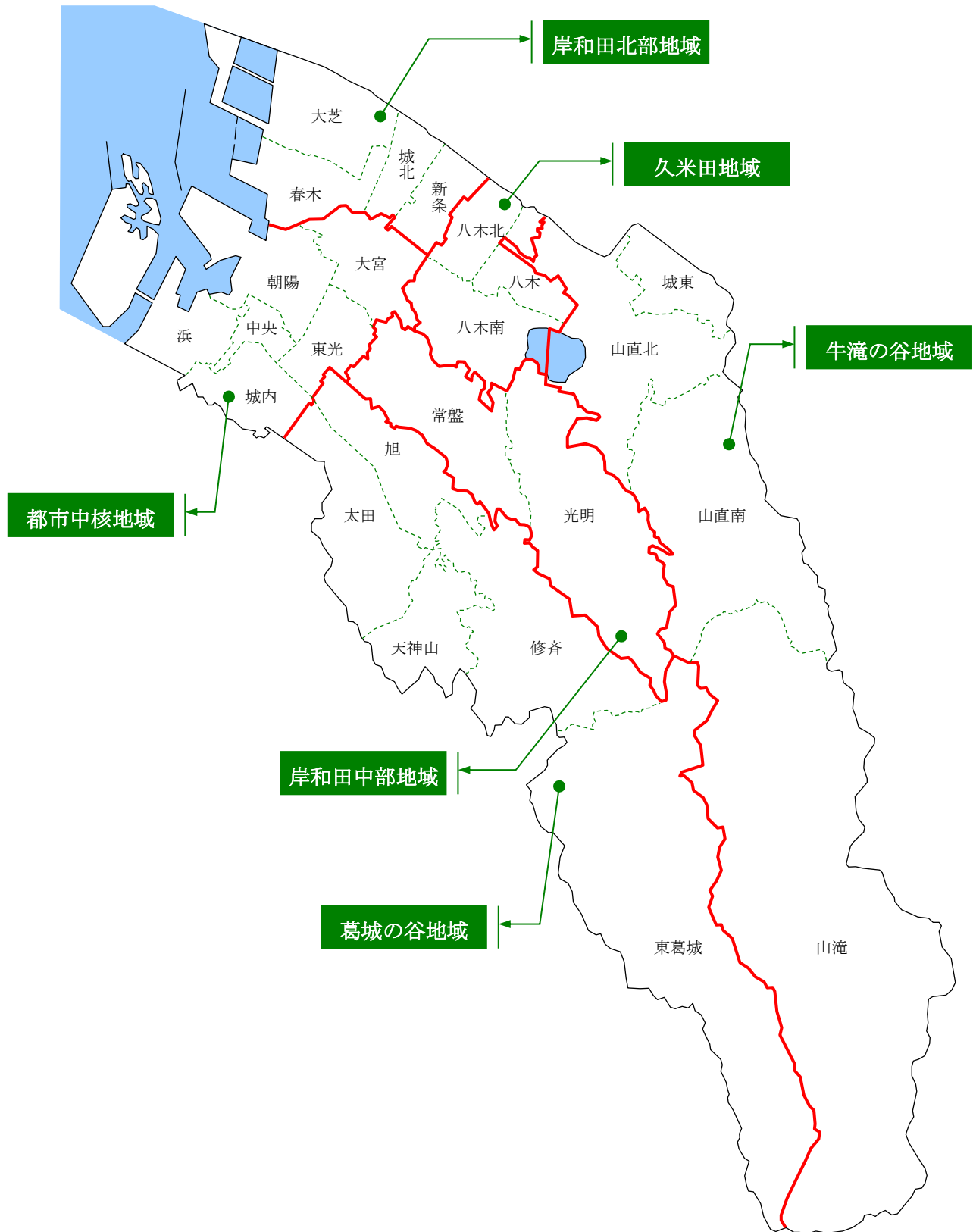
(3) 居住地域

居住地域別にみると、回答者の割合は、「葛城の谷地域」では母集団に比べて、特に低くなっています。



※母集団とは、アンケート対象者抽出の基準となった、令和4年4月30日現在の15歳以上75歳未満の岸和田市住民基本台帳に記載されている方の合計。

■岸和田市内各町と圏域の関係

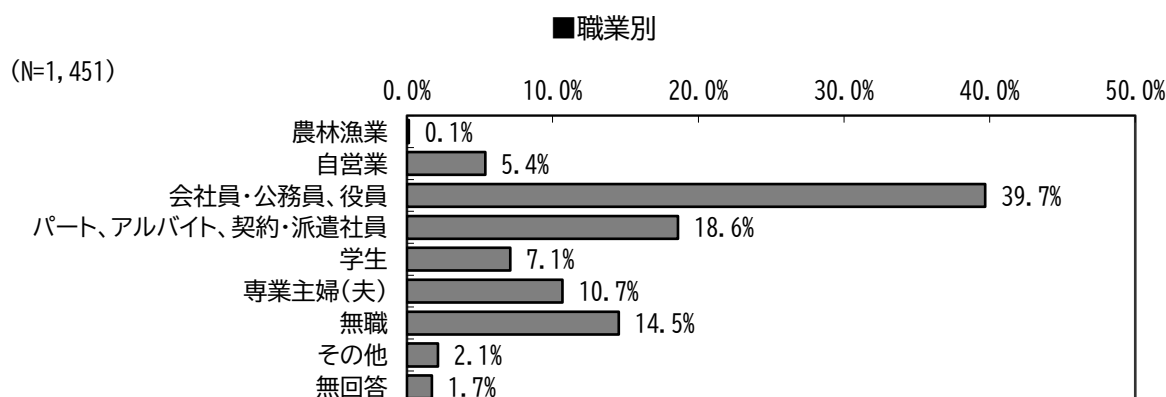


2. 回答者の内訳

(1) 職業別、および、勤務地・通学地別

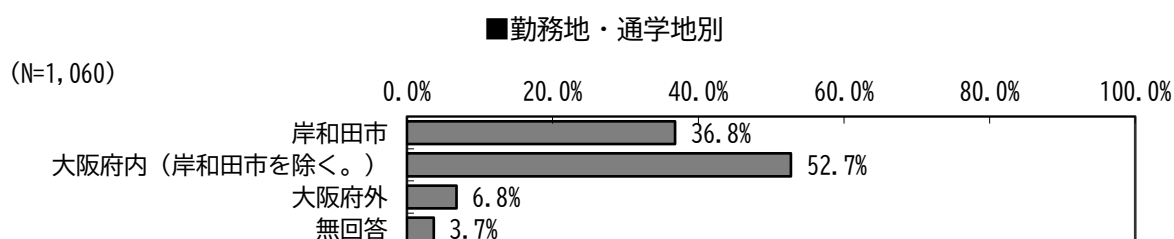
① 職業別

回答者の職業は、「会社員・公務員、役員」(39.7%)が最も多く、次いで「パート、アルバイト、契約・派遣社員」(18.6%)、「無職」(14.5%)です。



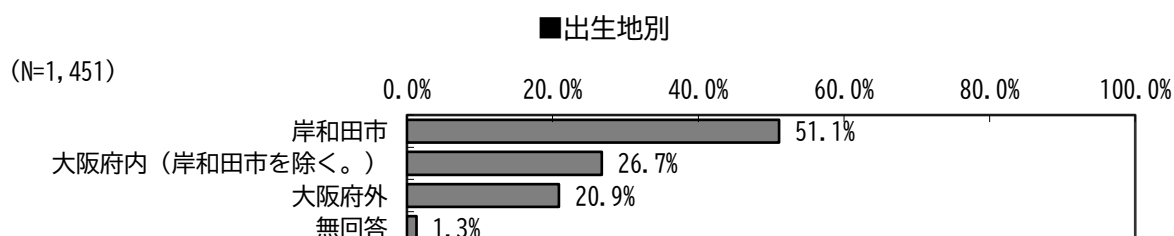
② 勤務地・通学地別

回答者の勤務地・通学地は、「大阪府内（岸和田市を除く。）」(52.7%)が最も多く、次いで「岸和田市」(36.8%)、「大阪府外」(6.8%)です。



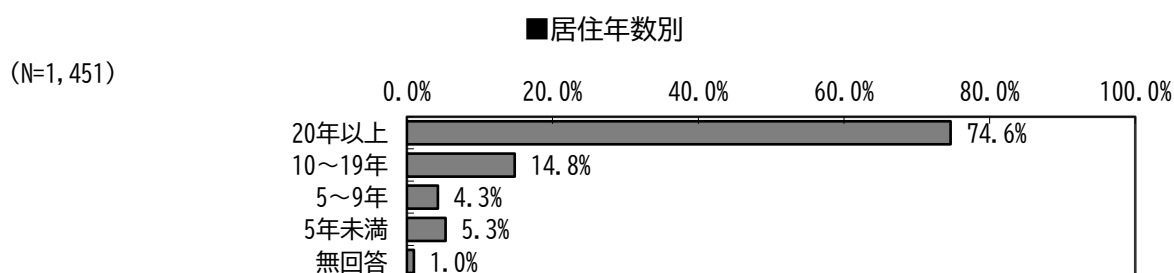
(2) 出生地別

回答者の出生地は、「岸和田市」(51.1%)が最も多く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」(26.7%)、「大阪府外」(20.9%)です。



(3) 居住年数別

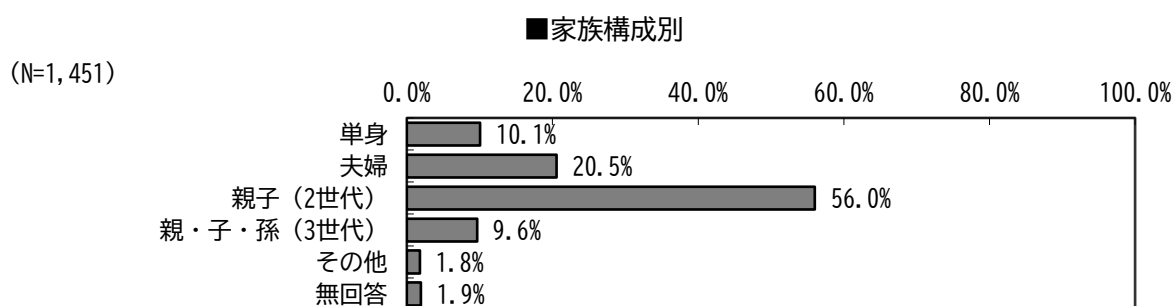
回答者の居住年数は、「20年以上」(74.6%)が最も多く、次いで「10～19年」(14.8%)、「5年未満」(5.3%)です。



(4) 家族構成別、および、世帯人員別

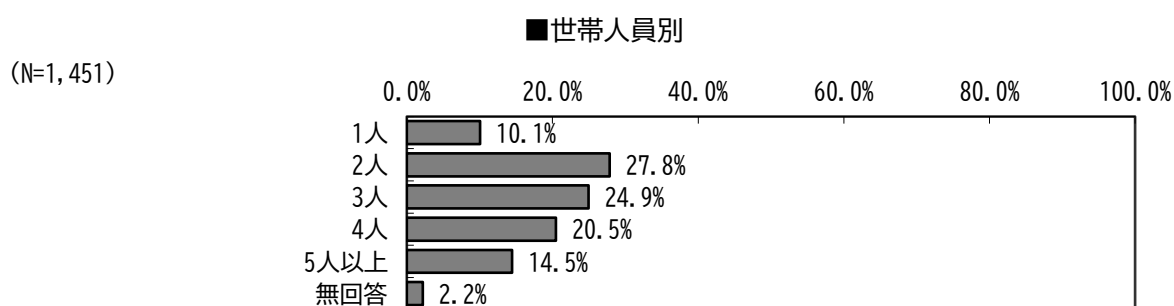
① 家族構成別

回答者の家族構成は、「親子(2世代)」(56.0%)が最も多く、次いで「夫婦」(20.5%)、「単身」(10.1%)です。



② 世帯人員別

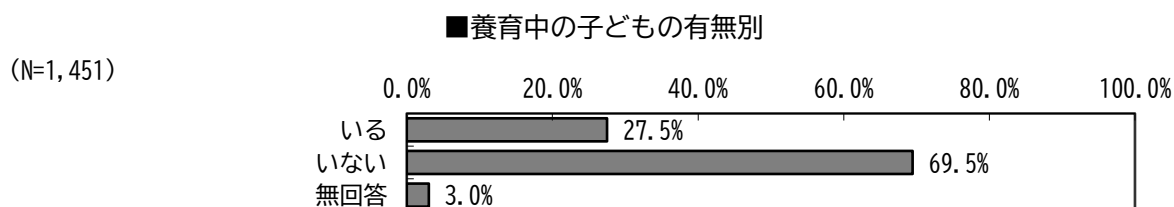
回答者の世帯人員は、「2人」(27.8%)が最も多く、次いで「3人」(24.9%)、「4人」(20.5%)です。



(5) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

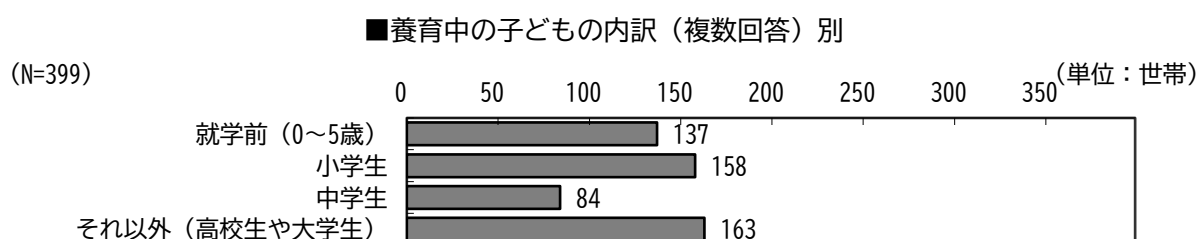
① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもが「いる」回答者は、27.5%（399 世帯）です。



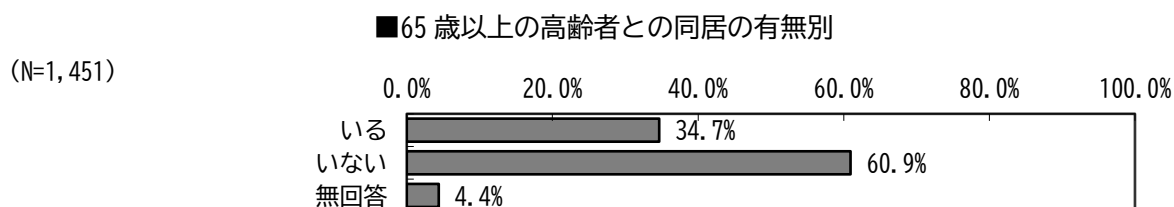
② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳は、「それ以外（高校生や大学生）」（163 世帯）が最も多く、次いで「小学生」（158 世帯）、「就学前（0～5 歳）」（137 世帯）です。



(6) 65 歳以上の高齢者との同居の有無別

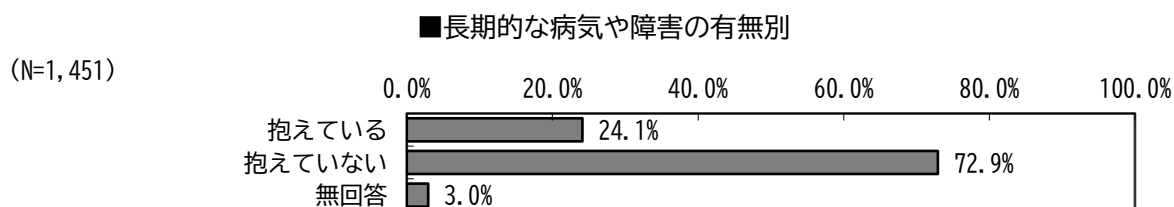
同居の 65 歳以上の高齢者が「いる」回答者は、34.7%（503 世帯）です。



(7) 長期的な病気や障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別

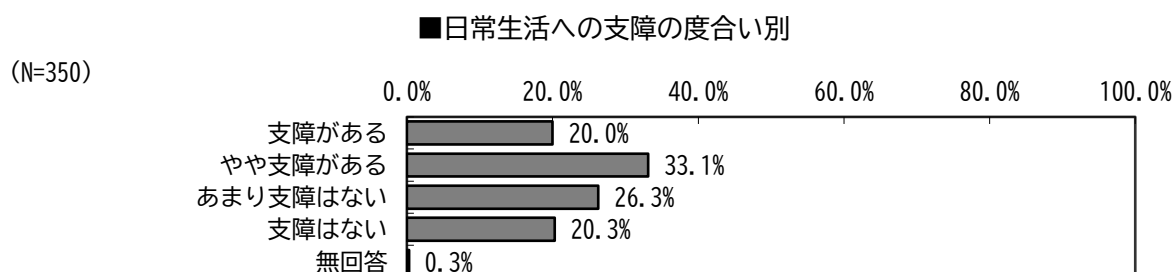
① 長期的な病気や障害の有無別

現在、長期的な病気や障害を「抱えている」回答者は、24.1%です。



② 日常生活への支障の度合い別

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合いは、「やや支障がある」(33.1%)が最も多く、次いで「あまり支障はない」(26.3%)、「支障はない」(20.3%)です。



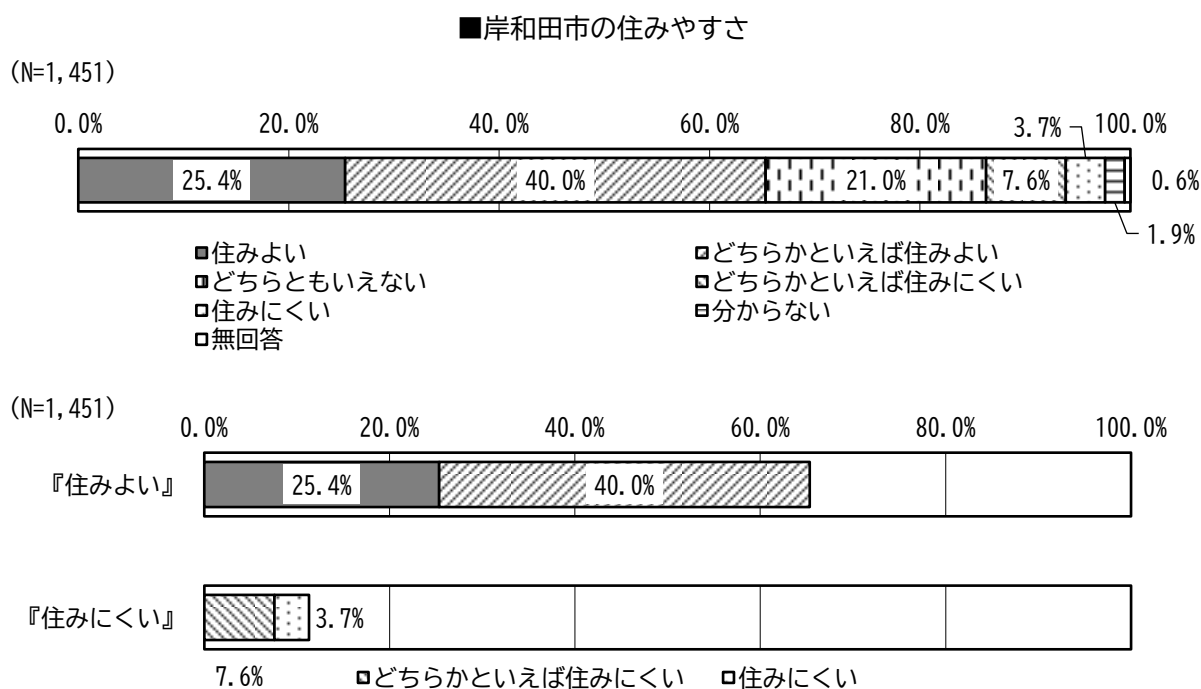
第3 住みやすさ意識調査結果

第3 住みやすさ意識調査結果

1. 「住みやすさ」の全体の結果

〔問1〕の住みやすさ意識調査の結果、「住みよい」（25.4%）と「どちらかといえば住みよい」（40.0%）をあわせた『住みよい』は65.4%となっており、全体の約3分の2の人が、岸和田市は『住みよい』と感じています。

一方、「住みにくい」（3.7%）と「どちらかといえば住みにくい」（7.6%）をあわせた『住みにくい』は11.3%となっており、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、約1割いることがわかります。

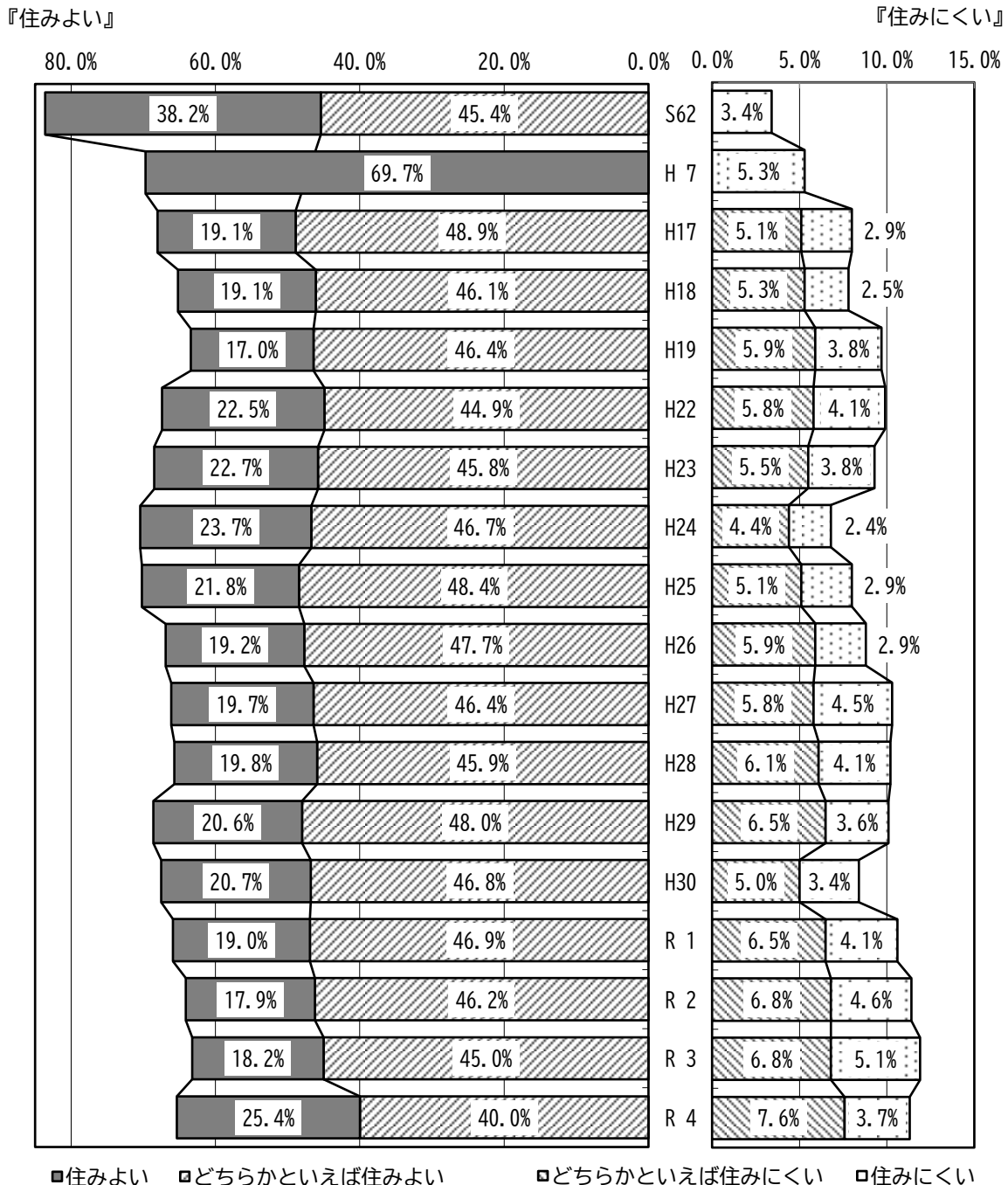


2. 「住みやすさ」の経年比較

昭和62年の調査時には83.6%と8割を超える人が、岸和田市を『住みよい』と感じていましたが、平成7年の調査時には、約7割に減少しました。その後は増減があるものの、令和4年は『住みよい』と感じている人が65.4%となっています。

一方、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、昭和62年の調査で3.4%であったものの、その後、増加を続け、平成22年の調査では1割に迫る数値となりました。その後、1割未満となった期間を経て、平成27～29年は約1割で推移していましたが、平成30年は1割を下回り、令和元～4年の調査では、再び約1割となっています。

■経年比較：岸和田市の住みやすさ

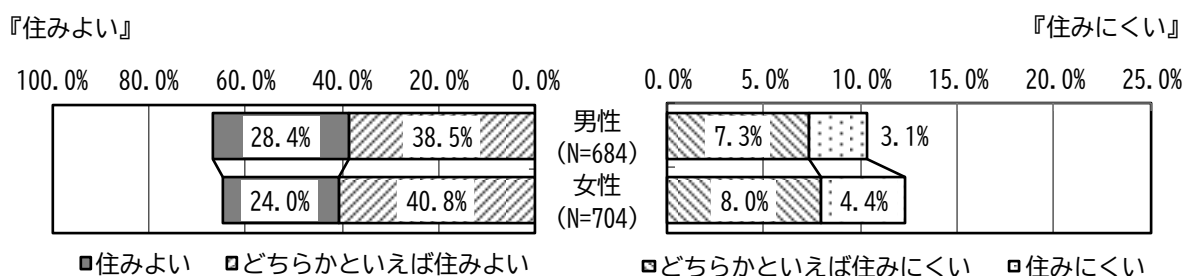


3. 「住みやすさ」の属性分析

(1) 性別

性別にみると、『住みよい』は「男性」が66.9%で、「女性」の64.8%より2.1ポイント上回っています。また、『住みにくい』は「男性」が10.4%で、「女性」の12.4%より2.0ポイント下回っています。

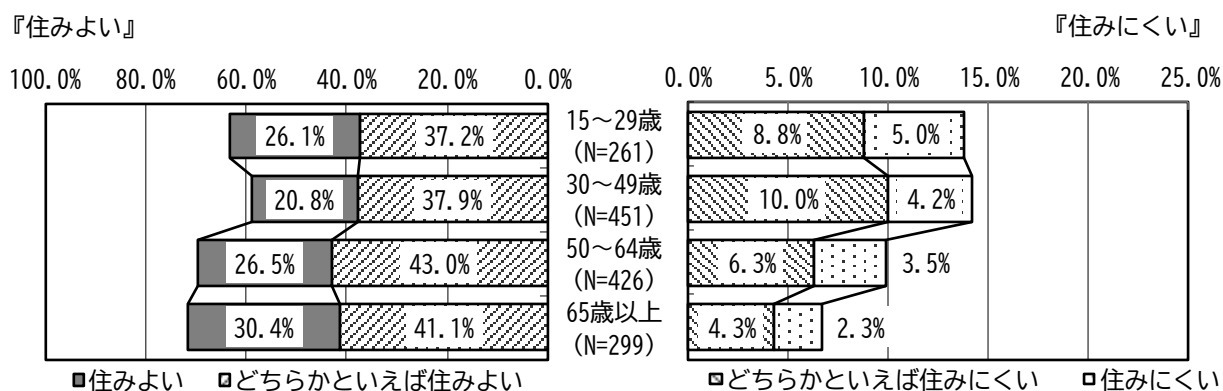
■性別：岸和田市の住みやすさ



(2) 年齢別

年齢別にみると、『住みよい』は、「30～49 歳」の年齢層で最も低く、58.7%となっており、最も高い「65 歳以上」の年齢層の71.5%と比較して12.8ポイントの開きがあります。一方、『住みにくい』は、「30～49 歳」の年齢層で14.2%と最も高く、次いで「15～29 歳」の年齢層で13.8%となっています。

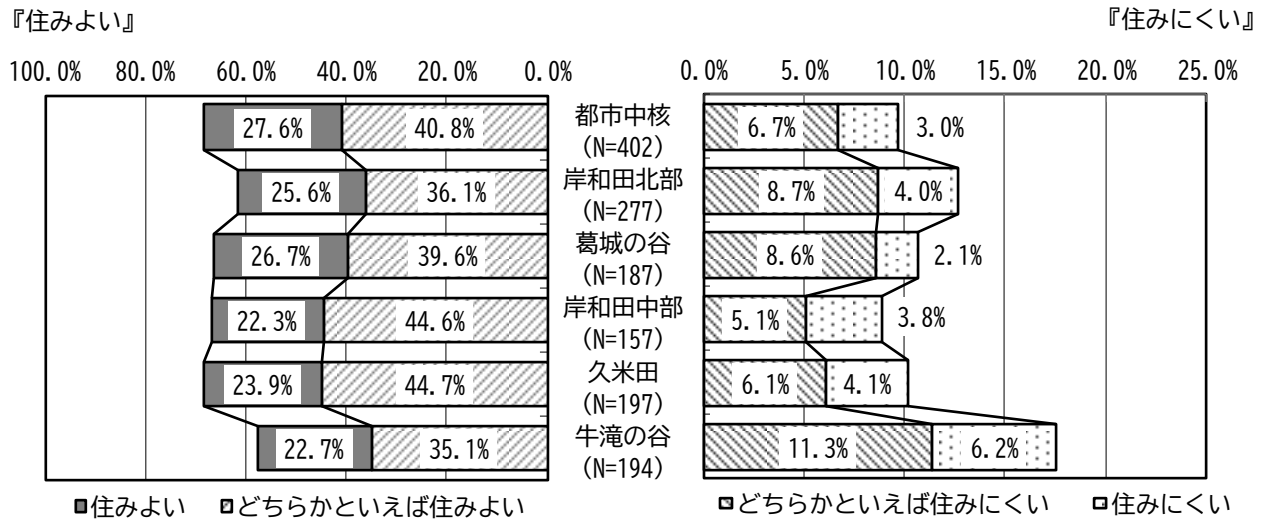
■年齢別：岸和田市の住みやすさ



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住みよい』は「久米田地域」(68.6%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(68.4%)となっています。一方、『住みにくい』は「牛滝の谷地域」(17.5%)が最も高く、他地域に比べて高い割合となっています。

■居住地域別：岸和田市の住みやすさ

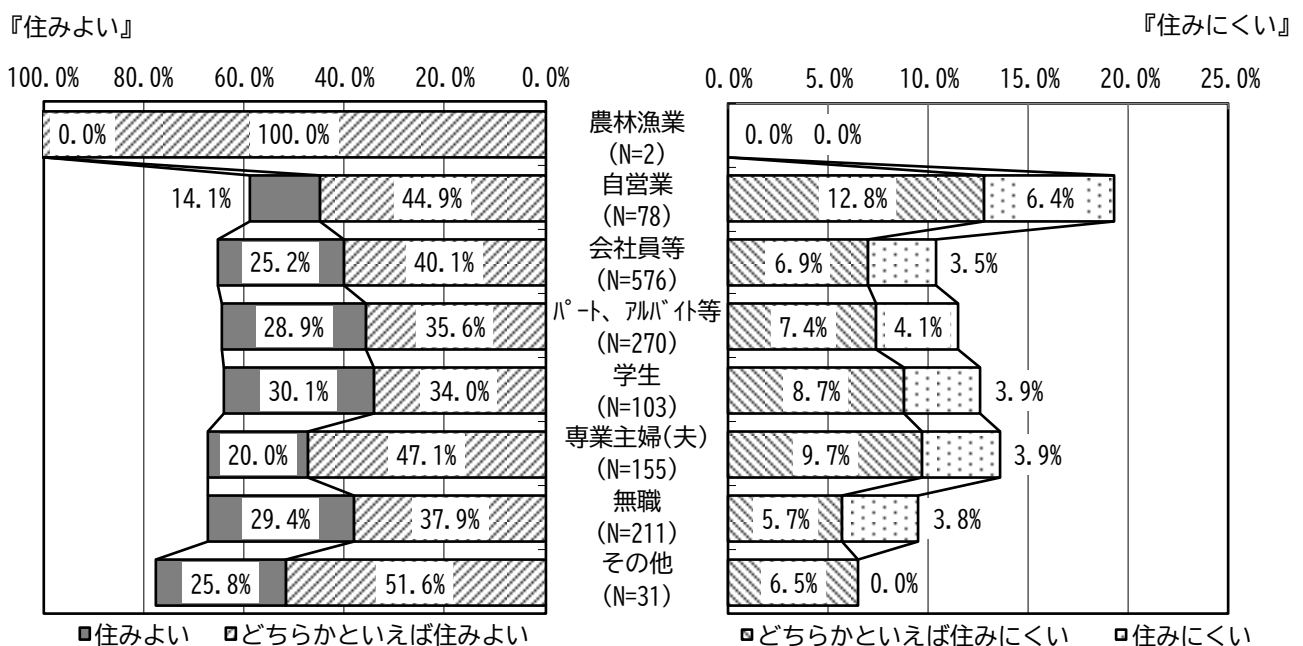


(4) 職業別、および、勤務地・通学地別

① 職業別

職業別にみると、『住みよい』は回答数が少ない「農林漁業」を除いて、「その他」(77.4%)が高く、次いで「無職」(67.3%)、「専業主婦(夫)」(67.1%)となっています。一方、『住みにくい』は「自営業」(19.2%)が高く、次いで「専業主婦(夫)」(13.6%)となっています。

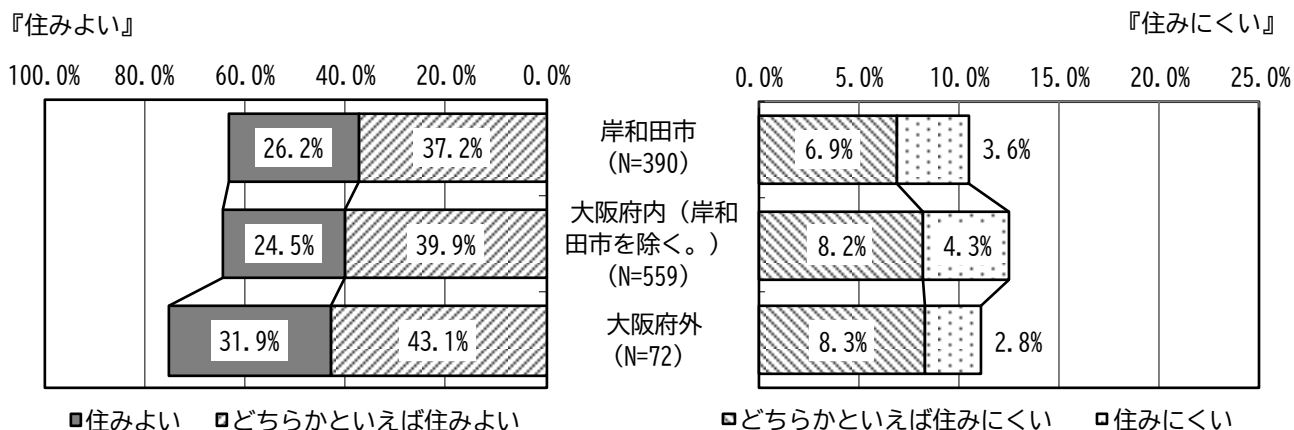
■職業別：岸和田市の住みやすさ



② 勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住みよい』は「大阪府外」（75.0%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（64.4%）、「岸和田市」（63.4%）となっています。一方、『住みにくい』は「大阪府内（岸和田市を除く。）」（12.5%）が最も高く、次いで「大阪府外」（11.1%）、「岸和田市」（10.5%）となっています。

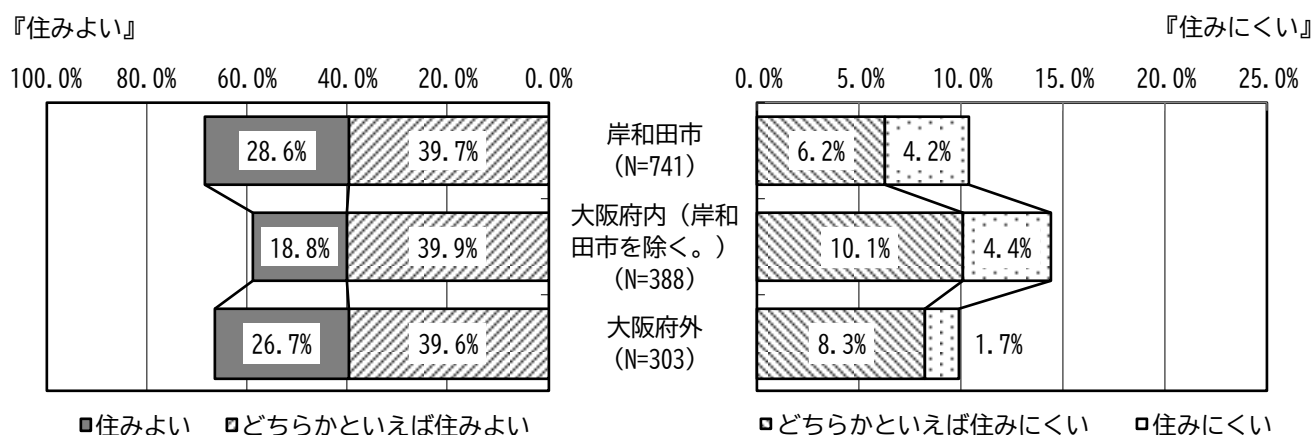
■勤務地・通学地別：岸和田市の住みやすさ



(5) 出生地別

出生地別にみると、『住みよい』は「岸和田市」（68.3%）が最も高く、次いで「大阪府外」（66.3%）、「大阪府内（岸和田市を除く。）」（58.7%）となっています。一方、『住みにくい』は「大阪府内（岸和田市を除く。）」（14.5%）が最も高く、次いで「岸和田市」（10.4%）、「大阪府外」（10.0%）となっています。

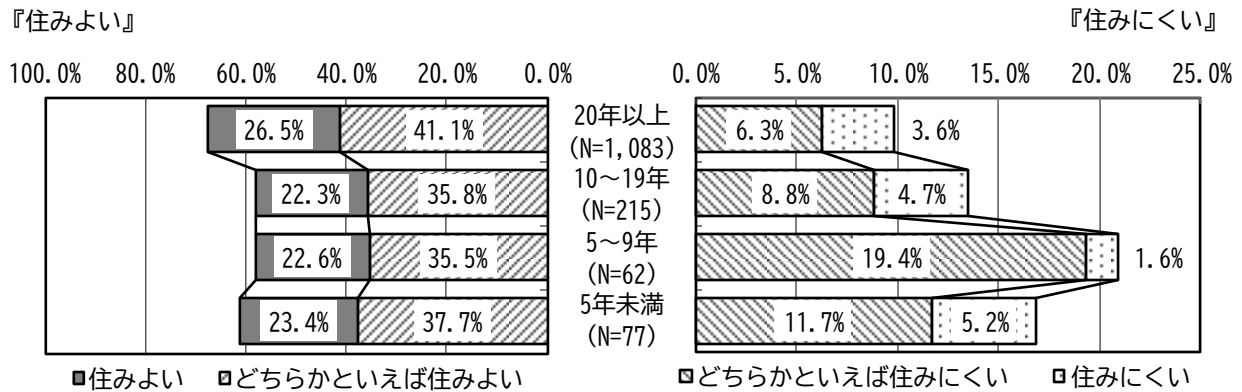
■出生地別：岸和田市の住みやすさ



(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住みよい』は「20年以上」(67.6%)が最も高く、次いで「5年未満」(61.1%)となっています。一方、『住みにくい』は「5～9年」(21.0%)が最も高く、次いで、「5年未満」(16.9%)となっています。

■居住年数別：岸和田市の住みやすさ

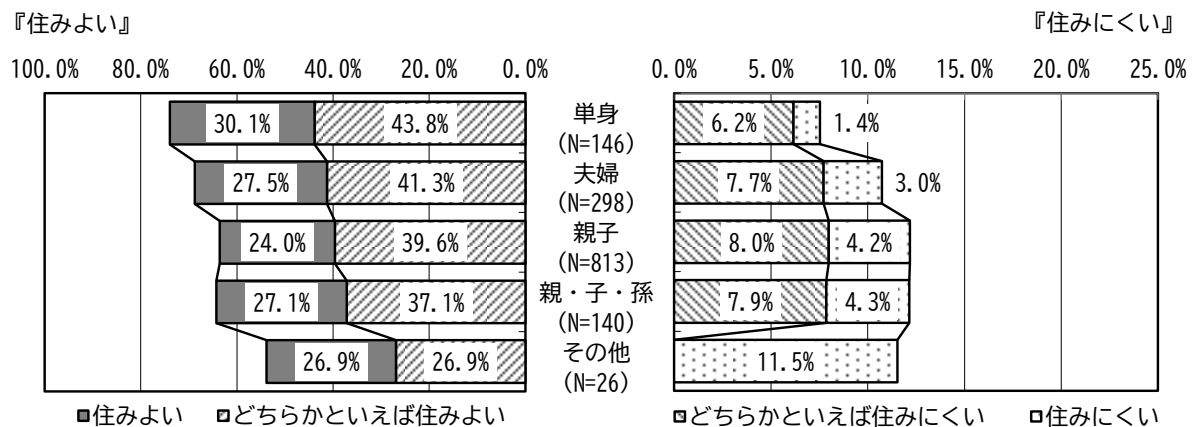


(7) 家族構成別、および、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住みよい』は「単身」世帯(73.9%)が最も高く、次いで「夫婦」世帯(68.8%)となっています。一方、『住みにくい』は「親子」世帯、「親・子・孫」世帯(ともに12.2%)が最も高く、次いで「その他」世帯(11.5%)となっています。

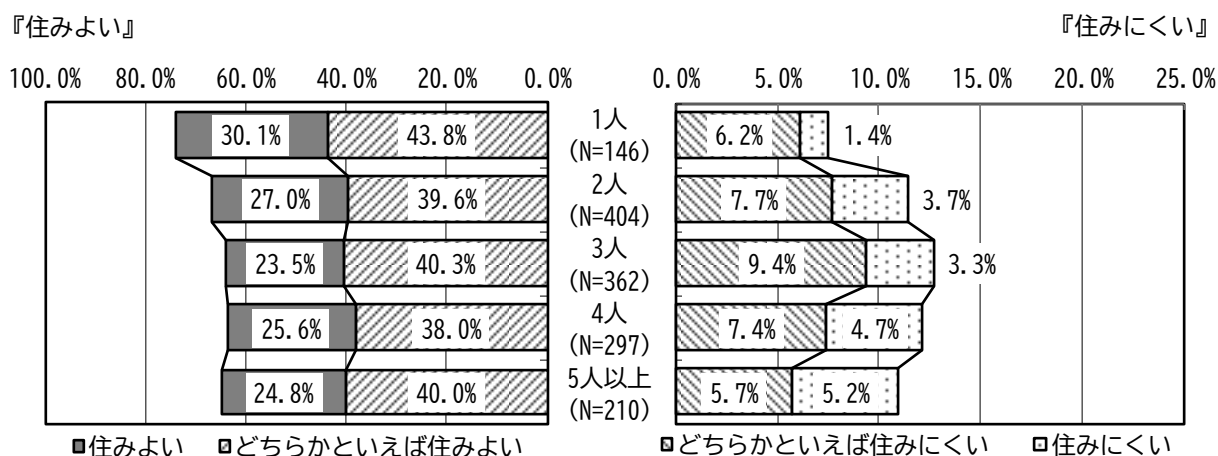
■家族構成別：岸和田市の住みやすさ



② 世帯人員別

世帯人員別にみると、『住みよい』は「1人」世帯（73.9%）が最も高く、次いで「5人以上」世帯（64.8%）となっています。一方、『住みにくい』は「3人」世帯（12.7%）が最も高く、次いで「4人」世帯（12.1%）となっています。

■世帯人員別：岸和田市の住みやすさ

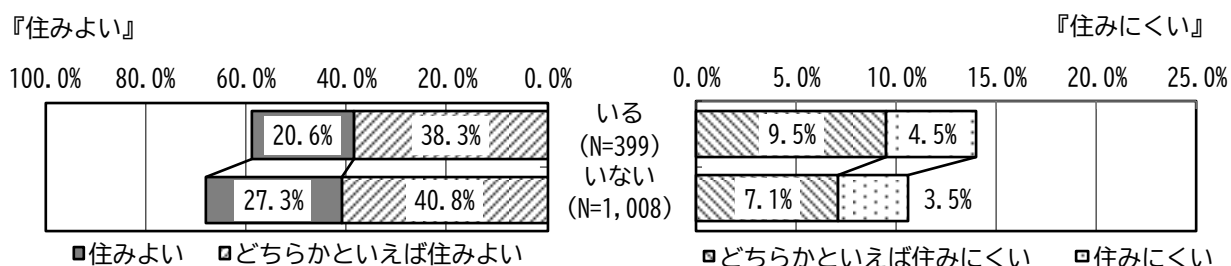


（8）養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住みよい』が58.9%、『住みにくい』が14.0%となっています。一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住みよい』が68.1%、『住みにくい』が10.6%となっています。「養育中の子どもがいる」世帯のほうが住みにくいと感じています。

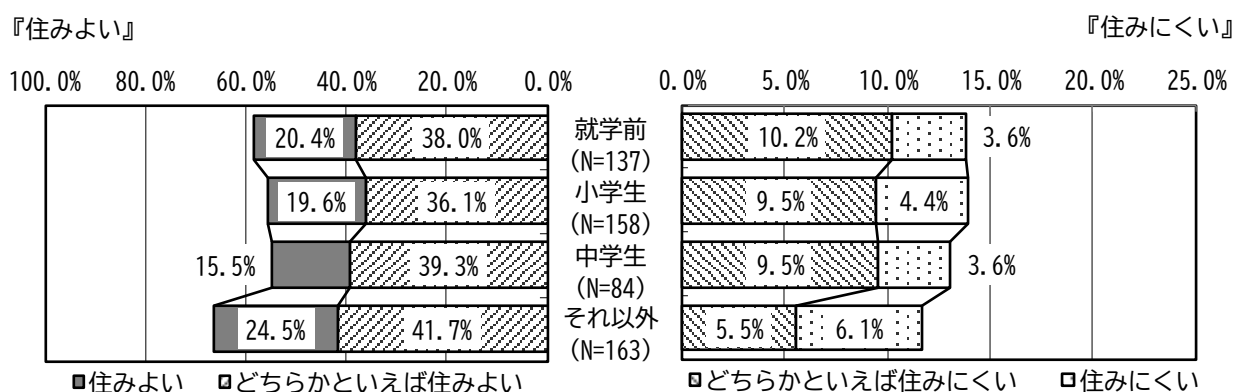
■養育中の子どもの有無別：岸和田市の住みやすさ



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住みよい』は「就学前」「小学生」「中学生」の子どもがいる世帯では、それぞれ54.8%～58.4%で、全体（65.4%）を下回っています。一方、「それ以外」の子どもがいる世帯では、66.2%となっています。また、『住みにくい』は、「就学前」「小学生」「中学生」の子どもがいる世帯では、それぞれ13.1%～13.9%で、全体（11.3%）を上回っています。一方、「それ以外」の子どもがいる世帯では、11.6%となっています。養育中の子どもがいる世帯の中でも、義務教育課程より小さな子どもがいる世帯のほうが住みにくいと感じています。

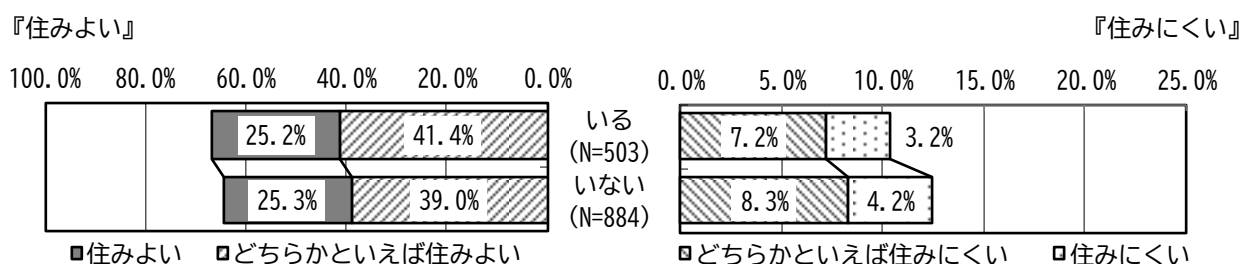
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：岸和田市の住みやすさ



（9）65 歳以上の高齢者との同居の有無別

65 歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「65 歳以上の高齢者がいる」世帯では、『住みよい』が66.6%、『住みにくい』が10.4%となっています。一方、「65 歳以上の高齢者がいない」世帯では、『住みよい』が64.3%、『住みにくい』が12.5%となっています。

■65 歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市の住みやすさ

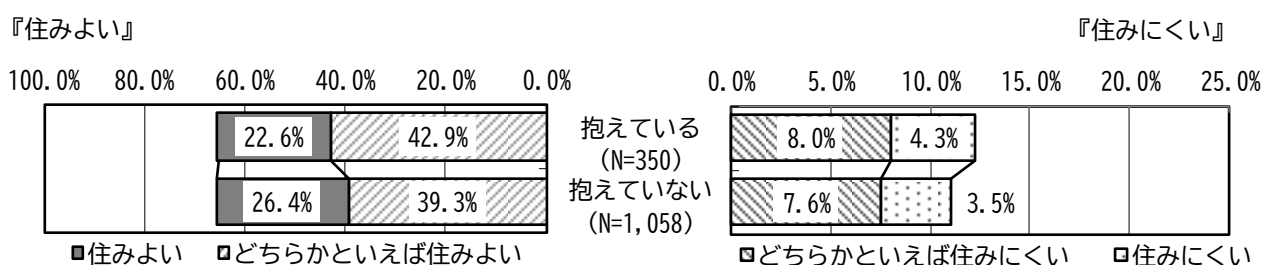


(10) 長期的な病気や障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別

① 長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住みよい』が65.5%、『住みにくい』が12.3%となっています。一方、「抱えていない」人は、『住みよい』が65.7%、『住みにくい』が11.1%となっています。

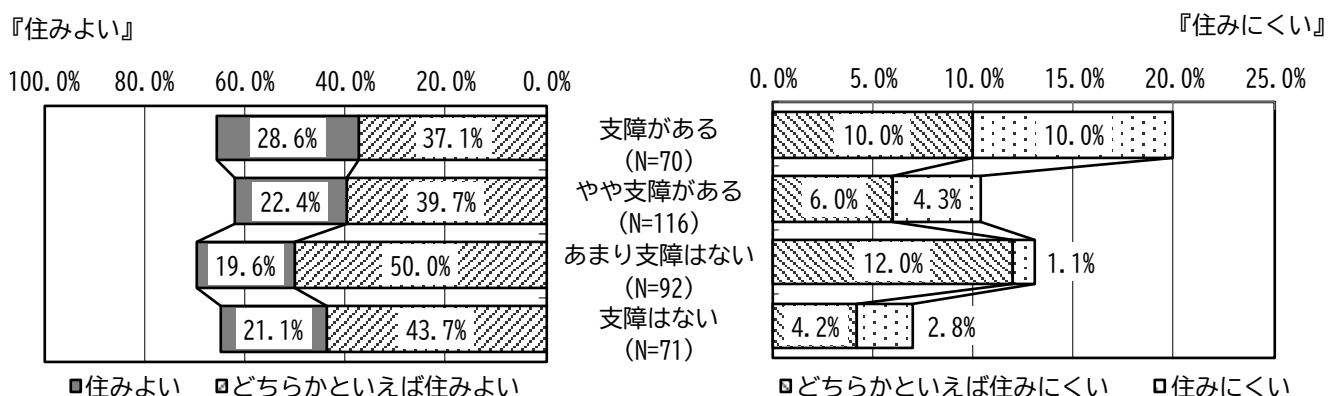
■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市の住みやすさ



② 日常生活への支障の度合い別

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合い別にみると、『住みよい』は「あまり支障はない」(69.6%)が最も高く、次いで「支障がある」(65.7%)となっています。一方、『住みにくい』は「支障がある」(20.0%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(13.1%)となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市の住みやすさ



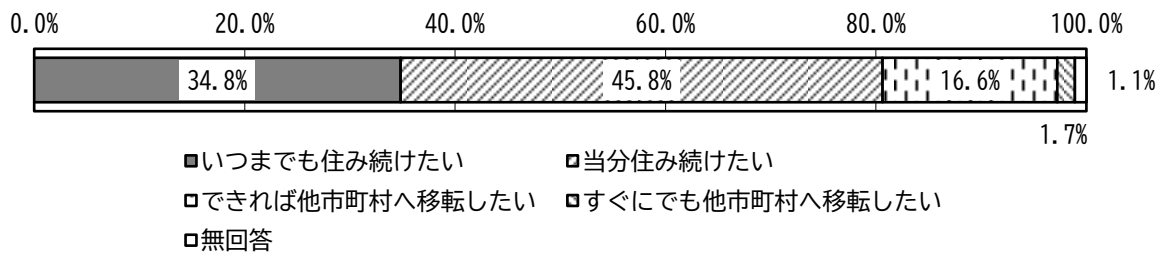
4. 「住み続けたい」の全体の結果

〔問2〕の住み続けたい意識調査の結果、「いつまでも住み続けたい」（34.8%）と「当分住み続けたい」（45.8%）をあわせた『住み続けたい』は80.6%となっており、全体の約8割の人が、岸和田市に『住み続けたい』と感じています。

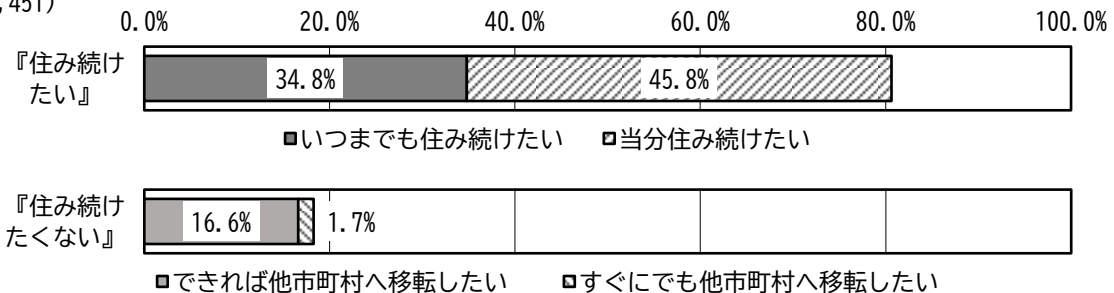
一方、「できれば他市町村へ移転したい」（16.6%）と「すぐにでも他市町村へ移転したい」（1.7%）をあわせた『住み続けたくない』は18.3%となっており、岸和田市に『住み続けたくない』と感じている人は、約2割います。

■岸和田市への居住継続意向

(N=1,451)



(N=1,451)



5. 「住み続けたい」の属性分析

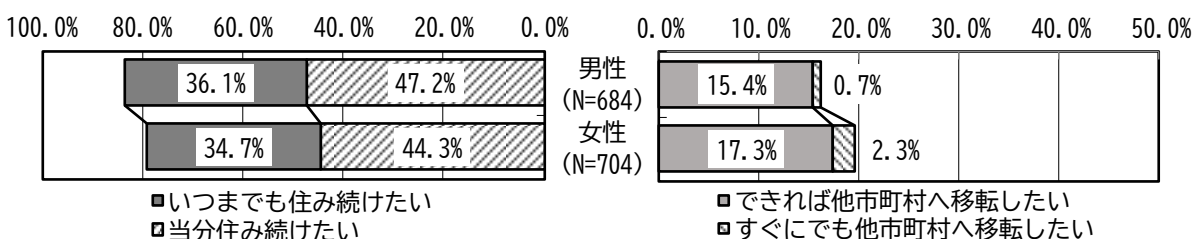
(1) 性別

性別にみると、『住み続けたい』は、「男性」が83.3%で、「女性」の79.0%より4.3ポイント上回っています。また、『住み続けたくない』は、「男性」が16.1%で、「女性」の19.6%を3.5ポイント下回っています。男性は、女性に比べて、居住継続意向が高い傾向にあります。

■性別：岸和田市への居住継続意向

『住み続けたい』

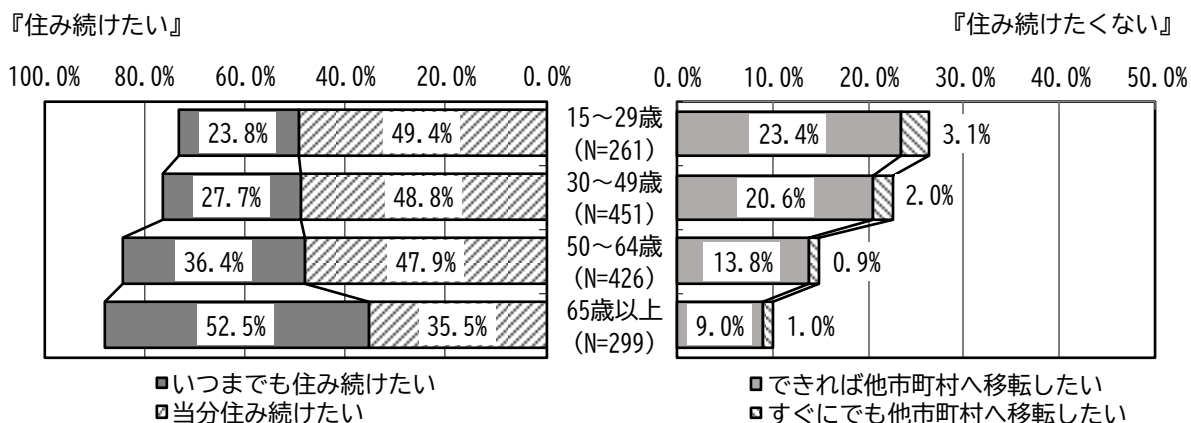
『住み続けたくない』



(2) 年齢別

年齢別にみると、『住み続けたい』は、「15～29歳」の年齢層で最も低く73.2%となっており、最も高い「65歳以上」の年齢層の88.0%と比較して14.8ポイントの開きがあります。一方、『住み続けたくない』は、15～29歳の年齢層で26.5%と最も高く、次いで「30～49歳」の年齢層で22.6%となっています。

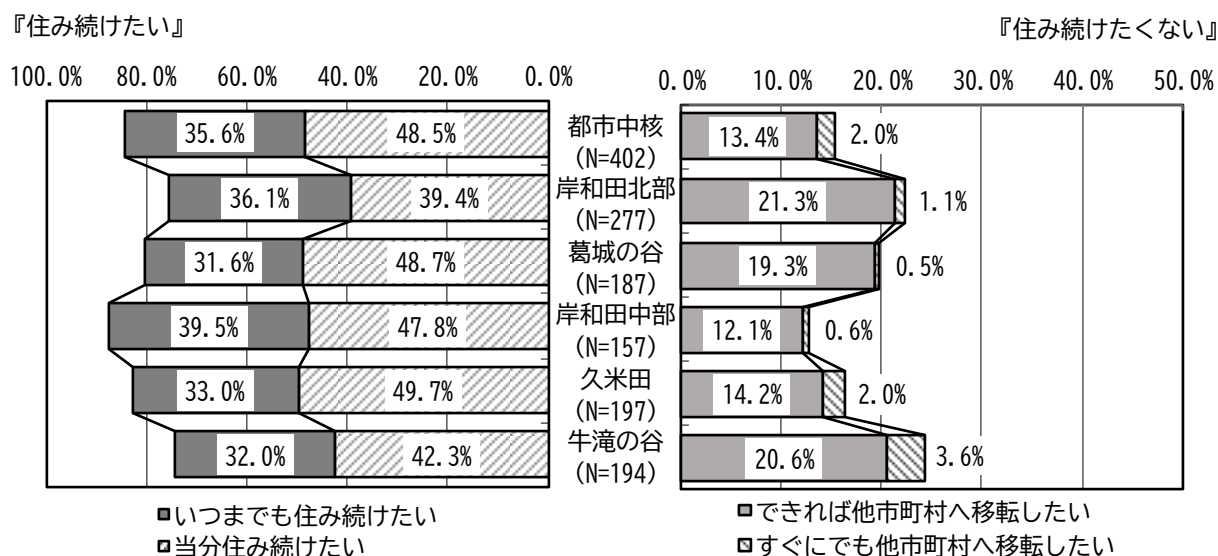
■年齢別：岸和田市への居住継続意向



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田中部地域」(87.3%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(84.1%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「牛滝の谷地域」(24.2%)が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(22.4%)となっています。

■居住地域別：岸和田市への居住継続意向

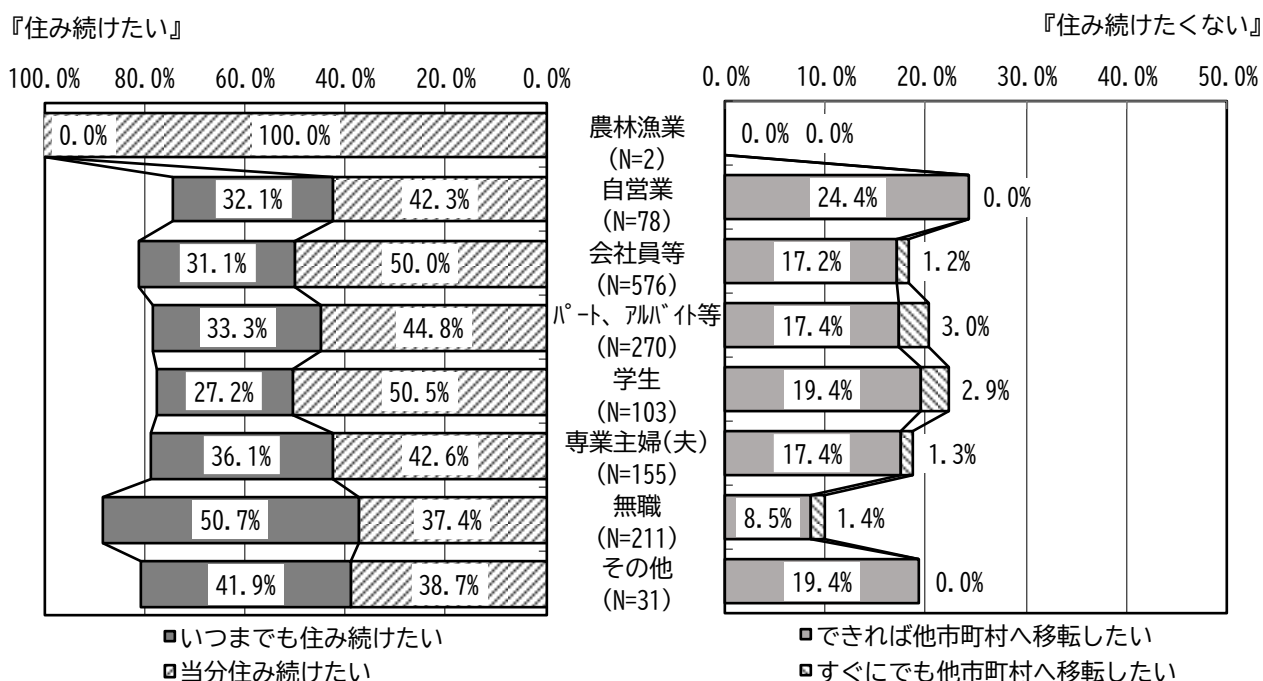


(4) 職業別、および、勤務地・通学地別

① 職業別

職業別にみると、『住み続けたい』は、回答数が少ない「農林漁業」を除いて、「無職」(88.1%)が最も高く、次いで「会社員・公務員、役員」(81.1%)、「その他」(80.6%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「自営業」(24.4%)が最も高く、次いで「学生」(22.3%)、「パート、アルバイト、契約・派遣社員」(20.4%)となっています。

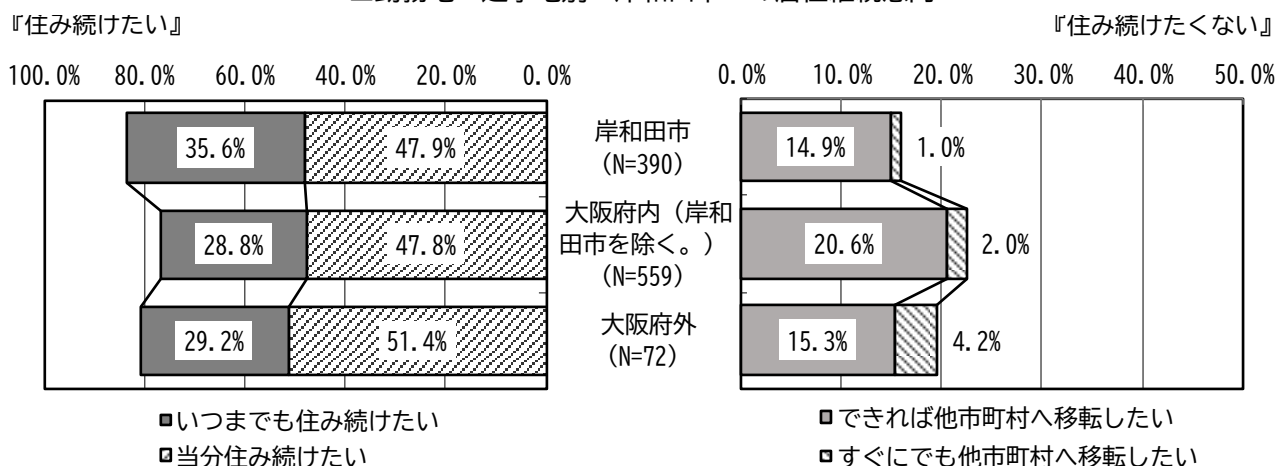
■職業別：岸和田市への居住継続意向



② 勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田市」(83.5%)が最も高く、次いで「大阪府外」(80.6%)、「大阪府内（岸和田市を除く。）」(76.6%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「大阪府内（岸和田市を除く。）」(22.6%)が最も高く、次いで「大阪府外」(19.5%)、「岸和田市」(15.9%)となっています。

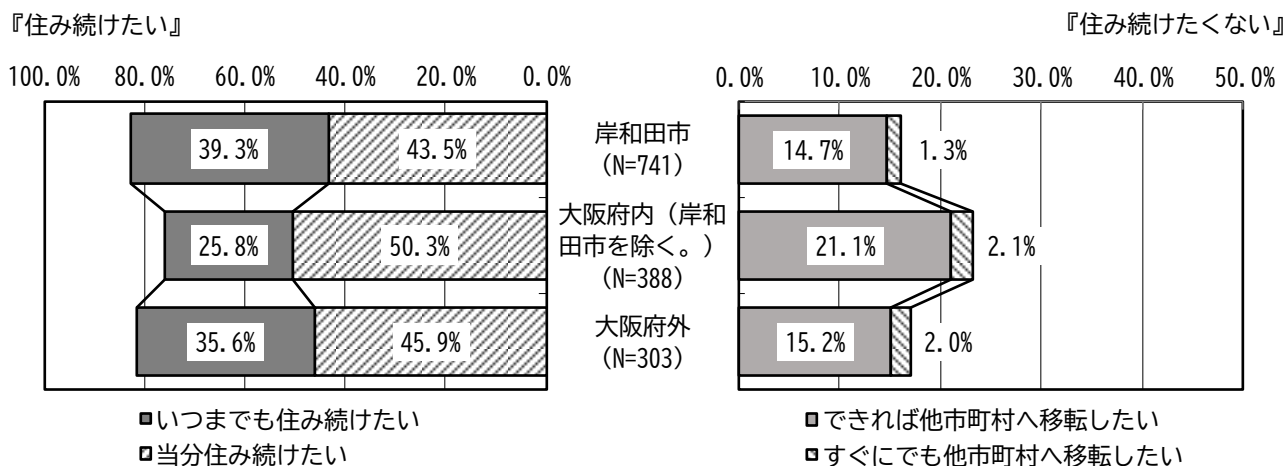
■勤務地・通学地別：岸和田市への居住継続意向



(5) 出生地別

出生地別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田市」(82.8%)が最も高く、次いで「大阪府外」(81.5%)、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(76.1%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(23.2%)が最も高く、次いで「大阪府外」(17.2%)、「岸和田市」(16.0%)となっています。

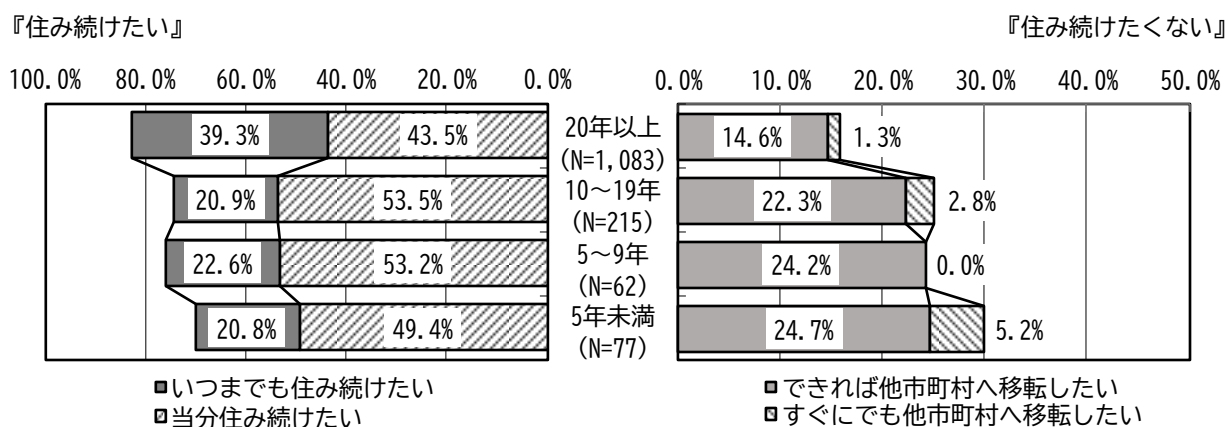
■出生地別：岸和田市への居住継続意向



(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住み続けたい』は、「20年以上」(82.8%)が最も高く、次いで「5～9年」(75.8%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「5年未満」(29.9%)が最も高く、次いで「10～19年」(25.1%)となっています。

■居住年数別：岸和田市への居住継続意向

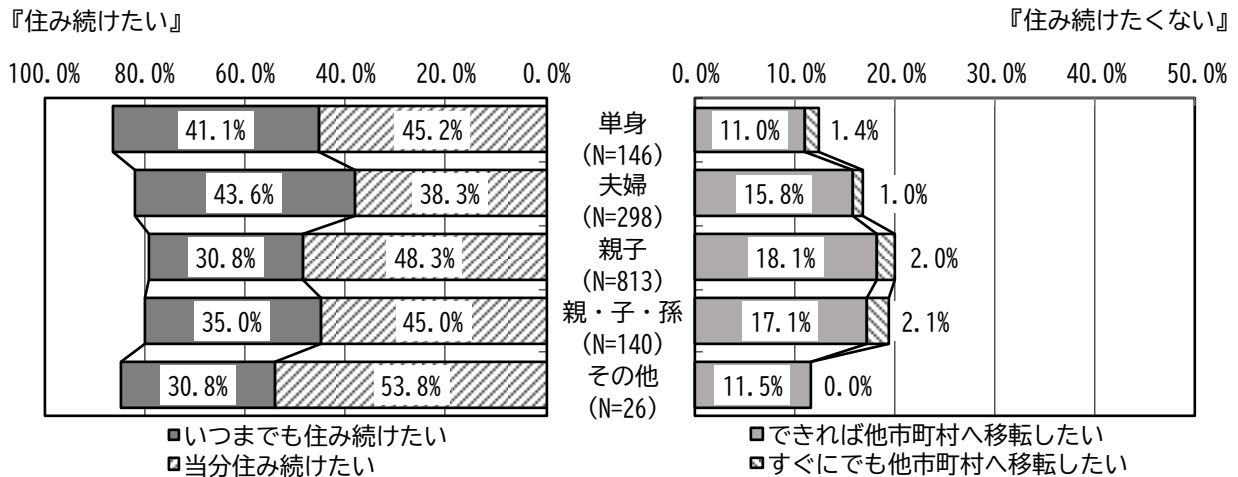


(7) 家族構成別、および、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住み続けたい』は、「単身」世帯（86.3%）が最も高く、次いで、「その他」世帯（84.6%）となっています。一方、『住み続けたくない』は、「親子」世帯（20.1%）が最も高く、次いで「親・子・孫」世帯（19.2%）となっています。

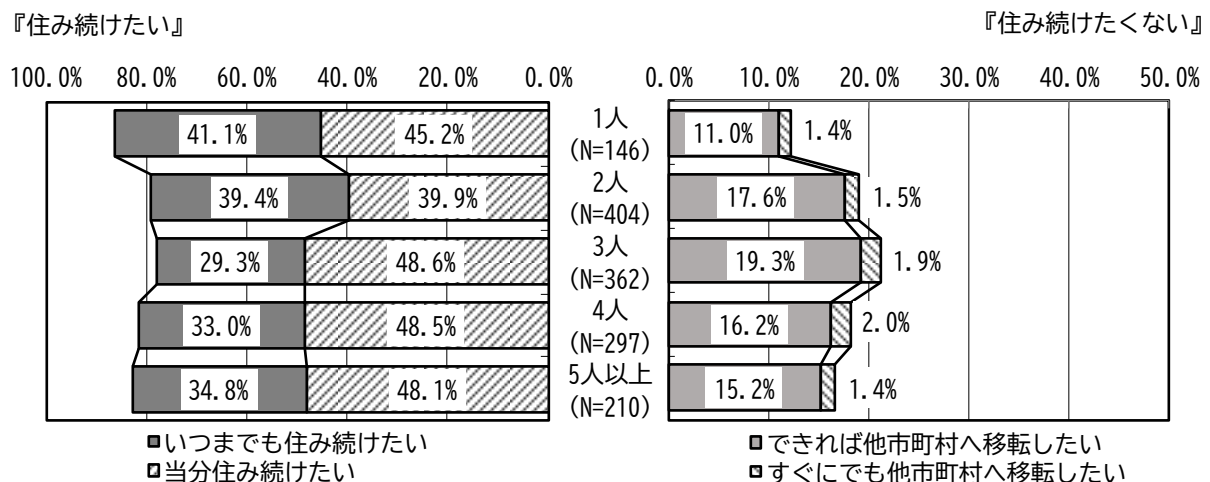
■家族構成別：岸和田市への継続居住意向



② 世帯人員別

世帯人員別にみると、『住み続けたい』は、「1人」世帯（86.3%）が最も高く、次いで「5人以上」世帯（82.9%）となっています。一方、『住み続けたくない』は、「3人」世帯（21.2%）が最も高く、次いで「2人」世帯（19.1%）となっています。

■世帯人員別：岸和田市への居住継続意向

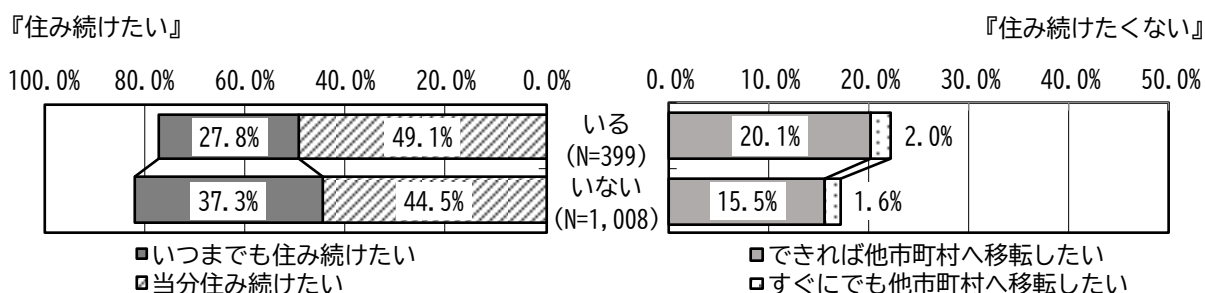


(8) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住み続けたい』が76.9%、『住み続けたくない』が22.1%となっています。一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住み続けたい』が81.8%、『住み続けたくない』が17.1%となっています。「養育中の子どもがいる」世帯のほうが、居住継続意向が低い傾向にあります。

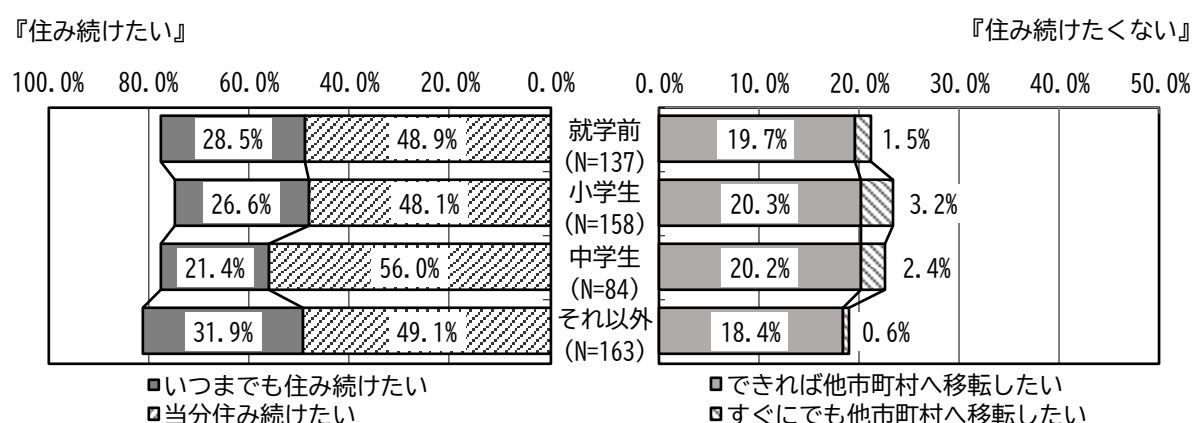
■養育中の子どもの有無別：岸和田市への居住継続意向



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住み続けたい』は「就学前」「小学生」「中学生」の子どもがいる世帯では、それぞれ74.7%~77.4%で、全体(80.6%)を下回っています。一方、「それ以外」の子どもがいる世帯では、81.0%となっています。また、『住み続けたくない』は、「就学前」「小学生」「中学生」の子どもがいる世帯では、それぞれ21.2%~23.5%で、全体(18.3%)を上回っています。一方、「それ以外」の子どもがいる世帯では、19.0%となっています。養育中の子どもがいる世帯の中でも、義務教育課程より小さな子どもがいる世帯のほうが、居住継続意向が低い傾向にあります。

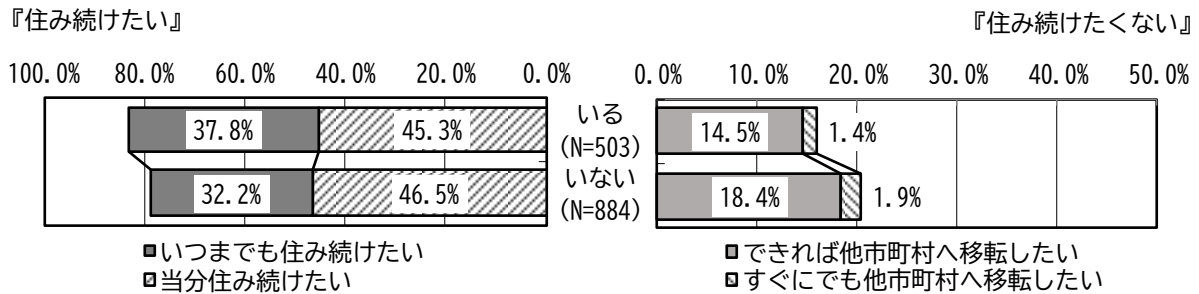
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：岸和田市への居住継続意向



(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「65歳以上の高齢者がいる」世帯では、『住み続けたい』が83.1%、『住み続けたくない』が15.9%となっています。一方、「65歳以上の高齢者がいない」世帯では、『住み続けたい』が78.7%、『住み続けたくない』が20.3%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市への居住継続意向

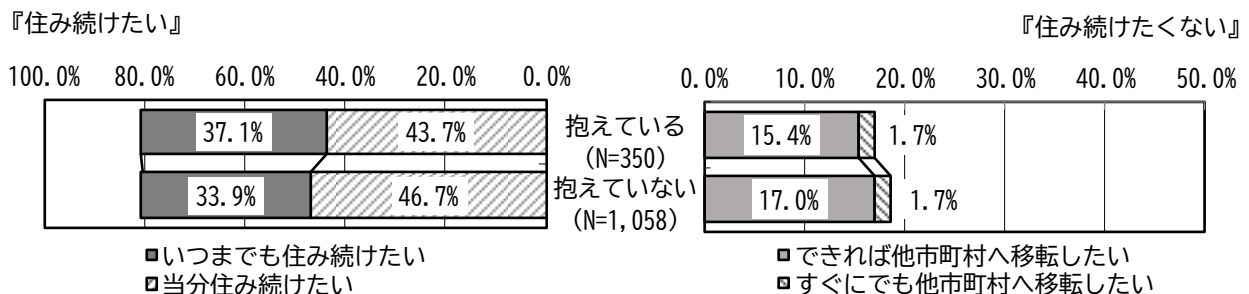


(10) 長期的な病気や障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別

① 長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住み続けたい』が80.8%、『住み続けたくない』が17.1%となっています。一方、「抱えていない」人は、『住み続けたい』が80.6%、『住み続けたくない』が18.7%となっています。

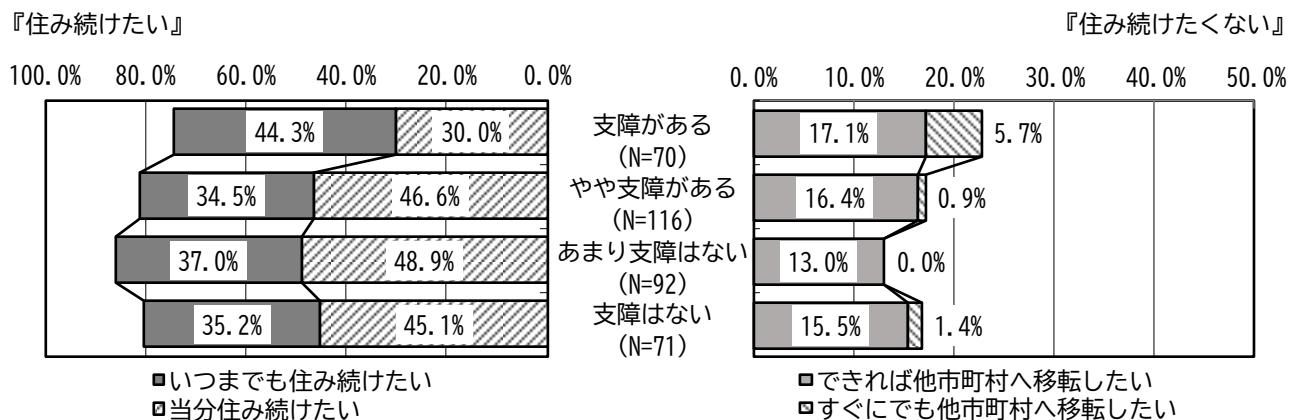
■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市への居住継続意向



② 日常生活への支障の度合い別

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合い別にみると、『住み続けたい』は「あまり支障はない」（85.9％）が最も高く、次いで「やや支障がある」（81.1％）となっています。一方、『住み続けたくない』は「支障がある」（22.8％）が最も高く、次いで「支障はない」（16.9％）となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市への居住継続意向

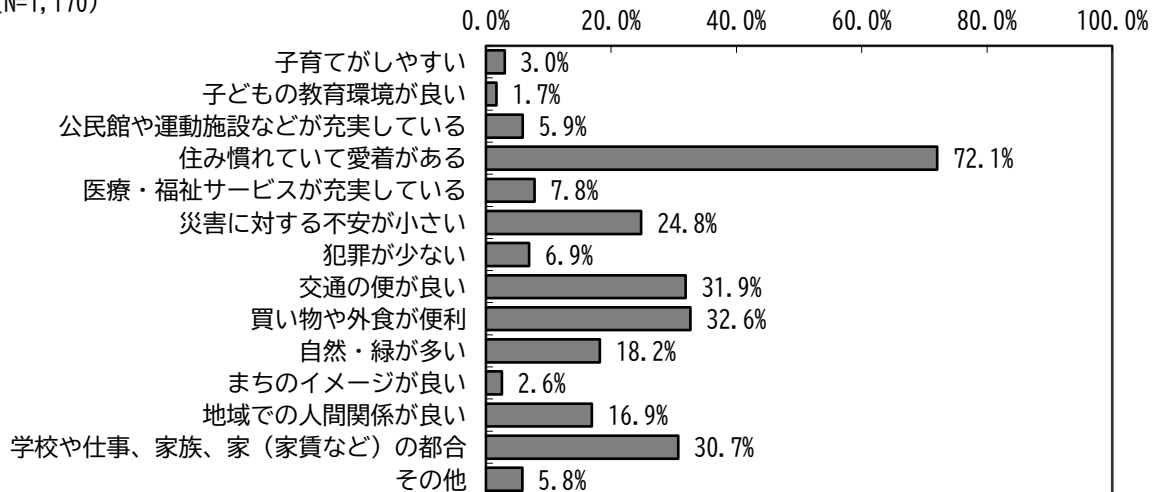


6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果

〔問2－1〕の住み続けたいと思う理由は、「住み慣れていて愛着がある」（72.1%）が最も高く、次いで「買い物や外食が便利」（32.6%）、「交通の便が良い」（31.9%）となっています。

■住み続けたいと思う理由（3つ以内で複数回答）

(N=1,170)

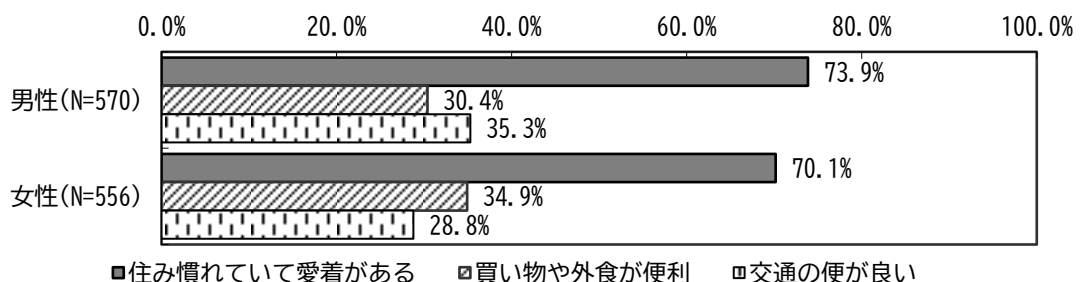


7. 「住み続けたいと思う理由（上位3項目）」の属性分析

（1）性別

性別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「男性」が73.9%で、「女性」の70.1%より3.8ポイント上回っています。一方、『買い物や外食が便利』は、「男性」が30.4%で、「女性」の34.9%より4.5ポイント下回っています。また、『交通の便が良い』は、「男性」が35.3%で、「女性」の28.8%より6.5ポイント上回っています。

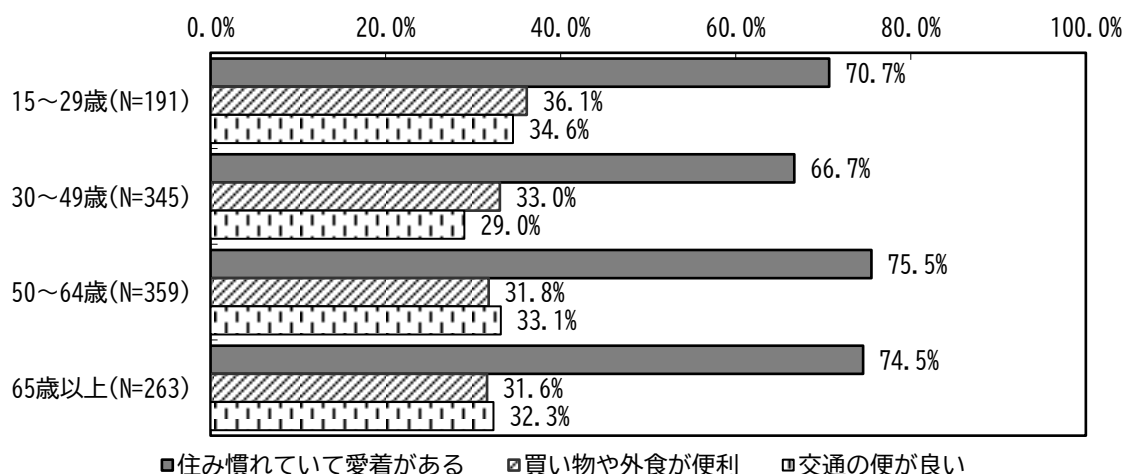
■性別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(2) 年齢別

年齢別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「50～64歳」（75.5%）が最も高く、次いで「65歳以上」（74.5%）となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「15～29歳」（36.1%）が最も高く、次いで「30～49歳」（33.0%）となっています。また、『交通の便が良い』は、「15～29歳」（34.6%）が最も高く、次いで「50～64歳」（33.1%）となっています。

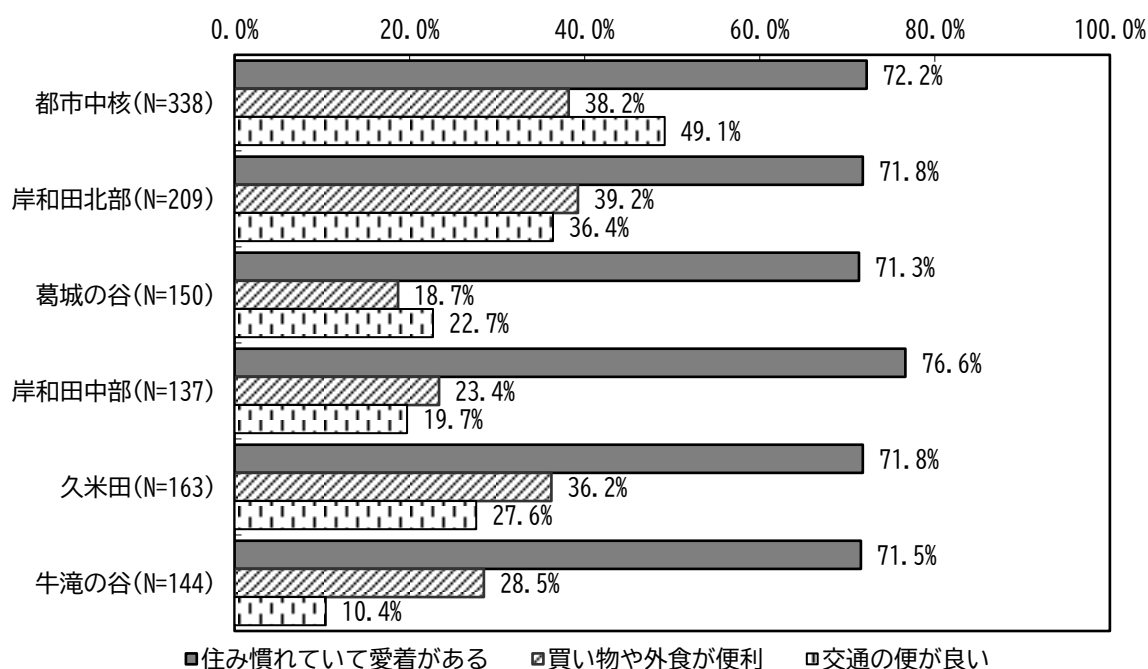
■年齢別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「岸和田中部地域」（76.6%）が最も高く、次いで「都市中核地域」（72.2%）となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「岸和田北部地域」（39.2%）が最も高く、次いで「都市中核地域」（38.2%）となっています。また、『交通の便が良い』は、「都市中核地域」（49.1%）が最も高く、次いで「岸和田北部地域」（36.4%）となっています。

■居住地域別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）

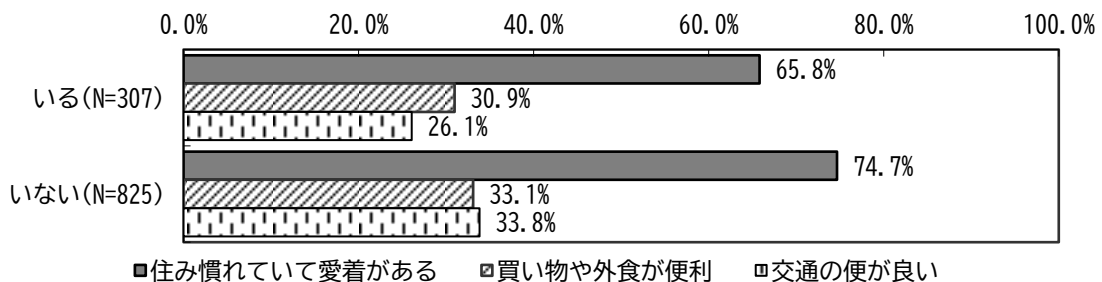


(4) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「養育中の子どもがいる」世帯が65.8%で、「養育中の子どもがいない」世帯の74.7%より8.9ポイント下回っています。一方、『買い物や外食が便利』は、「養育中の子どもがいる」世帯が30.9%で、「養育中の子どもがいない」世帯の33.1%より2.2ポイント下回っています。また、『交通の便が良い』は、「養育中の子どもがいる」世帯が26.1%で、「養育中の子どもがいない」世帯の33.8%より7.7ポイント下回っています。

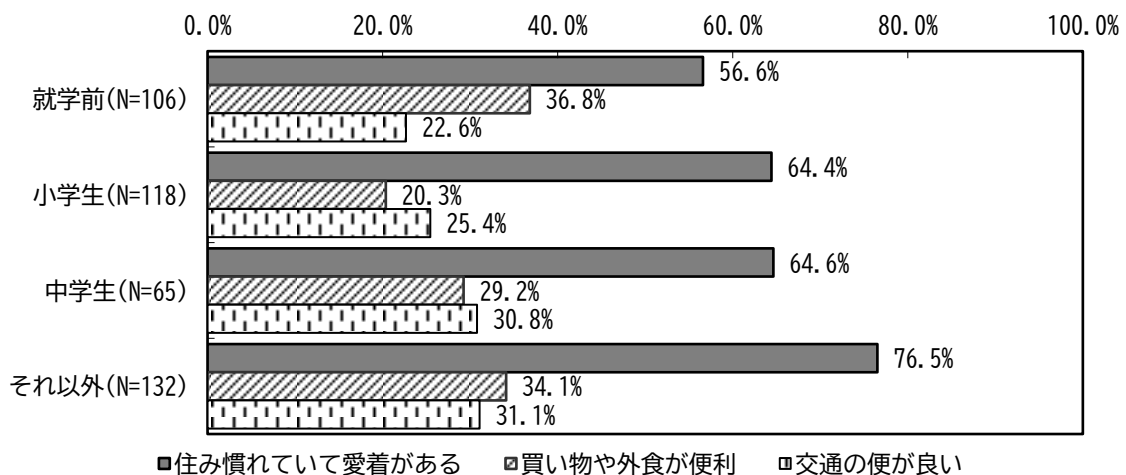
■養育中の子どもの有無別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



② 養育中の子どもの内訳別

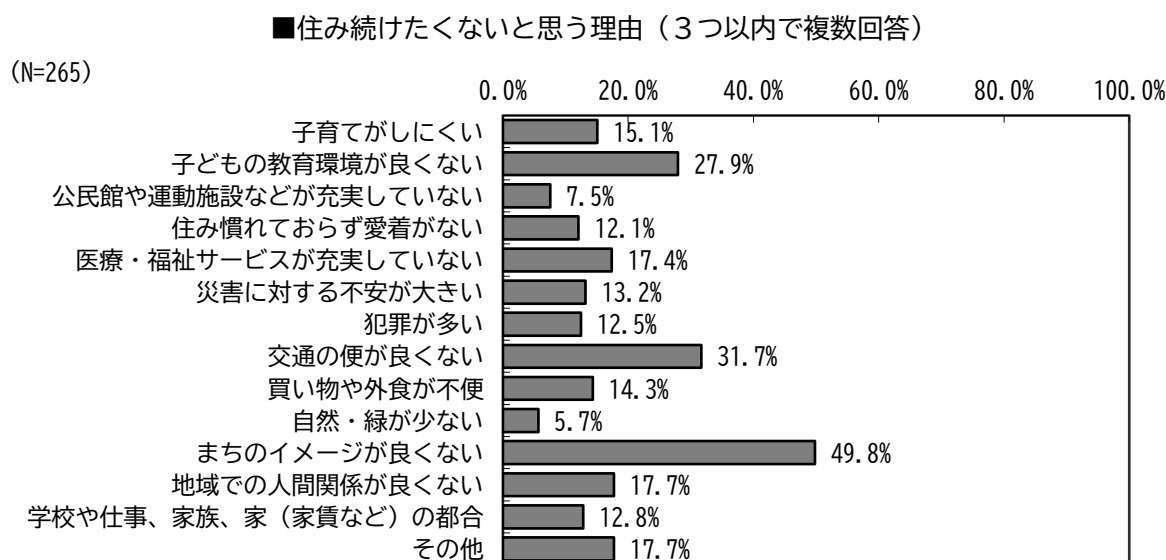
養育中の子どもの内訳別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「就学前」「小学生」「中学生」の子どもがいる世帯では、それぞれ56.6%～64.6%で、全体（72.1%）を下回っています。一方、「それ以外」の子どもがいる世帯では、76.5%となっています。また、『買い物や外食が便利』は、「就学前」の子どもがいる世帯（36.8%）が最も高く、次いで「それ以外」の子どもがいる世帯（34.1%）となっています。また、『交通の便が良い』は、「それ以外」の子どもがいる世帯（31.1%）が最も高く、次いで「中学生」の子どもがいる世帯（30.8%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果

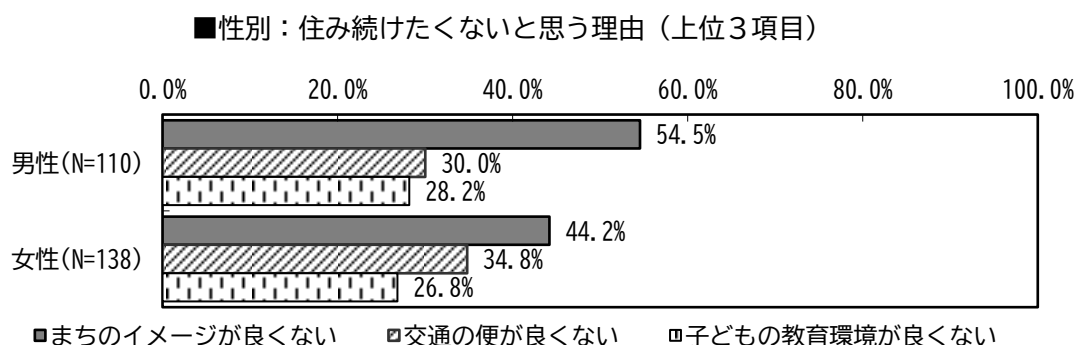
〔問2-2〕の住み続けたくないと思う理由は、「まちのイメージが良くない」（49.8%）が最も高く、次いで「交通の便が良くない」（31.7%）、「子どもの教育環境が良くない」（27.9%）となっています。



9. 「住み続けたくないと思う理由（上位3項目）」の属性分析

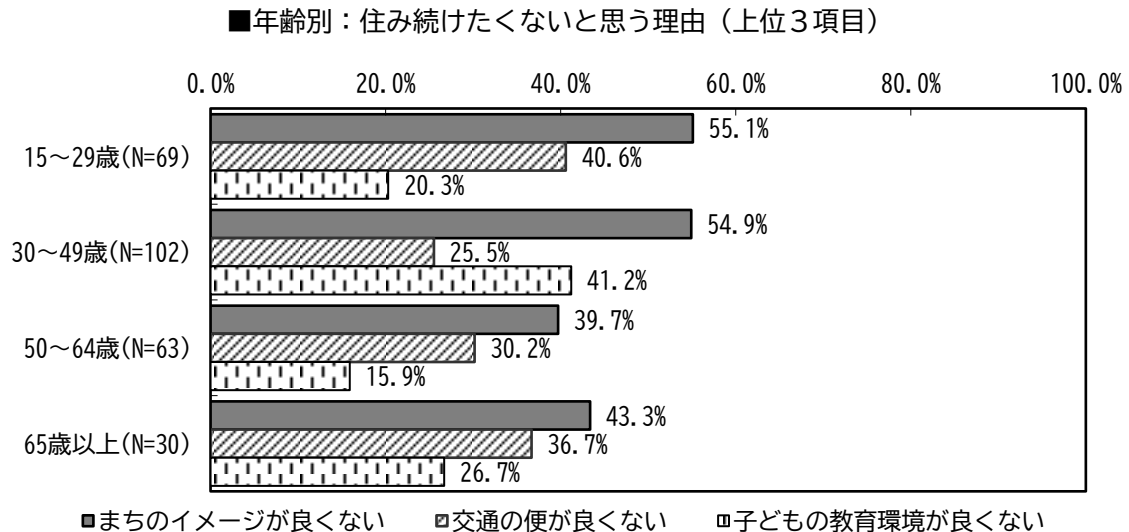
（1）性別

性別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「男性」が54.5%で、「女性」の44.2%より10.3ポイント上回っています。一方、『交通の便が良くない』は、「男性」が30.0%で、「女性」の34.8%より4.8ポイント下回っています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「男性」は28.2%で、「女性」の26.8%より1.4ポイント上回っています。



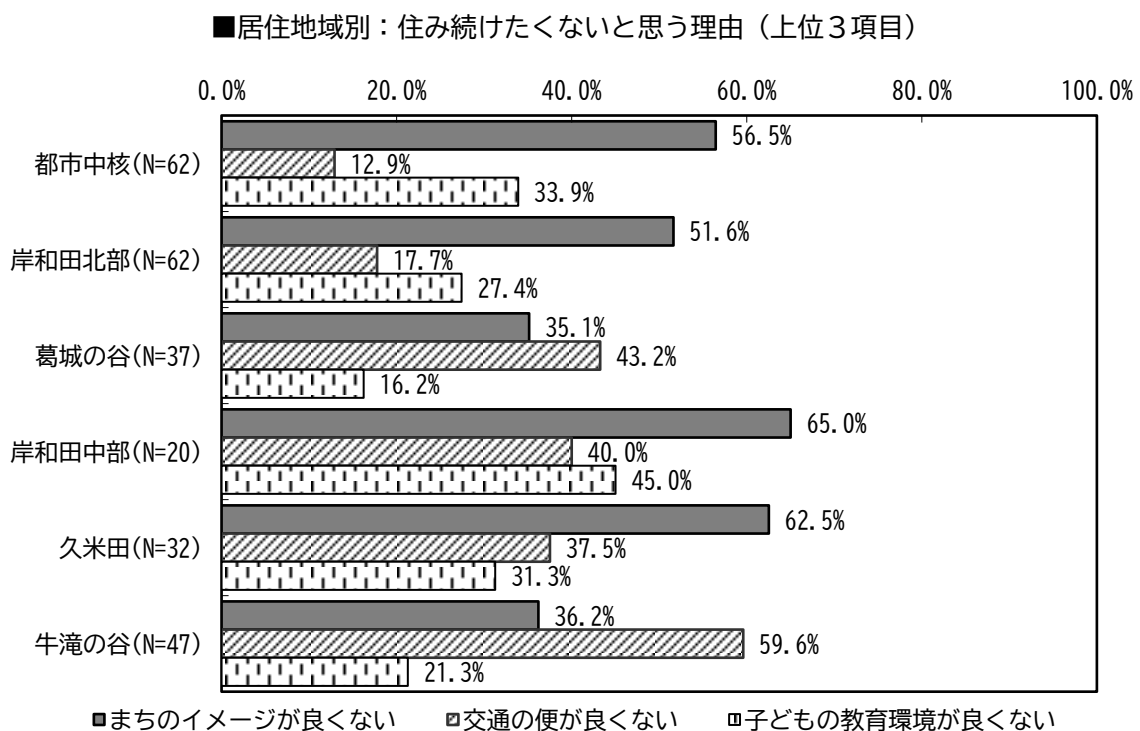
(2) 年齢別

年齢別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「15～29歳」（55.1％）が最も高く、次いで「30～49歳」（54.9％）となっています。一方、『交通の便が良くない』は、「15～29歳」（40.6％）が最も高く、次いで「65歳以上」（36.7％）となっています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「30～49歳」（41.2％）が最も高く、次いで「65歳以上」（26.7％）となっています。



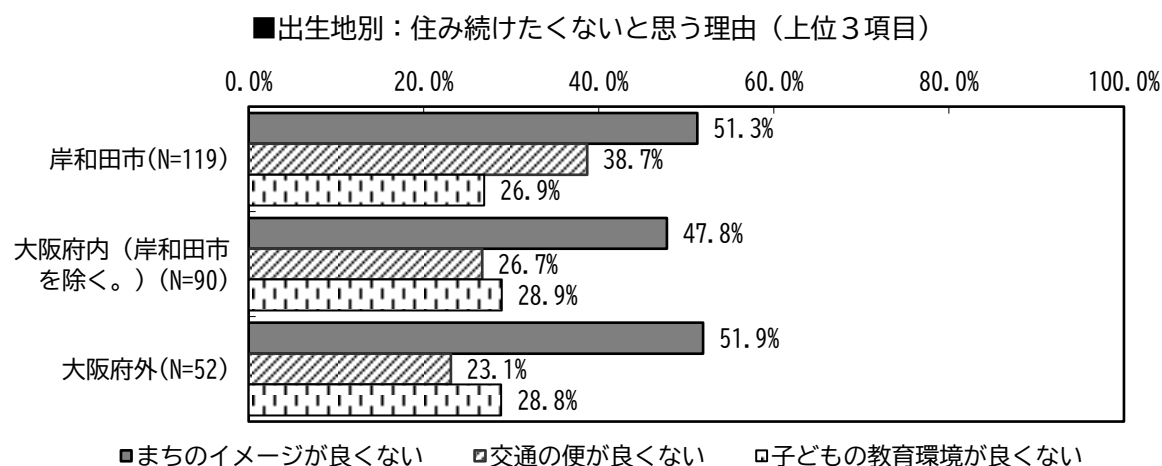
(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「岸和田中部地域」（65.0％）が最も高く、次いで「久米田地域」（62.5％）となっています。一方、『交通の便が良くない』は、「牛滝の谷地域」（59.6％）が最も高く、次いで「葛城の谷地域」（43.2％）となっています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「岸和田中部地域」（45.0％）が最も高く、次いで「都市中核地域」（33.9％）となっています。



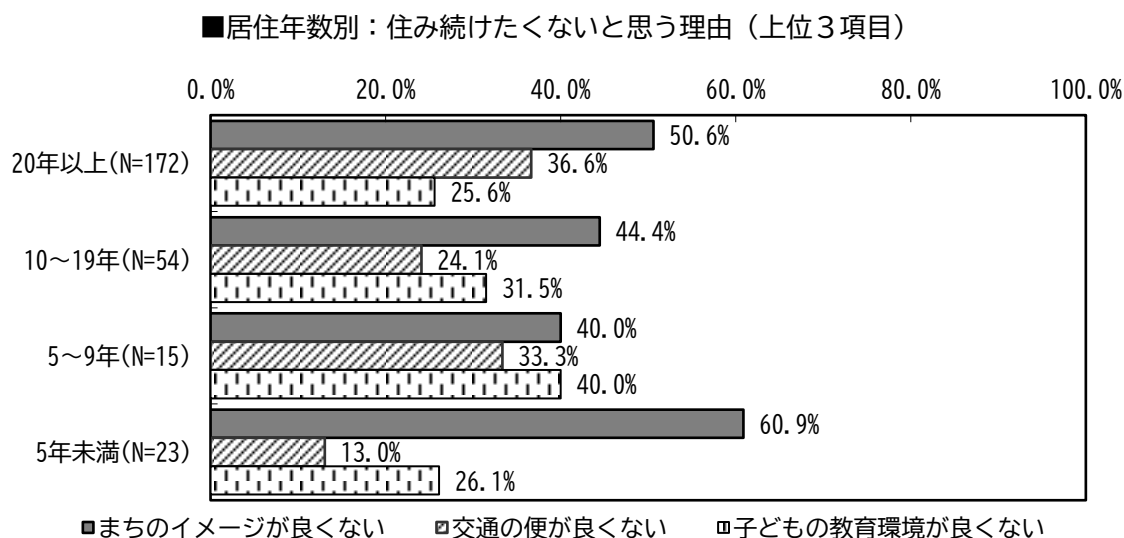
(4) 出生地別

出生地別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「大阪府外」(51.9%)が最も高く、次いで「岸和田市」(51.3%)となっています。一方、『交通の便が良くない』は、「岸和田市」(38.7%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(26.7%)となっています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(28.9%)が最も高く、次いで「大阪府外」(28.8%)となっています。



(5) 居住年数別

居住年数別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「5年未満」(60.9%)が最も高く、次いで「20年以上」(50.6%)となっています。一方、『交通の便が良くない』は、「20年以上」(36.6%)が最も高く、次いで「5～9年」(33.3%)となっています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「5～9年」(40.0%)が最も高く、次いで「10～19年」(31.5%)となっています。

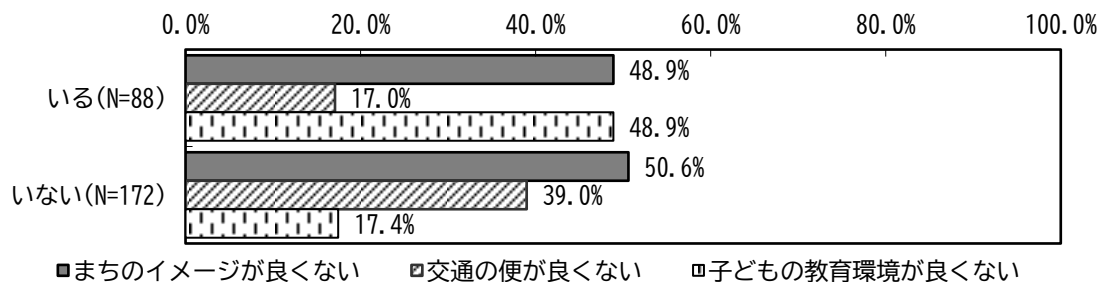


(6) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が48.9%で、「養育中の子どもがいない」世帯の50.6%より1.7ポイント下回っています。一方、『交通の便が良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が17.0%で、「養育中の子どもがいない」世帯の39.0%より22.0ポイント下回っています。また、『子どもの教育環境が良くない』は、「養育中の子どもがいる世帯」が48.9%で、「養育中の子どもがいない」世帯の17.4%より31.5ポイント上回っています。

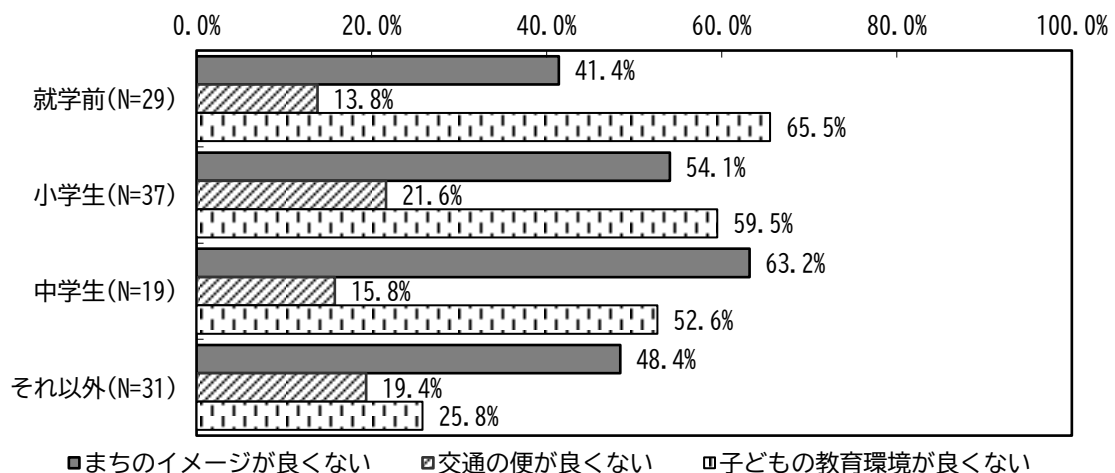
■養育中の子どもの有無別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「中学生」の子どもがいる世帯（63.2%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（54.1%）となっています。一方、『交通の便が良くない』は、「小学生」の子どもがいる世帯（21.6%）が最も高く、次いで「それ以外」の子どもがいる世帯（25.8%）となっています。『子どもの教育環境が良くない』は、「就学前」の子どもがいる世帯（65.5%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（59.5%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係

〔問2〕の「住み続けたい」の意識調査の結果と、全体の調査結果との相関関係から、市民ニーズと実施すべき施策の傾向を分析しました。

■「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係（上位20項目）

設問番号	設問内容	相関係数
問1	岸和田市の住みやすさ	0.655727778
問3	岸和田市への誇り	0.572301214
問22-1 ウ	岸和田は、子どもを生み育てやすい	0.502707545
問22-2 テ	子どもの個性や能力にあった教育が行われている	0.364417797
問22-2 タ	子育てに関する不安を相談できる機会や場がある	0.34848651
問22-2 ノ	高齢者が安心して生活できている	0.332296417
問22-2 チ	働きながら子育てができる環境が整っている	0.329459042
問22-2 ネ	市内をスムーズに移動できる	0.31487803
問22-1 ソ	市役所から発信された情報（広報さしわだ、ホームページなど）が分かりやすい	0.307255362
問22-2 ハ	困ったときに近くに相談できる人や場所がある	0.303794694
問22-2 ツ	子どもが安全に遊ぶことができる	0.298917043
問22-2 ヌ	景観がよく保全されている	0.293566471
問22-2 ヒ	住民が交流する機会が多い	0.280767222
問22-2 フ	行政の手続きが便利になった	0.274930718
問22-2 ナ	ユニバーサルデザイン化が進んでいる	0.268871227
問22-1 コ	岸和田市の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	0.261760641
問22-1 ク	働く意欲のある人に働ける場所が確保されている	0.25206191
問22-1 サ	海や川の水がきれいだ	0.242839399
問22-1 キ	商工業に活気がある	0.241411784
問25	年齢	0.232394817

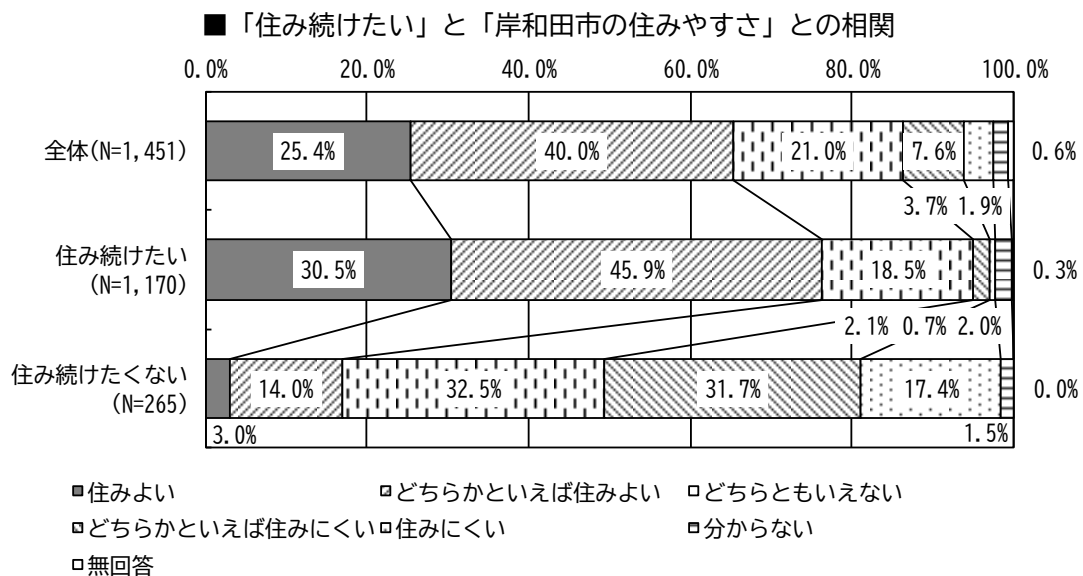
(1) 「住み続けたい」と相関の強い上位2項目

「居住継続意向」を縦軸にとって調査結果を示します。

『住み続けたい』は「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」を、『住み続けたくない』は「できれば他市町村へ移転したい」と「すぐにでも他市町村へ移転したい」を、それぞれあわせた結果です。

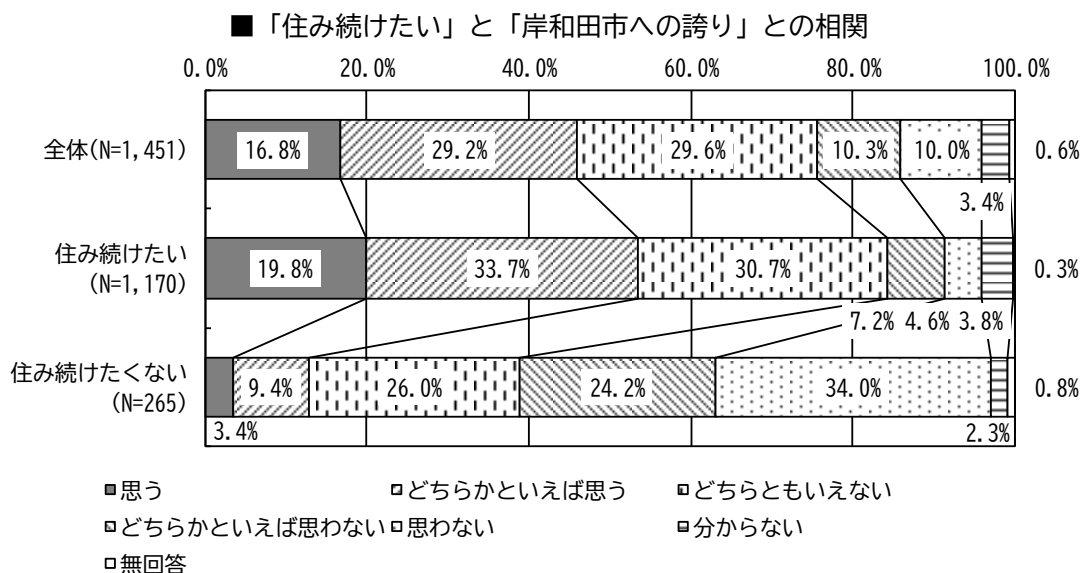
① 「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関

居住継続意向と「岸和田市の住みやすさ」との相関をみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では76.4%で、『住み続けたくない』と回答した市民の17.0%より59.4ポイント上回っています。



② 「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関

居住継続意向と「岸和田市への誇り」との相関をみると、「思う」と「どちらかといえば思う」をあわせた『誇りに思う』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では53.5%で、『住み続けたくない』と回答した市民の12.8%より40.7ポイント上回っています。



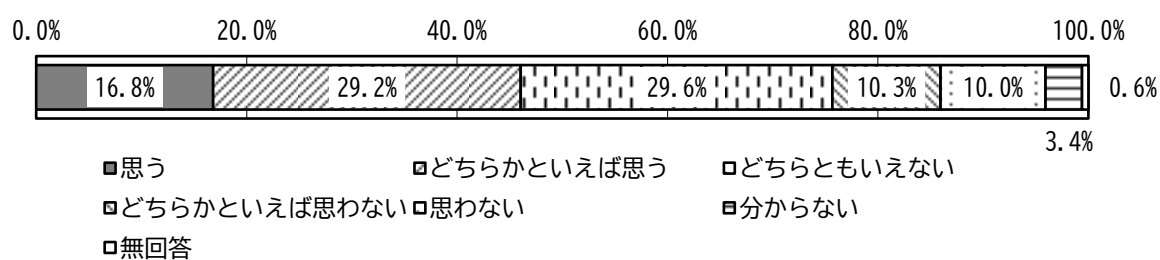
11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果

〔問3〕の『岸和田のまちを誇りに思う』かどうかの調査の結果、「そう思う」（16.8％）と「どちらかといえば思う」（29.2％）をあわせた『誇りに思う』は、46.0％となっており、半数近くの方が岸和田を誇りに思っていることがわかります。

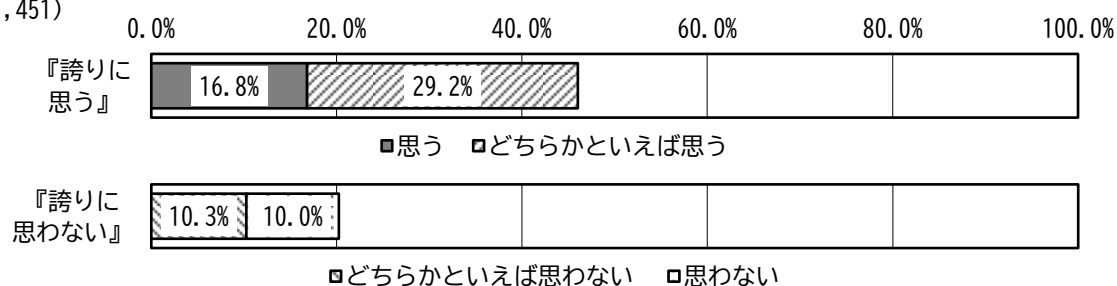
一方、「どちらかといえば思わない」（10.3％）と「思わない」（10.0％）をあわせた『誇りに思わない』は、20.3％となっています。

■岸和田のまちを誇りに思う

(N=1,451)



(N=1,451)



第 4 施策指標調查結果

第4 施策指標調査結果

1. 施策指標

施策の達成度を客観的に測定する物差し（指標）の1つとして、その施策の効果を「市民がどう受け止めて（感じて）いるのか？」といったことについて調査を実施しました。

今回の調査結果は、「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」における、「みんなでめざそう値」（令和8年時点でめざす数値）の基準値として用います。計画がスタートする令和5年以降は、「みんなでめざそう値」の進捗管理及び達成度合を測るものとして活用します。

2. 施策指標値調査結果

「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の体系に基づき、基準値・現在値となる今回調査の結果を掲載しています。（単位：％）

※次の場合は、指標名や一部数値等を「－」で表しています。

- ・指標名が「－」…本調査に基づく指標が設定されていない場合（別途、行政が保有するデータを基に「みんなでめざそう値」の進捗管理を行います。）

※施策指標（みんなでめざそう値）については、無回答の数を母数から除いて算出しているため、巻末資料（P. 80～83）に記載の数値と異なる場合があります。

（1）基本目標「岸和田の次世代を育むまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんな でめざ そう値
個別目標 安心して子どもを生み、育てられている					
	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	岸和田は子どもを生み育てやすいと感じている市民の割合	27.8	27.8	31.0
個別目標 働きながら子育てができている					
	－	－	－	－	－
個別目標 子どもの健康と安全が保たれている					
	－	－	－	－	－
個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている					
	－	－	－	－	－
個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている					
	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	この1年間に自分の経験や特技を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	10.5	10.5	13.0
	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	スポーツ・運動を定期的（週1回以上）にしている市民の割合	44.7	44.7	60.9
	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの観賞を含む）を行ったことがある市民の割合	27.2	27.2	30.0

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている					
	市内事業所の労働環境の向上を進める	労働環境に満足していると感じている市民の割合（市内従事者）	34.6	34.6	39.0
	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	42.7	42.7	47.0
	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	生きがいを感じることがある65歳以上の市民の割合	50.0	50.0	54.0
個別目標 郷土の歴史や文化が引き継がれている					
	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合	22.7	22.7	25.0

（2）基本目標「健康で自分らしく生きられるまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標 健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している					
	—	—	—	—	—
個別目標 医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている					
	医療体制の充実により、必要ときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.5	67.5	70.0
個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている					
	平和への意識向上を進める	平和は大切だと感じている市民の割合	95.6	95.6	97.0
個別目標 地域で支えあい、助けあえる関係が築けている					
	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	困ったときに近くに相談できる人や場所がある市民の割合	35.0	35.0	38.0
個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心して暮らしている					
	—	—	—	—	—

（3）基本目標「安全で安心して暮らせるまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている					
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	この1年間に何らかの消費者トラブルにあった市民の割合	4.1	4.1	3.0
個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている					
	発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める	災害の際の非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	40.4	40.4	43.0

(4) 基本目標「人と自然が共生した住みよいまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている				
	まちの美化を進める	この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合	29.7	29.7	33.0
個別目標	人が緑と触れあっている				
	—	—	—	—	—
個別目標	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている				
	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	75.4	75.4	78.0
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	省エネルギーや再生可能エネルギーを活用している市民の割合	21.8	21.8	25.0

(5) 基本目標「にぎわいと活力を創造するまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標	活発な経済活動が行われている				
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	地元産の食品を優先的に買う市民の割合	37.9	37.9	41.0
個別目標	観光資源が活かされている				
	—	—	—	—	—
個別目標	岸和田の魅力が伝わっている				
	—	—	—	—	—
個別目標	にぎわいや活力を支える基盤が整っている				
	拠点とのアクセス性の向上を図る	市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	36.1	36.1	39.0
	適正な土地利用と景観形成を進める	景観がよく保全されていると感じている市民の割合	18.5	18.5	21.0

(6) 基本目標「みんなで作る持続可能なまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	現在値 (R4)	みんなで めざそう値
個別目標	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている				
	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	19.7	19.7	22.0
個別目標	持続可能で信頼される行政になっている				
	—	—	—	—	—

第 5 重要度調査結果

第5 重要度調査結果

1. 「重要度」の全体の結果

〔問 23〕では、58 項目のうち、今の岸和田のまちづくりにとって重要だと思われる項目をすべて選んでもらいました（複数回答可）。

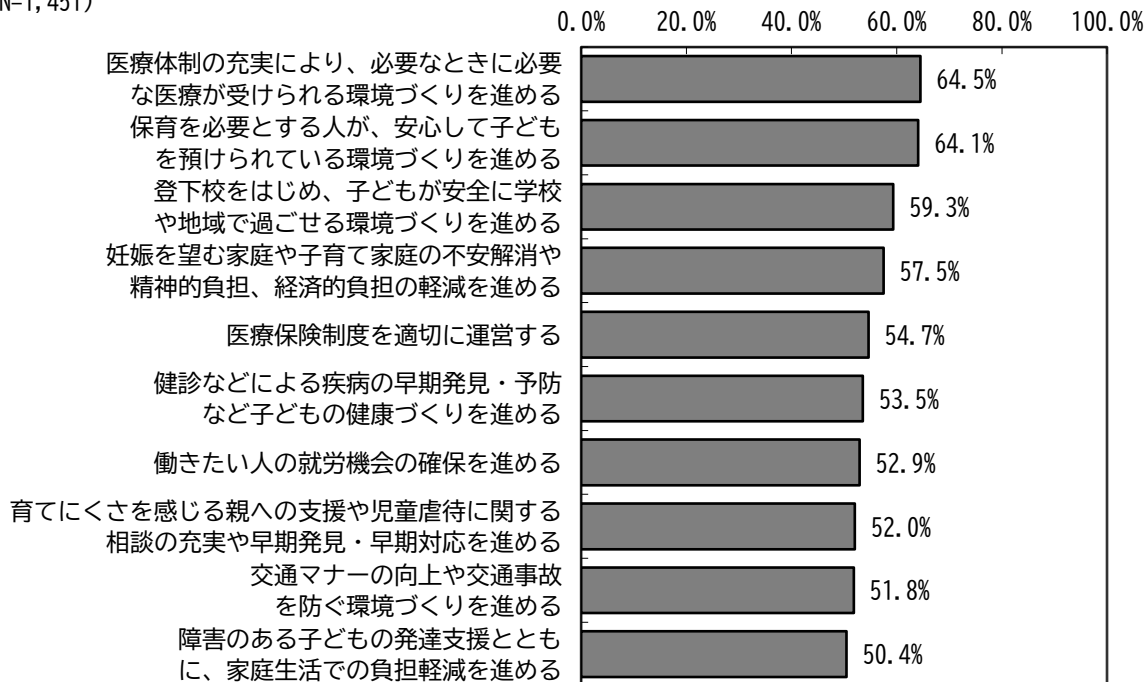
図示している数値は、重要だと思われた人の数を全回答者数（1,451）で割ったものです（例：「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」を重要と回答した人の数／全回答者数＝936／1,451×100＝64.5％）。

下記グラフのとおり、最も重要度の高い項目は、「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」（64.5％）であり、次いで「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」（64.1％）、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」（59.3％）、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消や精神的負担、経済的負担の軽減を進める」（57.5％）となっています。

一方、重要度の低い項目は、「郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる」（19.1％）であり、次いで「戦争被害者などが安心して生活できる環境をつくる」（19.9％）、「新たに市内で創業する事業者や個人事業主が、市内の資源を活用し、活動しやすい環境づくりを進める」（23.0％）、「岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める」（24.2％）となっています。

■「重要度」の全体の結果（上位 10 施策）

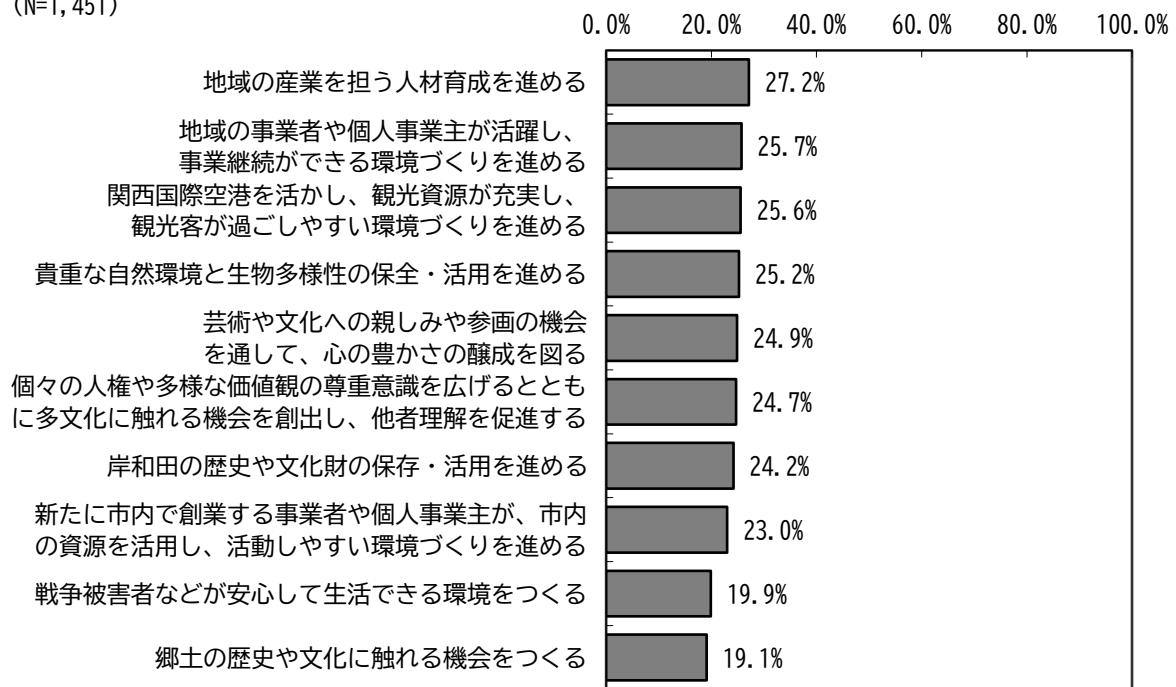
(N=1,451)



■特に重要だと思う

■「重要度」の全体の結果（下位 10 施策）

(N=1,451)



■特に重要だと思う

2. 基本目標別の「重要度」の結果

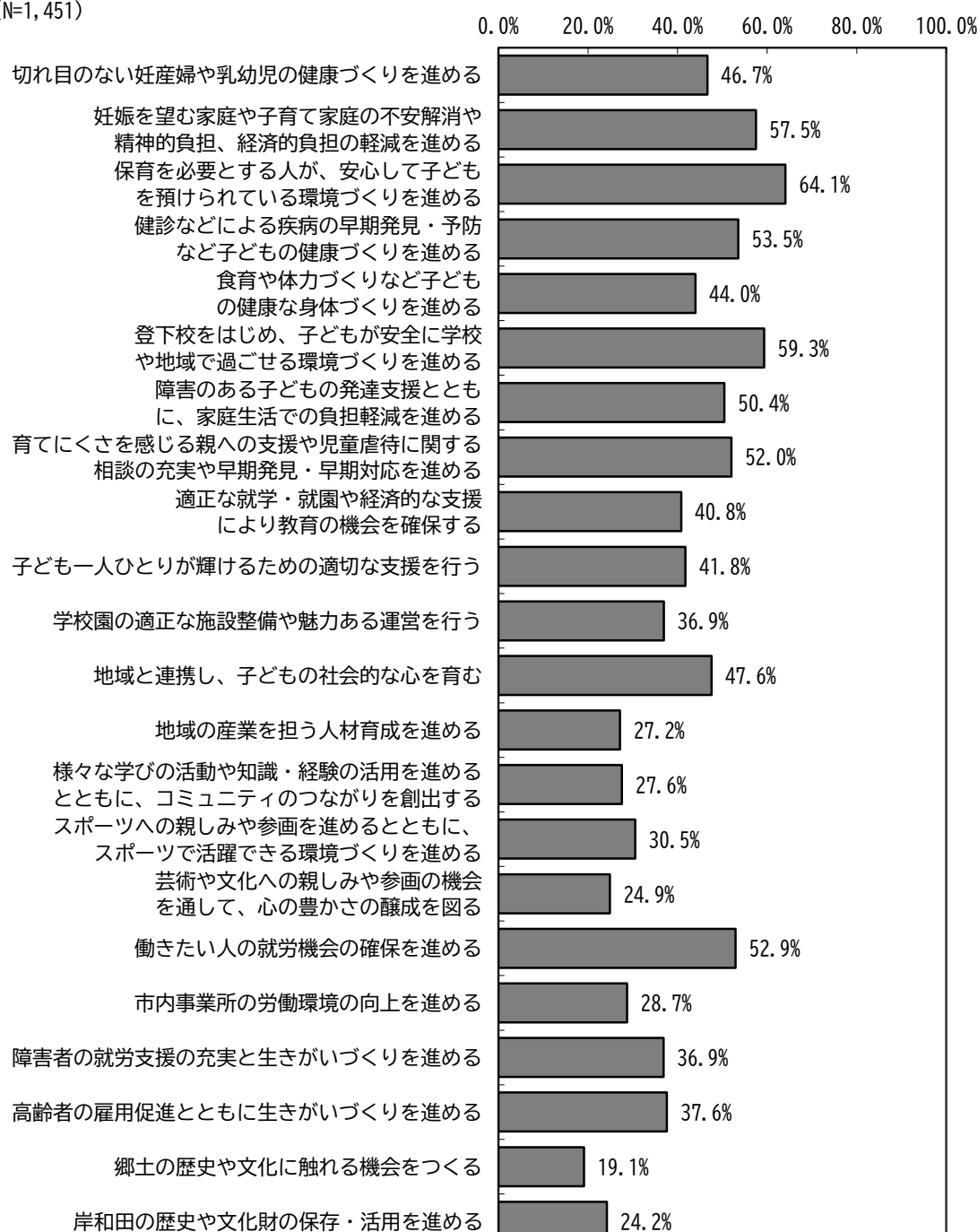
将来ビジョン・岸和田 基本構想では、将来像の実現に向けて、6つの基本目標を定めています。6つの基本目標のうち、「みんなでつくる持続可能なまち」を除く基本目標それぞれの個別目標の重要度について調査を実施しました。

① 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果

基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」(64.1%)が最も高く、次いで「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」(59.3%)、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消や精神的負担、経済的負担の軽減を進める」(57.5%)となっています。

■基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果（全58項目中22項目）

(N=1,451)

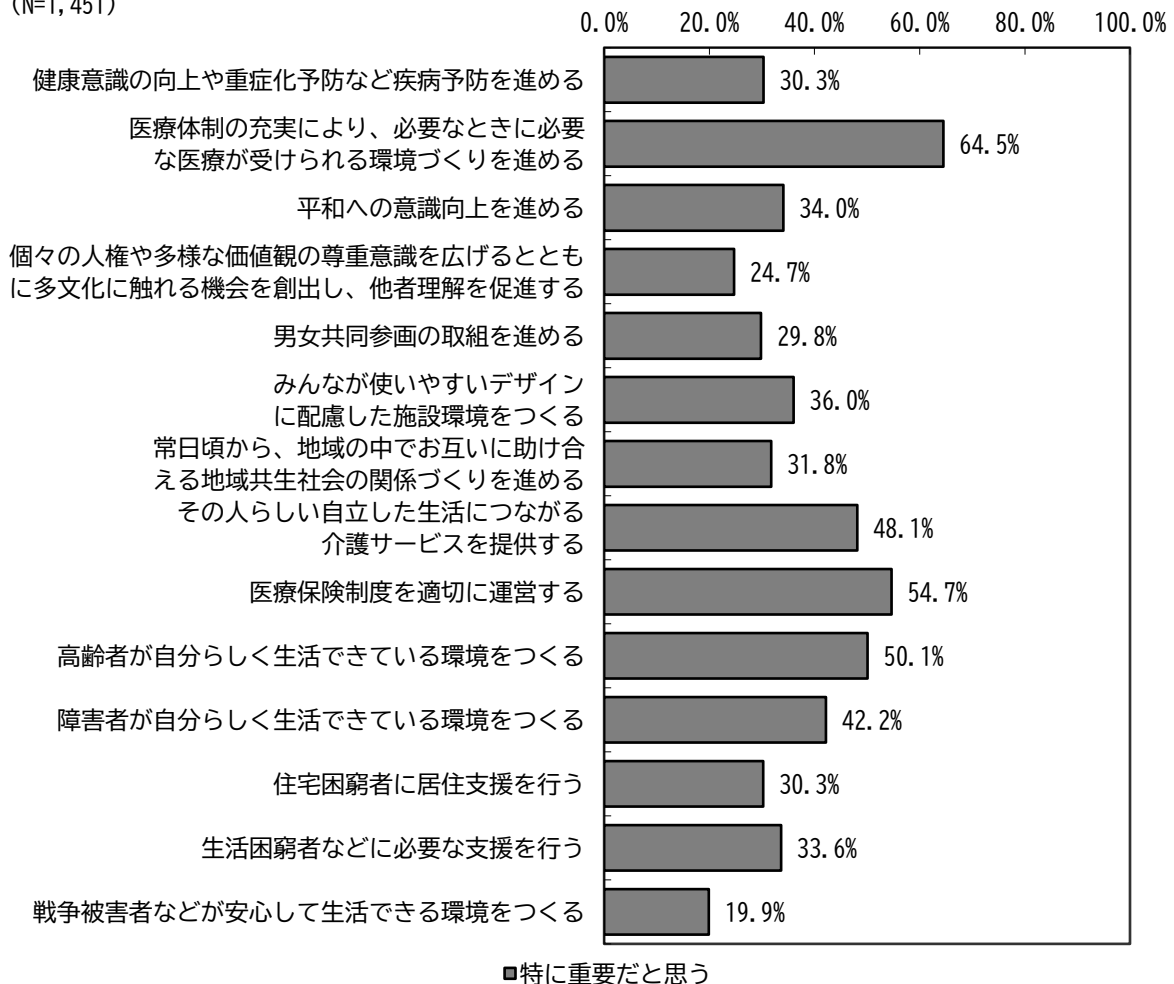


■特に重要だと思う

② 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果

基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果は、「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」（64.5%）が最も高く、次いで「医療保険制度を適切に運営する」（54.7%）、「高齢者が自分らしく生活できている環境をつくる」（50.1%）となっています。

■基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果（全58項目中14項目）
（N=1,451）

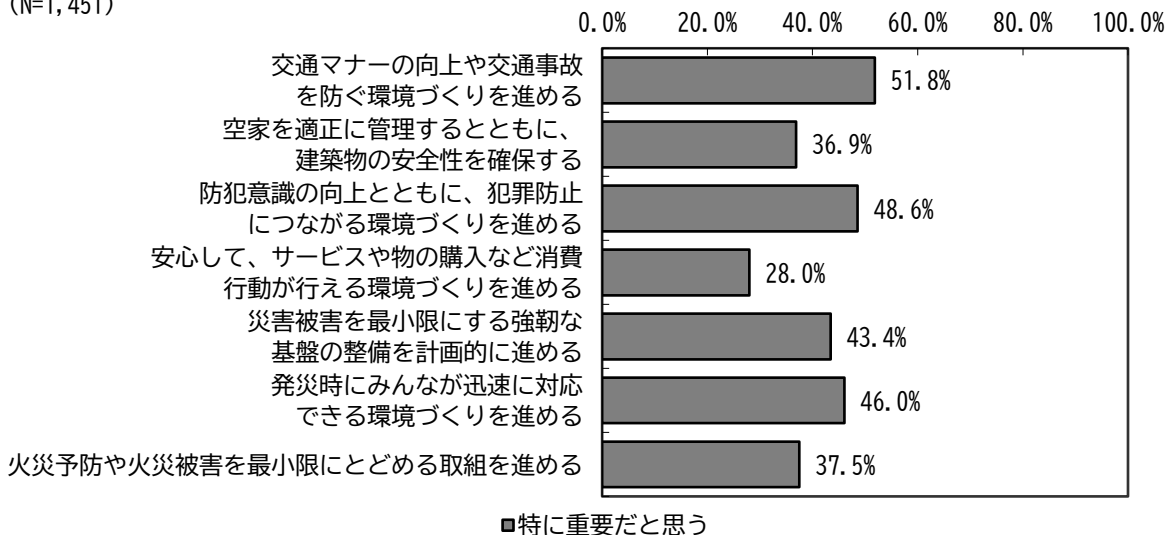


③ 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果

基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果は、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」（51.8%）が最も高く、次いで「防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める」（48.6%）、「発災時にみんなが迅速に対応できる環境づくりを進める」（46.0%）となっています。

■基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果（全58項目中7項目）

(N=1,451)

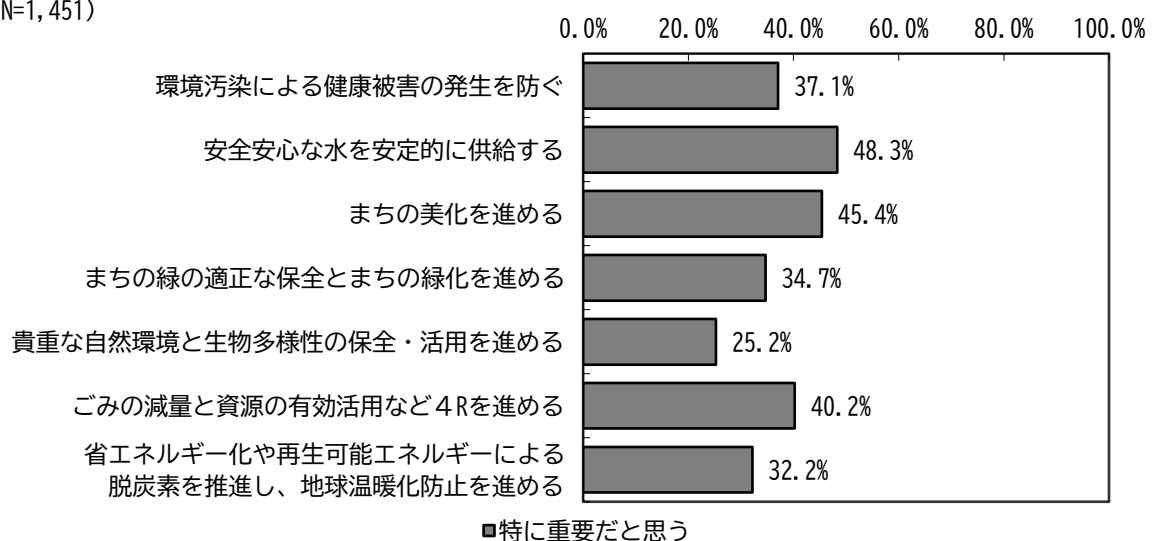


④ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度結果に関連する項目

基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果は、「安全安心な水を安定的に供給する」（48.3%）が最も高く、次いで「まちの美化を進める」（45.4%）、「ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める」（40.2%）となっています。

■基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果（全58項目中7項目）

(N=1,451)

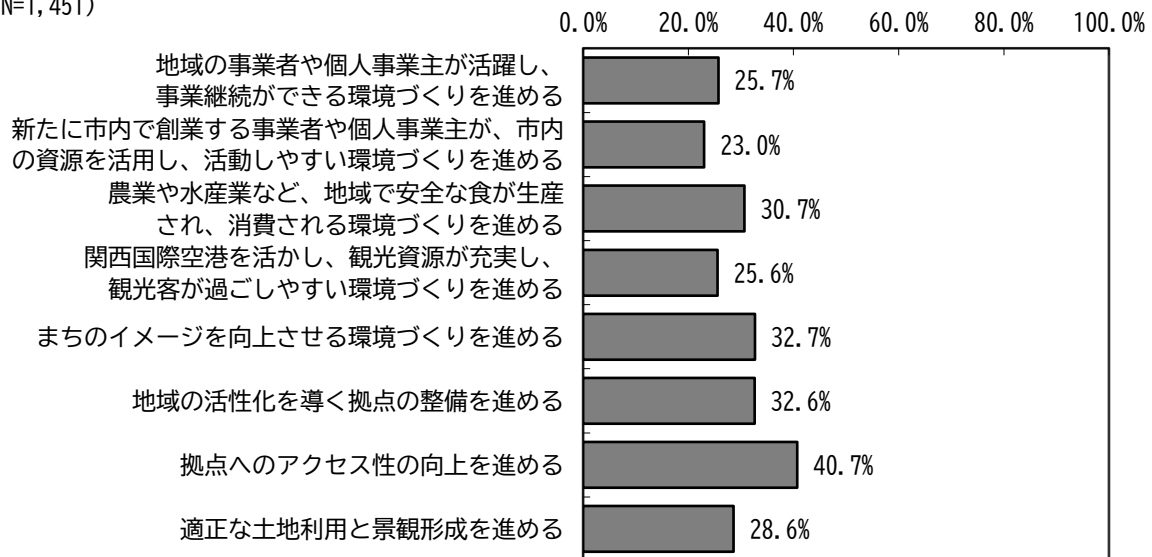


⑤ 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果に関連する項目

基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果は、「拠点へのアクセス性の向上を進める」（40.7％）が最も高く、次いで「まちのイメージを向上させる環境づくりを進める」（32.7％）、「地域の活性化を導く拠点の整備を進める」（32.6％）となっています。

■基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果（全58項目中8項目）

(N=1,451)



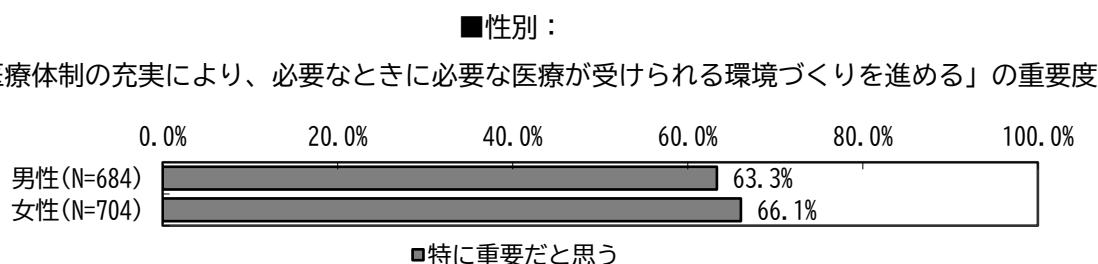
■特に重要だと思う

3. 「重要度（上位3項目）」の属性分析

（1）属性別：「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」の重要度

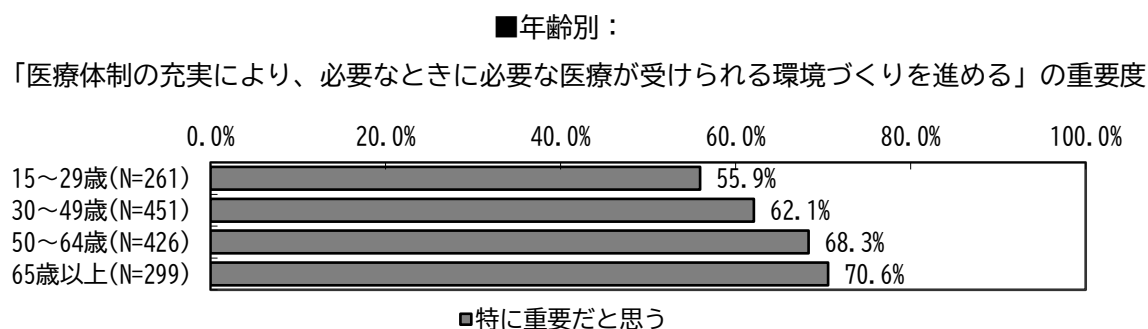
① 性別

性別にみると、重要度は、「女性」が66.1%で、「男性」の63.3%より2.8ポイント上回っています。



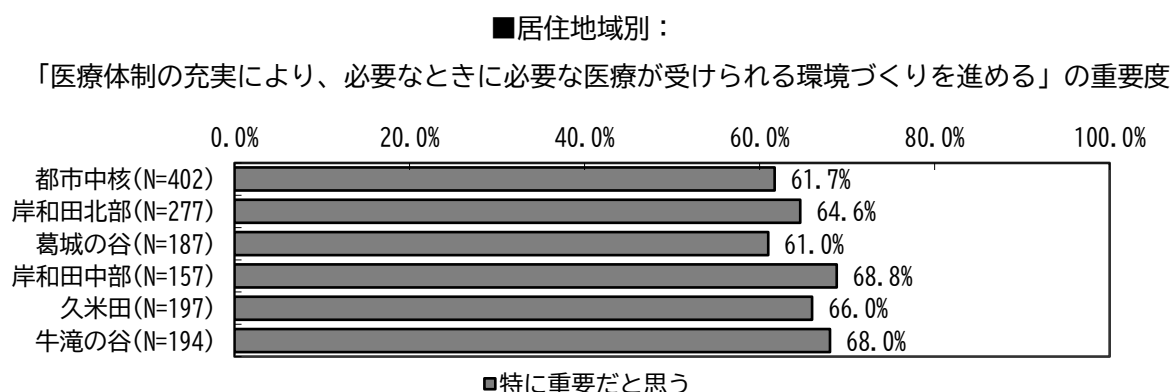
② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「65歳以上」(70.6%)が最も高く、次いで「50～64歳」(68.3%)となっています。



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「岸和田中部地域」(68.8%)が最も高く、次いで「牛滝の谷地域」(68.0%)となっています。

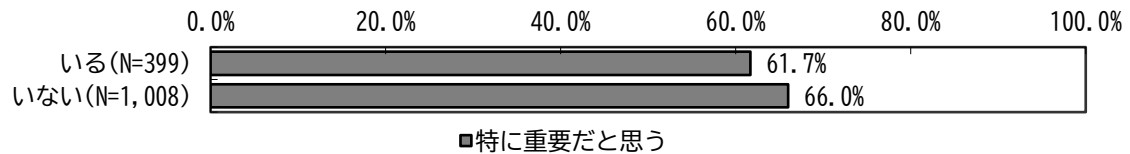


④ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が61.7%で、「養育中のいない世帯」の66.0%より4.3ポイント下回っています。

■養育中の子どもの有無別：

「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」の重要度

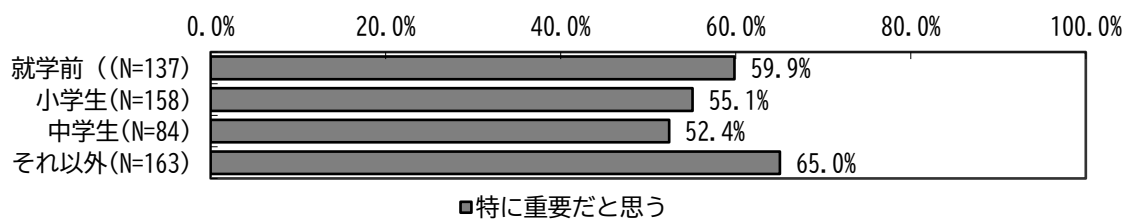


⑤ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「それ以外」の子どもがいる世帯（65.0%）が最も高く、次いで「就学前」の子どもがいる世帯（59.9%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：

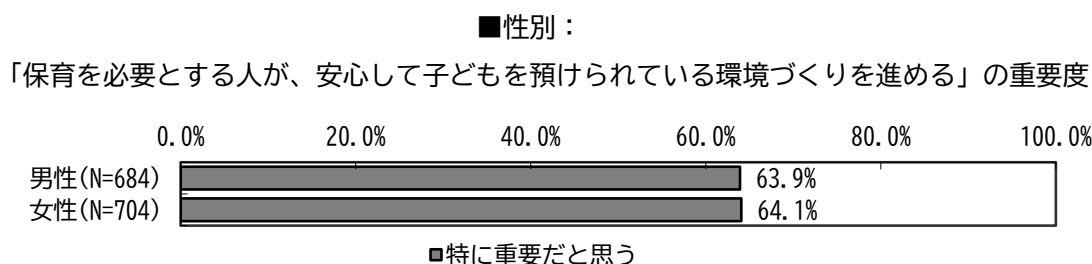
「医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める」の重要度



(2) 属性別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」の重要度

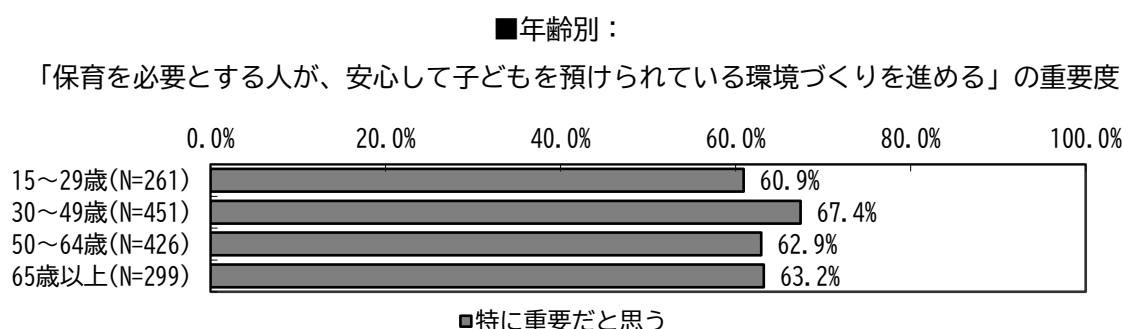
① 性別

性別にみると、重要度は、「女性」が64.1%で、「男性」の63.9%より0.2ポイント上回っています。



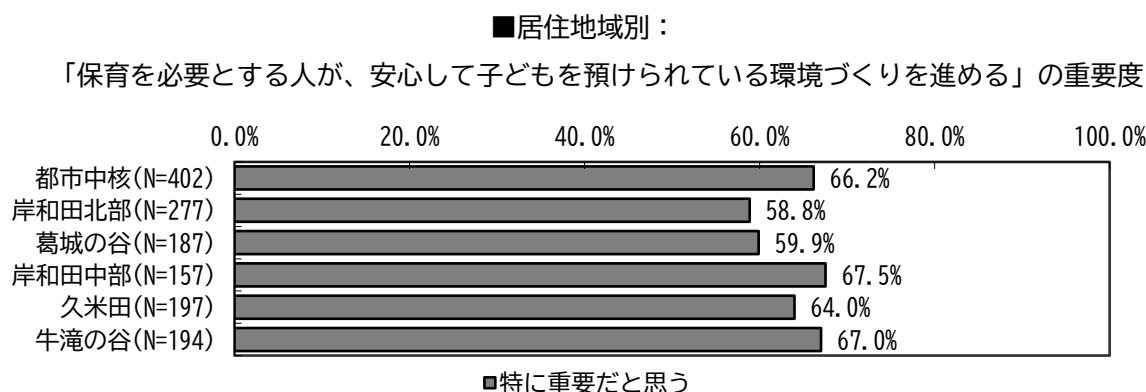
② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「30～49歳」(67.4%)が最も高く、次いで「65歳以上」(63.2%)となっています。



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「岸和田中部地域」(67.5%)が最も高く、次いで「牛滝の谷地域」(67.0%)となっています。

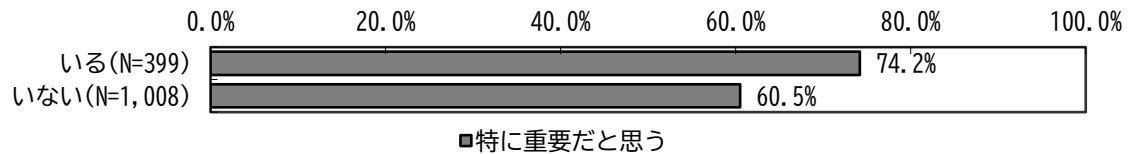


④ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が74.2%で、「養育中のいない世帯」の60.5%より13.7ポイント上回っています。

■養育中の子どもの有無別：

「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」の重要度

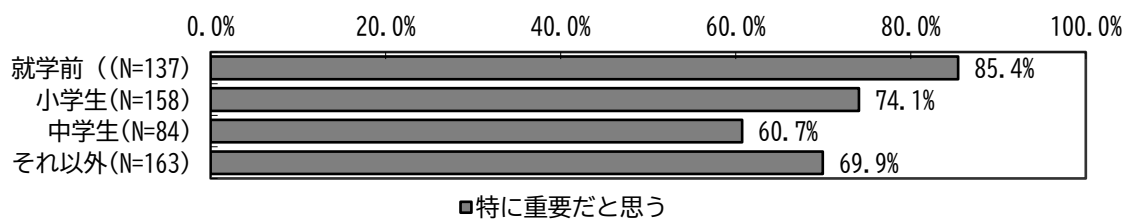


⑤ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「就学前」の子どもがいる世帯（85.4%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（74.1%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：

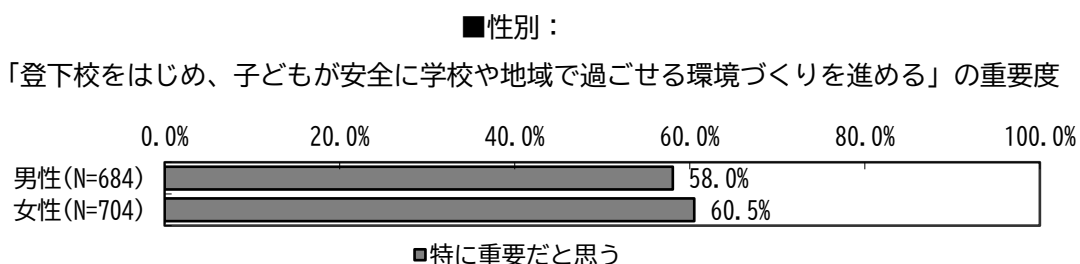
「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」の重要度



(3) 属性別：「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の重要度

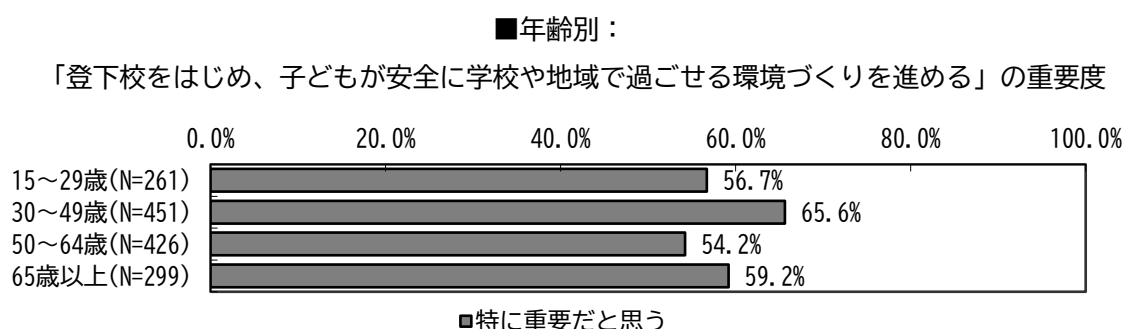
① 性別

性別にみると、重要度は、「女性」が60.5%で、「男性」の58.0%より2.5ポイント上回っています。



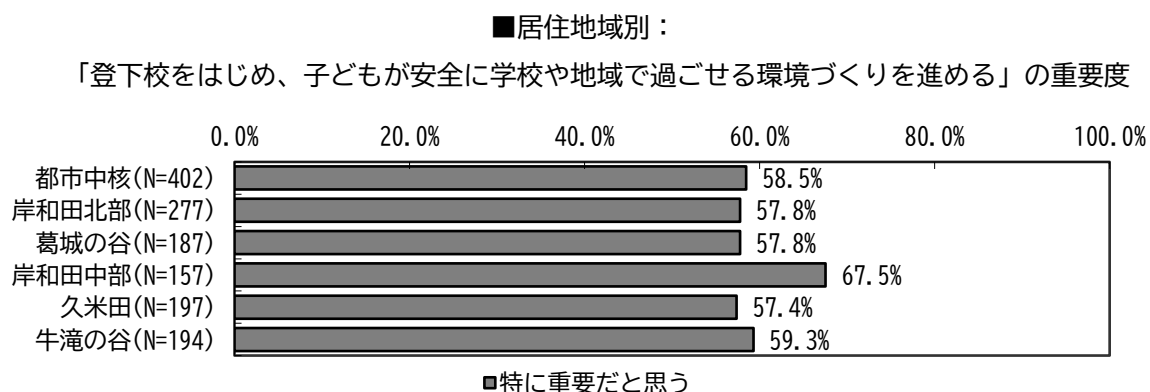
② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「30～49歳」(65.6%)が最も高く、次いで「65歳以上」(59.2%)となっています。



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「岸和田中部地域」(67.5%)が最も高く、次いで「牛滝の谷地域」(59.3%)となっています。

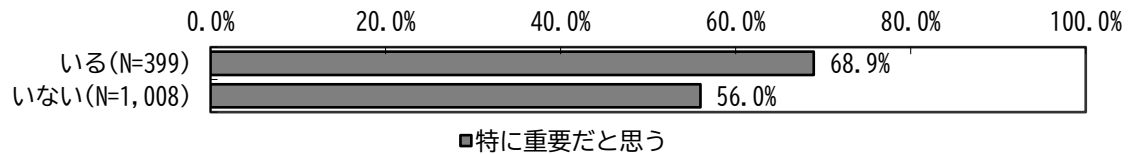


④ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が68.9%で、「養育中のいない世帯」の56.0%より12.9ポイント上回っています。

■養育中の子どもの有無別：

「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の重要度

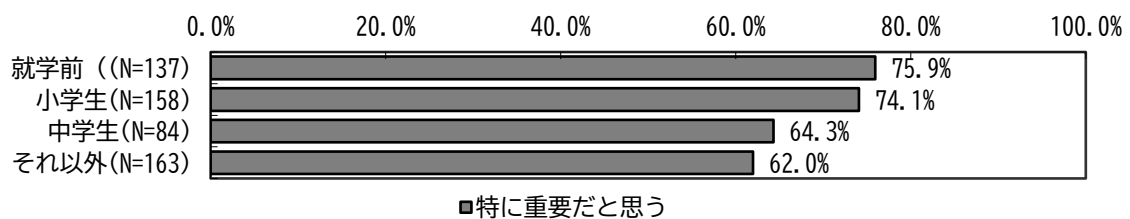


⑤ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「就学前」の子どもがいる世帯（75.9%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（74.1%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：

「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の重要度



第6 子育て世代の意向状況

第6 子育て世代の意向状況

1. 子育て世代の調査結果の傾向

本調査において、「第3 住みやすさ意識調査結果」では、養育中の子どもがいる世帯の中でも、義務教育課程より小さな子どものいる世帯では、それ以外の世帯に比べて、岸和田市の住みやすさや居住継続意向の面で肯定的に感じる割合が低い傾向があります。また、「第5 重要度調査結果」では、子どもの保育や安全に関わる環境の整備や、子育て家庭の負担軽減などに関連する項目の重要度が高くなっています。合わせて、後述する「第7 自由意見」では、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める」、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」といったテーマの意見が多く挙げられています。

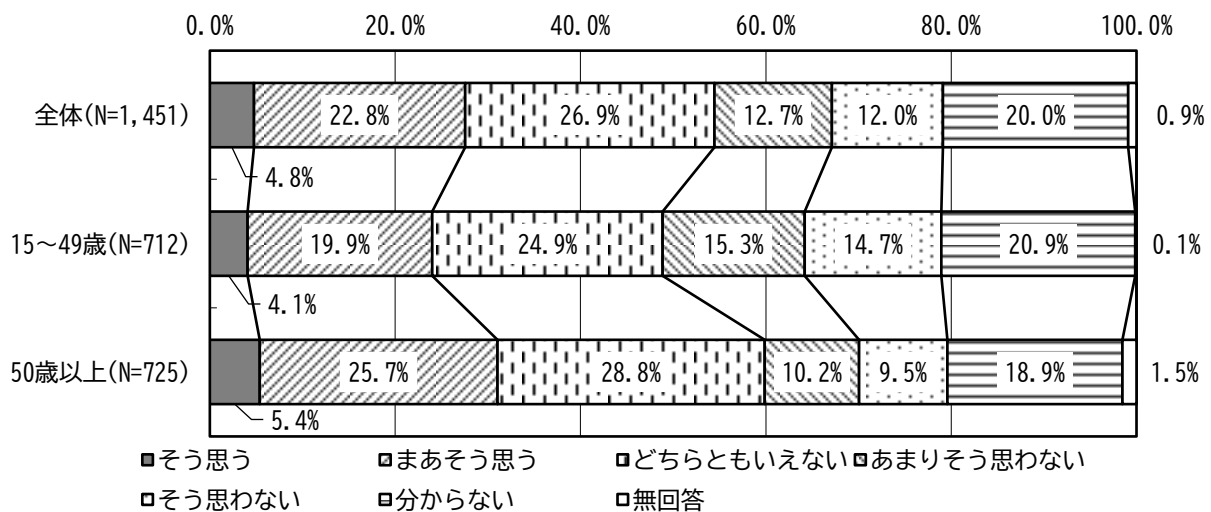
そこで、子育て世代の特徴をさらに詳しく調査するために、「年齢」属性別の集計について、年齢区分「15～49 歳」の年齢層と「50 歳以上」の年齢層で分けて調査結果を抽出し、比較分析します。（なお、本調査では、15～49 歳を「子育て世代」と捉えます。）

2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況

(1) 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果

〔問 22-1 ウ〕の『岸和田は、子どもを生み育てやすい』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が24.0%で、「50 歳以上」の31.1%より7.1 ポイント下回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が30.0%で、「50 歳以上」の19.7%より10.3 ポイント上回っています。

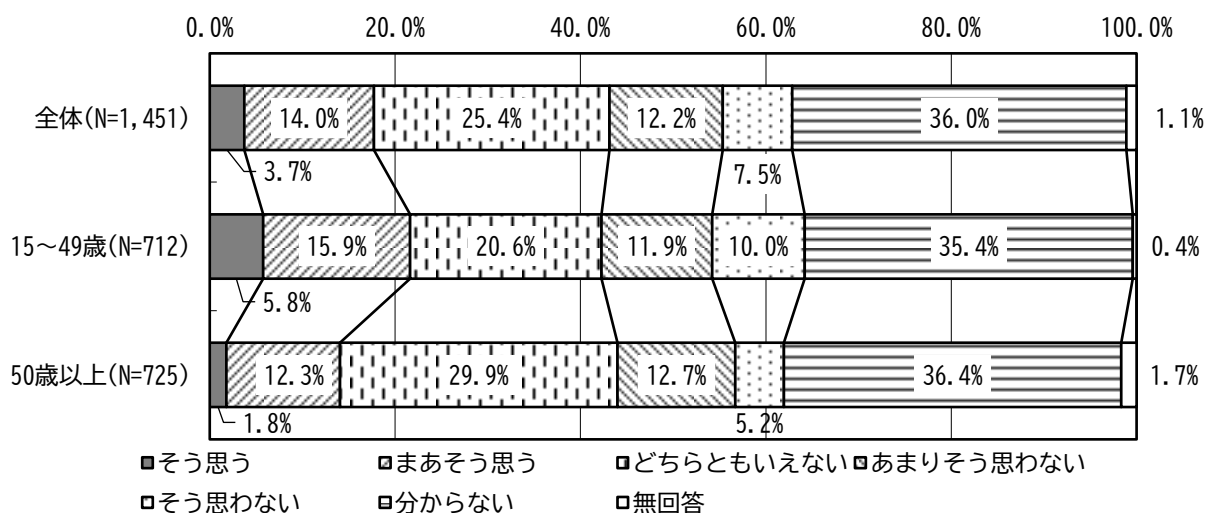
■「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果



(2) 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果

〔問 22-2 タ〕の『子育てに関する不安を相談できる機会や場がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が21.7%で、「50 歳以上」の14.1%より7.6 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が21.9%で、「50 歳以上」の17.9%より4.0 ポイント上回っています。

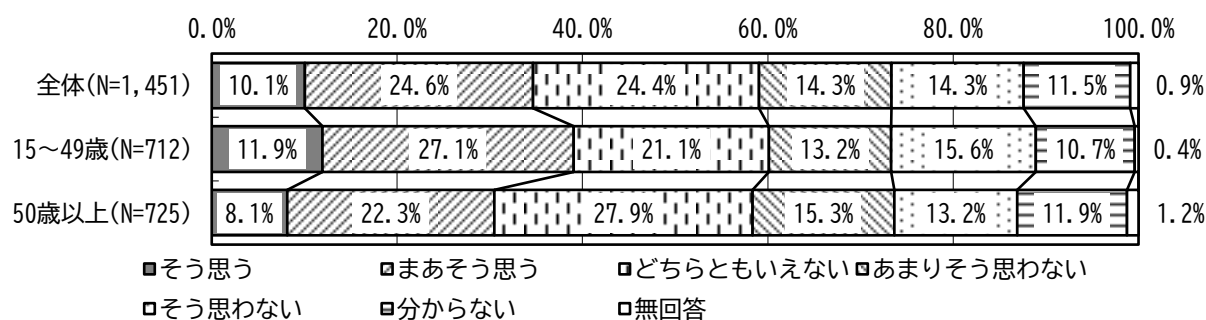
■「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果



(3) 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果

〔問 22-2ハ〕の『困ったときに近くに相談できる人や場所がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が39.0%で、「50歳以上」の30.4%より8.6ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が28.8%で、「50歳以上」の28.5%より0.3ポイント上回っています。

■「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果

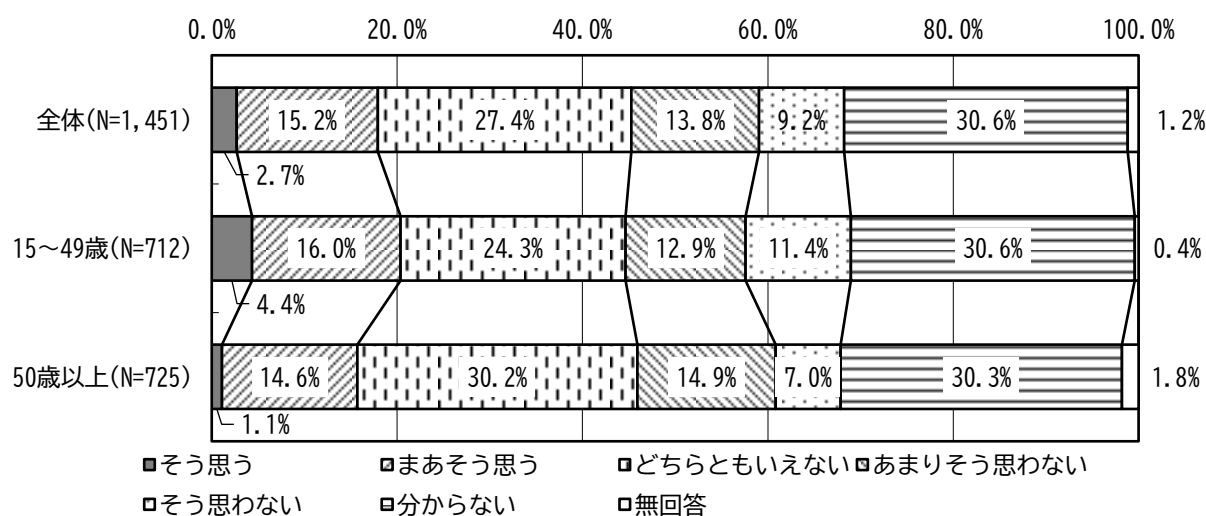


(4) 「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果

〔問 22-2チ〕の『働きながら子育てができる環境が整っている』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が20.4%で、「50歳以上」の15.7%より4.7ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が24.3%で、「50歳以上」の21.9%より2.4ポイント上回っています。

■「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果

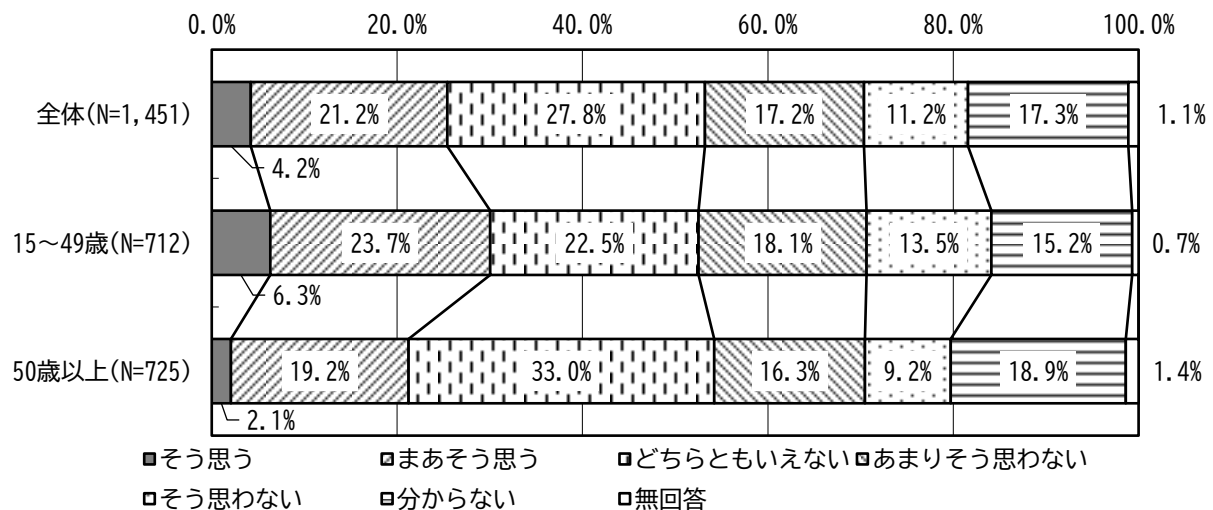


(5) 「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果

〔問 22-2 ツ〕の『子どもが安全に遊ぶことができる』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が30.0%で、「50歳以上」の21.3%より8.7ポイント高くなっています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が31.6%で、「50歳以上」の25.5%より6.1ポイント上回っています。

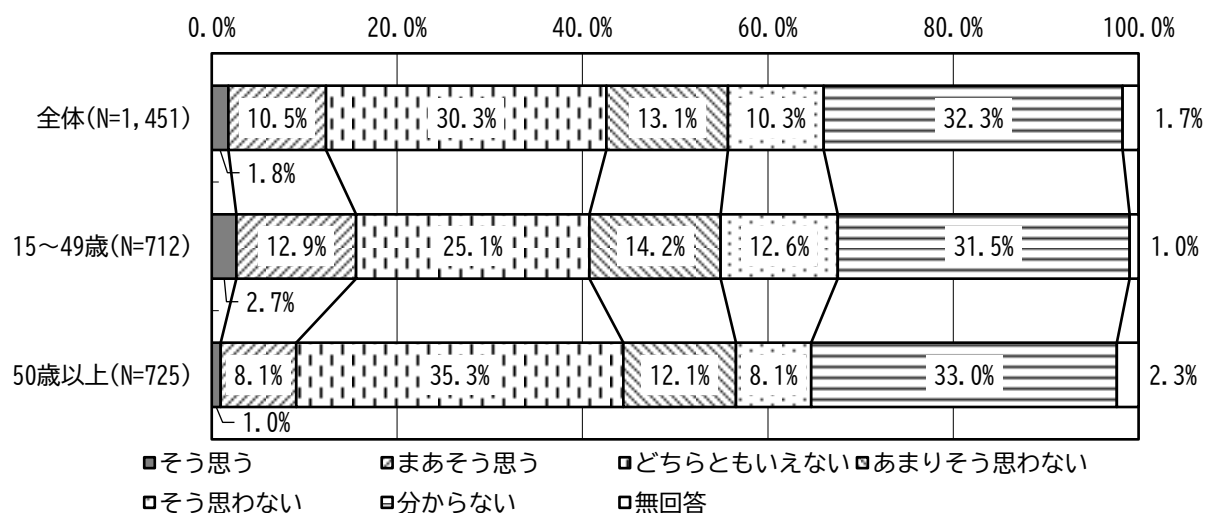
■「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果



(6) 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果

〔問 22-2 テ〕の『子どもの個性や能力にあった教育が行われている』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が15.6%で、「50歳以上」の9.1%より6.5ポイント上回っています。一方、『思わない』（「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が26.8%で、「50歳以上」の20.2%より6.6ポイント上回っています。

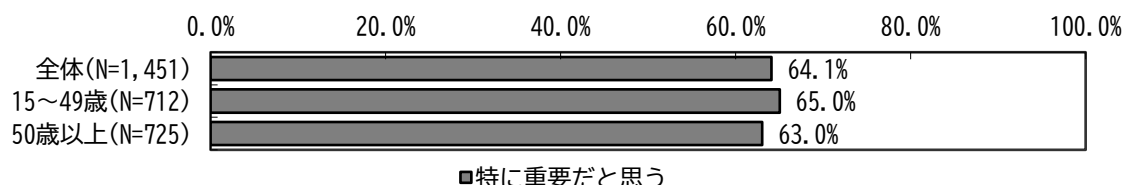
■「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果



(7)「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」の調査結果

〔問 23-3〕の『保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める』の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49歳（子育て世代）」が65.0%で、「50歳以上」の63.0%より2.0ポイント上回っています。

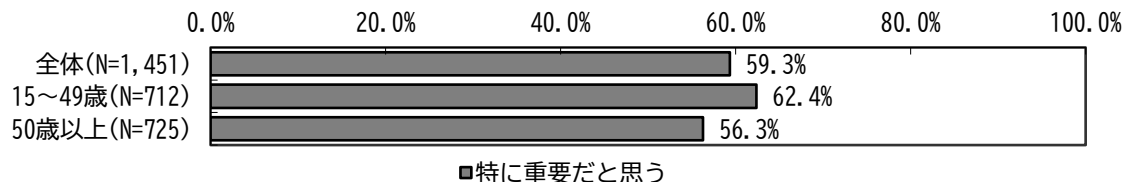
■「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める」の調査結果



(8)「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果

〔問 23-6〕の『登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める』の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49歳（子育て世代）」が62.4%で、「50歳以上」の56.3%より6.1ポイント上回っています。

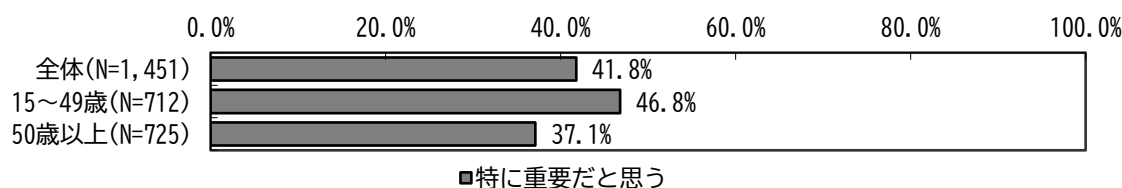
■「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果



(9)「子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う」の調査結果

〔問 23-10〕の「子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う」の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49歳（子育て世代）」が46.8%で、「50歳以上」の37.1%を9.7%上回っています。

■「子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う」の調査結果



第7 自由意見

第7 自由意見

1. 「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の体系

アンケートで回収された自由意見について、「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の体系に基づき、第1期基本計画の「個別目標の方向性」ごとに分類・整理しました。

■「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の体系

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める
		2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める
	働きながら子育てができています	3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める
		4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める
	子どもの健康と安全が保たれている	5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める
		6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める
		7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める
		8	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める
	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する
		10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う
		11	学校園の適正な維持管理や魅力ある運営を行う
		12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む
		13	地域の産業を担う人材育成を進める
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する
		15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める
		16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る
	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	17	働きたい人の就労機会の確保を進める
		18	市内事業所の労働環境の向上を進める
		19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める
		20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる
		22	岸和田の歴史や文化の保存・活用を進める
健康で自分らしく生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める
		24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する
		26	男女共同参画の取組を進める
		27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる
		28	平和への意識向上を進める

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	29	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する
		31	医療保険制度を適切に運営する
		32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
		33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
		34	生活困窮者などに必要な支援を行う
		35	住宅困窮者に居住支援を行う
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
		37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める
		38	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める
		39	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める
		41	発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める
		42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める
人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ
		44	安全安心な水を安定的に供給する
		45	まちの美化を進める
	人が緑と触れあっている	46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める
		47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める
		49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	50	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める
		51	新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める
		52	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める
	観光資源が活かされている	53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める
	岸和田の魅力が伝わっている	54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める
		56	拠点とのアクセス性の向上を図る
持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	57	適正な土地利用と景観形成を進める
		58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める
	持続可能で信頼される行政になっている	59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める
		60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める
		61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
		62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める
		63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める
		64	市独自の歳入確保を進める

2. いただいた様々なご意見

(1) 自由意見の整理

いただいた様々なご意見は、「将来ビジョン・岸和田（第5次岸和田市総合計画）」の『個別目標の方向性』をテーマとして分類し、要旨及び意見数を取りまとめました。また、1つのご意見が複数のテーマにまたがる場合は、最も関係が深いと思われるテーマに割り振っています。

いただいたご意見をテーマ別にみると、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める」、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」、「学校園の適正な維持管理や魅力ある運営を行う」、「生活困窮者などに必要な支援を行う」、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」、「環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ」、「まちの美化を進める」、「岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める」、「拠点とのアクセス性の向上を図る」などのテーマに関するご意見が多く、これらの分野での関心の高さがうかがえます。

■自由意見

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	1
	○妊婦が住みやすいまちになってほしい。	1
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	27
	○子育て世代へ経済的な支援をしてほしい。	12
	○子どもの医療費助成の対象年齢を拡充してほしい。	12
	○不妊治療に係る経済的支援をしてほしい。	1
	○安心して出産・子育てできる環境を整備してほしい。	1
	○シングルマザーへの支援を手厚くしてほしい。	1
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	3
	○チビッコホームの利用料を下げしてほしい。	1
	○チビッコホームを増やしてほしい。	1
	○専業主婦（夫）でも保育所に預けられるようにしてほしい。	1
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	1
	○子どもたちの歯科口腔衛生など健康づくりを進めてほしい。	1
5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	2
	○中学校給食の味を改善してほしい。	1
	○生徒・児童に農作物を育てる楽しさを体験してほしい。	1
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	18
	○通学路の歩道整備や安全施設の設置など、子どもを守ってほしい。	8
	○子どもたちの遊び場を増やしてほしい。	3
	○乳幼児が遊べる遊具のある公園を増やしてほしい。	3
	○赤ちゃんとママパパが気軽に遊べる全天候型施設がほしい。	3
	○子どもが安全に過ごせるまちづくりを進めてほしい。	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	2
	○障害児への支援を拡充してほしい。	1
	○障害をもつ子どもが普通学級に通うための支援を拡充してほしい。	1
8	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	1
	○子育てに関する不安をどこに相談すればよいか分からず困ったことがある。	1
9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	5
	○給食費を無料にしてほしい。	3
	○小学校の制服が高いので、よいものを適正価格で購入できるようにしてほしい。	1
	○支援を必要としている子どもが成長しやすい環境を確保してほしい。	1
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	8
	○学力向上に力を入れてほしい。	5
	○子どもたちが学習の楽しさを学び、将来の選択肢を広げ、健全に育つ岸和田市であってほしい。	3
11	学校園の適正な維持管理や魅力ある運営を行う	19
	○学校園の再編については慎重に検討してほしい。	12
	○学校園の再編についての進捗をもっと発信してほしい。	3
	○保育園のこども園化をさらに推進してほしい。	1
	○学校や市営プールが老朽化していて、危ない場所もあるため整備してほしい。	1
	○学校にエレベーターを設置してほしい。	1
	○学校設備をより充実させてほしい。	1
12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	8
	○青少年の健全育成に力を入れてほしい。	3
	○教育の充実のために、地域、家庭も役割を担う仕組みづくりを進めてほしい。	2
	○生徒・児童の不安や悩みに対する相談や指導体制を整えてほしい。	1
	○不登校に対する対応を強化してほしい。	1
	○子どもたちが元気よく、仲良く、楽しく過ごせるよう今後も見守り育ててほしい。	1
13	地域の産業を担う人材育成を進める	1
	○大企業や大学の誘致により、若者が集まるまちになってほしい。	1
14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	2
	○子どもから大人まで、基礎的な教養が高められる取組を拡充してほしい。	1
	○図書館で借りられる本をもっと充実させてほしい。	1
15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	4
	○運動施設を利用しやすくしてほしい。	2
	○施設予約システムを使いやすくしてほしい。	1
	○子どもたちのスポーツ人口の向上につとめてほしい。	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	0
	○なし	—
17	働きたい人の就労機会の確保を進める	3
	○労働環境の充実、雇用の促進に力をそそいでほしい。	2
	○地域における魅力ある就業機会を確保してほしい。	1
18	市内事業所の労働環境の向上を進める	0
	○なし	—
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	0
	○なし	—
20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	5
	○元気で社会貢献したい高齢者が活躍できる環境を整えてほしい。	3
	○高齢者の知恵や時間を有効に使って子育て世帯を支援するしくみを普及させてほしい。	2
21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	1
	○歴史や伝統、文化に触れやすい環境を整えてほしい。	1
22	岸和田の歴史や文化の保存・活用を進める	4
	○市内の歴史的な物や場所の維持整備、保護を進めてほしい。	3
	○文化を大切に維持し引き継いでほしい。	1
23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	3
	○各種ワクチンの自費接種費用の補助についてわかりやすく示してほしい。	1
	○市民のガン検診を、年齢関係なく毎年受診できるようにしてほしい。	1
	○無料のPCR検査場を設置してほしい。	1
24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	2
	○市民病院での待ち時間を改善してほしい。	1
	○岸和田市の医療体制の充実、向上をはかってほしい。	1
25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	4
	○一人ひとりが互いを尊重し合う社会や環境を整えてほしい。	3
	○外国人が岸和田で住んでよかったと思えるようなまちにしたい。	1
26	男女共同参画の取組を進める	1
	○もっと女性が働きやすい環境にしたい。	1
27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	2
	○市営住宅にエレベーターをつけてほしい。	1
	○岸和田城の多目的トイレの数を拡充してほしい。	1
28	平和への意識向上を進める	0
	○なし	—

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
29	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	5
	○困ったときに相談できる機会を確保してほしい。	1
	○だんじり祭の他にも、つながる機会を創出してもらい、誰もが住みやすい地域にしてほしい。	1
	○地域住民同士の交流を活発にしてほしい。	1
	○合同の供養墓の整備を進めてほしい。	1
	○相談したいことは誰にでも相談している。	1
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	0
	○なし	—
31	医療保険制度を適切に運営する	2
	○国民健康保険料の負担を軽減してほしい。	2
32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	4
	○駅近スーパーが少なくなり、高齢者が買い物に行くのはかなり遠い所にしかなく、不安である。	2
	○高齢者が一人残ってしまっても、安心してくらせる環境をつくってほしい。	1
	○高齢者のバス利用を無料化してほしい。	1
33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	2
	○日中一時支援の対象事業所を増やし、利用しやすくしてほしい。	1
	○障害を持つ子どもが将来、不自由なく安心して生活し、生きていけるまちづくりをしてほしい。	1
34	生活困窮者などに必要な支援を行う	22
	○生活保護制度等をより適正に執行し、生活保護受給者等を減らす努力をしてほしい。	12
	○本当に必要な人に支援を届けてほしい。	6
	○岸和田市独自の給付金を検討してほしい。	3
	○子どもがいない家庭でも暮らしやすくしてほしい。	1
35	住宅困窮者に居住支援を行う	1
	○市営住宅の供給よりも、住宅費助成による支援の方が効率的ではないか検討してほしい。	1
36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	32
	○歩道を含めた道路の凹凸やクラックなど整備してほしい。	11
	○暴走行為、迷惑行為の取り締り強化をはかってほしい。	7
	○歩道と自転車道、車道をわけてほしい。	4
	○狭い道路の拡幅整備を進め、歩道を設置するなど安全性を高めてほしい。	4
	○道路に街灯を増やしてほしい。暗くて危険。	3
	○自転車の交通マナーの向上をはかってほしい。	2
	○道路標識（横断歩道等）が薄くなっていて見づらいので都度対応してほしい	1
37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	0
	○なし	—

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
38	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	8
	○治安を良くして、安心安全なまちづくりをしてほしい。	6
	○公園や地域の定期見回りをしてほしい。	2
39	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	0
	○なし	—
40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	2
	○山手住宅地など古くなりつつある擁壁のチェックを検討してほしい。	1
	○大雨災害対策として河川の草木の手入れをしてほしい。	1
41	発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める	3
	○災害時に、医療的ケアが必要な子どもを連れての避難はむずかしい。あらかじめ専用の避難場所を決めるなど、検討してほしい。	1
	○大規模災害時における他府県からの応援受入れ体制がスムーズに取れるよう進めてほしい。	1
	○地域内における災害時避難場所を充実させてほしい。	1
42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	0
	○なし	—
43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	18
	○生活騒音に悩まされているので、対策してほしい。	15
	○曇りや夜間に強烈な悪臭がする時がある。	2
	○工場等からの排出物が風で飛んできて悩まされているので、対策してほしい。	1
44	安全安心な水を安定的に供給する	5
	○水道料金が高いので困っている。家計の負担軽減をはかってほしい。	5
45	まちの美化を進める	15
	○ポイ捨て、ごみを減らすための制度を検討してほしい。	6
	○ペットの糞害に悩まされているので、対策してほしい。	4
	○ハトの糞害に悩まされているので、対策してほしい。	1
	○家庭から川へ排水されることがないように、下水道を整備してほしい。	1
	○不法投棄をなくしてほしい。	1
	○水路を適切に管理してほしい。	1
	○スプレーによる落書きの取り締まりを強化してほしい。	1
46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	9
	○公園が汚いので、良好な環境にしてほしい。	3
	○ペットと遊べる環境を整備してほしい。	3
	○誰もが公園を利用しやすいようにしてほしい。	1
	○公園の駐車場を無料化してほしい。	1
	○スケートボードが気軽にできる場所をもっと増やしてほしい。	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	2
	○海と山のある岸和田の自然を大切に緑の多い貴重な環境を保ってほしい。	1
	○豊かな生物を守ってほしい。	1
48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	13
	○有料ごみ袋が高いので、見直しをはかってほしい。	8
	○ごみ収集を定刻制にするなど、ごみ出しによる生活環境被害を軽減させてほしい。	3
	○クリーンセンターへの一般ごみ搬入日を拡充してほしい。	1
	○10Lより小さい有料ごみ袋を作成してほしい。	1
49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	3
	○公共施設における節電を進めてほしい。	1
	○ごみ焼却にともなう熱源の再利用を検討してほしい。	1
	○太陽光発電設置やEV車購入に係る補助金の支給を検討してほしい。	1
50	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	0
	○なし	—
51	新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	6
	○企業誘致に尽力してほしい。税収確保、雇用の創出により豊かなまちになってほしい。	6
52	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	2
	○水産業を充実させるために、海はもっときれいに保ってほしい。	1
	○農家以外も農地が購入しやすくしてほしい。	1
53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	1
	○観光資源をもっと活かして、観光誘致してほしい。	1
54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	16
	○いいところは伸ばし、良くないイメージは塗り替えてほしい。	8
	○だんじり以外の魅力を発信してほしい。	5
	○岸和田に住んでいることが、誇りに思えるような取組みや発信を積極的に行ってほしい。	2
	○花火大会を復活させてほしい。	1
55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	13
	○商業施設やスーパーなど、買い物できる場所をつくってほしい。	4
	○駅周辺の整備・（再）開発を進めてほしい。	3
	○もっと人が集まるように拠点を整備してほしい。	2
	○岸和田全体を見通した開発を進めてほしい。	2
	○駅前の駐輪所を増やしてほしい。	1
	○室内型の遊泳施設を設置してほしい。	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
56	拠点とのアクセス性の向上を図る	28
	○交通網を整備してほしい。	11
	○特に山手の交通の便が悪いのでよくしてほしい。	7
	○ローズバスの運行を充実させてほしい。	7
	○駅周辺の高架化を進めてほしい。	2
	○道路の渋滞を解消してほしい。	1
57	適正な土地利用と景観形成を進める	2
	○耕作放棄地等への対策として防草シートの支援など検討してほしい。	1
	○住居表示を早く進めてほしい。	1
58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	4
	○町会加入の必要性を感じないので、メリットを示してほしい。	1
	○市民に各町会への加入を促進してほしい。	1
	○市の事業にボランティアを募るなど、誰もが活躍できるまちづくりをしてほしい。	1
	○町会費の統一化をしてほしい。	1
59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	15
	○市民が必要な情報を得やすいように、また、興味を持つようにホームページや SNS の活用法などを検討してほしい。	8
	○市の活動が見えるように情報発信してほしい。	4
	○市民が意見を出しやすいような仕組みづくりをしてほしい。	1
	○これからも行政と市民が力を合わせて住み良いまちにしてほしい。	1
	○市制施行 100 周年事業を充実させてほしい。	1
60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	12
	○職員の資質を向上させてほしい。	9
	○市民目線の行政職員であってほしい。	3
61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	4
	○工事の執行を適切に行ってほしい。	2
	○適正に職員の人員管理等をしてほしい。	1
	○市議会議員の定数について検討してほしい。	1
62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める	20
	○市役所の庁舎立替に係る課題を解決し、前に進めてほしい。	9
	○新型コロナウイルス感染症に係る対応が遅いと感じる。もっと迅速にほしい。	6
	○行政手続きを便利に行えるようにしてほしい。	3
	○市民センターの機能を拡充してほしい。	1
	○市役所からの案内を「紙」か「オンライン」か選べるようにしてほしい。	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	5
	○住民税が高いので、負担を軽減してほしい。	5
64	市独自の歳入確保を進める	0
	○なし	—
	その他	52
	○他市にないような個性がある施策を進めて、より魅力的な市になってほしい。	15
	○だんじり祭以外の事業にも取り組んでほしい。	14
	○市民意識調査の質問数や質問方法、実施方法など検討してほしい。	9
	○新型コロナウイルス感染症に係る経済対策等を充実させてほしい。	5
	○行政サービスの向上を継続してほしい。	4
	○長期的な計画の中で、良いものを活かしたまちづくりを進めてほしい。	1
	○活気がありすばらしいまちだと思う。	1
	○若者に寄り添った市政をしてほしい。	1
	○男女の出会いをつくってあげてほしい。	1
	○市民意識調査により市民の声を聞いてもらえて嬉しい。	1

卷末資料

1. その他集計結果

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

	回答数	構成比
している	646	44.5%
していない	799	55.1%
無回答	6	0.4%
合計	1,451	100.0%

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	394	27.2%
ない	1,053	72.6%
無回答	4	0.3%
合計	1,451	100.0%

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

	回答数	構成比
ある	328	22.6%
ない	1,116	76.9%
無回答	7	0.5%
合計	1,451	100.0%

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	152	10.5%
ない	1,294	89.2%
無回答	5	0.3%
合計	1,451	100.0%

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

	回答数	構成比
ある	285	19.6%
ない	1,164	80.2%
無回答	2	0.1%
合計	1,451	100.0%

問9 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

	回答数	構成比
している	1,002	69.1%
していない	442	30.5%
無回答	7	0.5%
合計	1,451	100.0%

問10 あなたは、この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

	回答数	構成比
ある	429	29.6%
ない	1,017	70.1%
無回答	5	0.3%
合計	1,451	100.0%

問11 あなたは、ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

	回答数	構成比
いる	1,091	75.2%
いない	355	24.5%
無回答	5	0.3%
合計	1,451	100.0%

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

	回答数	構成比
行っている	316	21.8%
行っていない	1,131	77.9%
無回答	4	0.3%
合計	1,451	100.0%

問13 あなたは、かかりつけ医をもっていますか？

	回答数	構成比
もっている	977	67.3%
もっていない	471	32.5%
無回答	3	0.2%
合計	1,451	100.0%

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

	回答数	構成比
受けた	1,051	72.4%
受けていない	360	24.8%
無回答	40	2.8%
合計	1,451	100.0%

問15 あなたは、地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をしますか？

	回答数	構成比
する	701	48.3%
しない	711	49.0%
無回答	39	2.7%
合計	1,451	100.0%

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

	回答数	構成比
買う	533	36.7%
買わない	874	60.2%
無回答	44	3.0%
合計	1,451	100.0%

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

	回答数	構成比
できている	1,070	73.7%
できていない	341	23.5%
無回答	40	2.8%
合計	1,451	100.0%

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

	回答数	構成比
している	571	39.4%
していない	843	58.1%
無回答	37	2.5%
合計	1,451	100.0%

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	1,104	76.1%
知らない	310	21.4%
無回答	37	2.5%
合計	1,451	100.0%

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	58	4.0%
ない	1,358	93.6%
無回答	35	2.4%
合計	1,451	100.0%

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

	回答数	構成比
いる	262	18.1%
いない	1,152	79.4%
無回答	37	2.5%
合計	1,451	100.0%

問22－1 あなたは、次の各記述をどう思われますか？

項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	ア		イ		ウ		エ		オ	
	生きがいを感じる ことがある		仕事と生活の調和 (ライフ・ワーク・バ ランス)が取れてい る		岸和田は、子ども を生み育てやすい		安全な水が安定し て供給されている		農業や漁業に魅力 がある	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	240	16.5%	179	12.3%	69	4.8%	497	34.3%	157	10.8%
まあそう思う	520	35.8%	536	36.9%	331	22.8%	664	45.8%	390	26.9%
どちらともいえない	419	28.9%	346	23.8%	390	26.9%	154	10.6%	465	32.0%
あまりそう思わない	156	10.8%	179	12.3%	184	12.7%	40	2.8%	182	12.5%
そう思わない	73	5.0%	132	9.1%	174	12.0%	15	1.0%	111	7.6%
分からない	41	2.8%	67	4.6%	290	20.0%	66	4.5%	132	9.1%
無回答	2	0.1%	12	0.8%	13	0.9%	15	1.0%	14	1.0%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

	カ		キ		ク		ケ		コ	
	岸和田が多くの観 光客でにぎわい、 観光の振興が十 分である		商工業に活気があ る		働く意欲のある人 に働ける場所が確 保されている		労働環境に満足し ている		岸和田の歴史や 伝統がしっかりと 引き継がれている	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	59	4.1%	13	0.9%	24	1.7%	81	5.6%	219	15.1%
まあそう思う	200	13.8%	110	7.6%	137	9.4%	280	19.3%	564	38.9%
どちらともいえない	428	29.5%	455	31.4%	513	35.4%	455	31.4%	332	22.9%
あまりそう思わない	365	25.2%	401	27.6%	311	21.4%	216	14.9%	130	9.0%
そう思わない	287	19.8%	257	17.7%	207	14.3%	187	12.9%	70	4.8%
分からない	107	7.4%	208	14.3%	256	17.6%	219	15.1%	125	8.6%
無回答	5	0.3%	7	0.5%	3	0.2%	13	0.9%	11	0.8%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

	サ		シ		ス		セ		ソ	
	海や川の水がきれ いだ		平和は大切だ		人権問題は差別を 受けている人の問 題であって自分と は関係がない		男女がそれぞれの 能力を十分に発揮 しあい、あらゆる場 面で協力し合っ ている		市役所から発信さ れた情報(広報き しわだ、ホーム ページなど)が分 かりやすい	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	36	2.5%	1,209	83.3%	22	1.5%	52	3.6%	74	5.1%
まあそう思う	179	12.3%	169	11.6%	39	2.7%	247	17.0%	514	35.4%
どちらともいえない	437	30.1%	33	2.3%	265	18.3%	527	36.3%	415	28.6%
あまりそう思わない	378	26.1%	9	0.6%	212	14.6%	260	17.9%	170	11.7%
そう思わない	336	23.2%	7	0.5%	830	57.2%	131	9.0%	117	8.1%
分からない	81	5.6%	15	1.0%	76	5.2%	228	15.7%	156	10.8%
無回答	4	0.3%	9	0.6%	7	0.5%	6	0.4%	5	0.3%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

問22-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思われますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	タ		チ		ツ		テ		ト	
	子育てに関する不安を相談できる機会や場がある		働きながら子育てができる環境が整っている		子どもが安全に遊ぶことができる		子どもの個性や能力にあった教育が行われている		安心して歩道を通行することができる	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	54	3.7%	39	2.7%	61	4.2%	26	1.8%	62	4.3%
まあそう思う	203	14.0%	221	15.2%	308	21.2%	153	10.5%	283	19.5%
どちらともいえない	369	25.4%	397	27.4%	403	27.8%	439	30.3%	346	23.8%
あまりそう思わない	177	12.2%	200	13.8%	249	17.2%	190	13.1%	359	24.7%
そう思わない	109	7.5%	133	9.2%	163	11.2%	150	10.3%	324	22.3%
分からない	523	36.0%	444	30.6%	251	17.3%	468	32.3%	65	4.5%
無回答	16	1.1%	17	1.2%	16	1.1%	25	1.7%	12	0.8%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

	ナ		ニ		ヌ		ネ		ノ	
	ユニバーサルデザイン化が進んでいる		鉄道駅周辺の市街地に活気がある		景観がよく保全されている		市内をスムーズに移動できる		高齢者が安心して生活できている	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	16	1.1%	31	2.1%	40	2.8%	72	5.0%	62	4.3%
まあそう思う	86	5.9%	162	11.2%	226	15.6%	446	30.7%	336	23.2%
どちらともいえない	423	29.2%	353	24.3%	449	30.9%	377	26.0%	415	28.6%
あまりそう思わない	324	22.3%	424	29.2%	351	24.2%	256	17.6%	215	14.8%
そう思わない	254	17.5%	374	25.8%	234	16.1%	198	13.6%	179	12.3%
分からない	331	22.8%	97	6.7%	140	9.6%	87	6.0%	230	15.9%
無回答	17	1.2%	10	0.7%	11	0.8%	15	1.0%	14	1.0%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

	ハ		ヒ		フ	
	困ったときに近くに相談できる人や場所がある		住民が交流する機会が多い		行政の手続きが便利になった	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	146	10.1%	70	4.8%	37	2.5%
まあそう思う	357	24.6%	246	17.0%	248	17.1%
どちらともいえない	354	24.4%	403	27.8%	434	29.9%
あまりそう思わない	207	14.3%	260	17.9%	244	16.8%
そう思わない	207	14.3%	246	17.0%	215	14.8%
分からない	167	11.5%	214	14.7%	263	18.1%
無回答	13	0.9%	12	0.8%	10	0.7%
合計	1,451	100.0%	1,451	100.0%	1,451	100.0%

2. アンケート調査票

令和 4 年度 岸和田市市民意識調査

～あなたの意見をお聞かせください～

ご協力をお願い

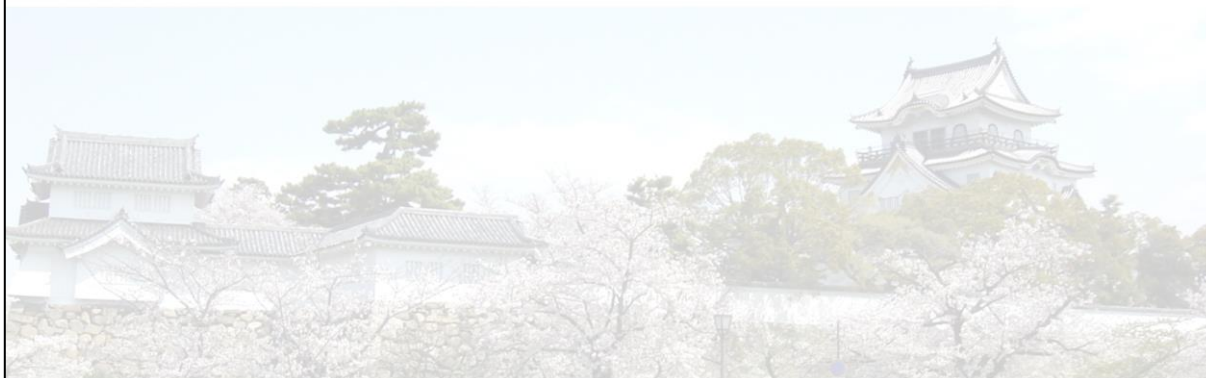
岸和田市では、市民の皆様からご意見をお聞きし、今後の市政運営に役立てるため、「岸和田市市民意識調査」を実施しています。

この調査は、市民の皆様の意識や活動の状況、市の取組に対する重要度についてご意見をお聞きするものです。「市民の皆様の現状はどうなっているか?」「今後、力を入れる必要がある施策は何か?」を確認しながら、今後の市政運営を進めていきたいと考えています。

今回の調査は、無作為に抽出した岸和田市にお住まいの 15 歳以上の約 4,000 人の方に、無記名でのご回答をお願いしています。個人の秘密がもれたり、施策の検討以外に使われたりするなどのご迷惑をおかけすることは一切ありません。お手数をおかけし恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果は市のホームページなどで公表する予定です。

※回答方法・回答期限については、裏面をご覧ください。



回答方法・回答期限

①郵送 または ②WEB の2通りでアンケートにご回答いただきます。
いずれも質問内容は同じです。どちらか1つの方法でお答えください。

【①郵送で回答するときの注意事項】

1. ご回答は、お送りした宛名のご本人がお答えください（お名前の記入は不要です。）
2. ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印を付けるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。設問により回答方法が異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。
3. 目が不自由などの理由で筆記が困難な場合や、ご質問がございましたら、お手数をおかけしますが、下記までご連絡ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに期限までに郵便ポストにご投函ください。住所・氏名は記入不要です。

【②WEB で回答するときの注意事項】

1. 封筒の宛名のご本人がお答えください
 2. 下記の URL を入力するか、右記の QR コードを読み取ってアクセスしてください。
<https://logoform.jp/f/wMPzi>
 3. 以下の WEB アンケート回答用番号をご入力ください。
- ※「回答用番号」は、1人の方が複数回答することを避けるためのものです。個人を特定するためのものではありません。
4. 表示にしたがって回答を進めてください（所要時間は概ね 10 分です。）
 5. 回答の途中でページから離れると、回答が無効になりますのでご注意ください。



【回答期限】 **令和4年6月3日（金）** ※郵送、WEB どちらも同じです。
※回答期限を設けておりますが、ご案内が届き次第、ご回答いただけますと幸いです。

お問い合わせ先

岸和田市 総合政策部 企画課 政策担当
〒596-8510 岸和田市岸城町7番1号
電話 072-423-9492（直通）
メール kikaku@city.kishiwada.osaka.jp

I 岸和田のまちについてお聞きます。

問1 あなたは、岸和田市の住みやすさについてどう思われますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 住みよい	4. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みよい	5. 住みにくい
3. どちらともいえない	6. 分からない

問2 今後も岸和田市内に住み続けたいと思われますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい	3. できれば他市町村へ移転したい
2. 当分住み続けたい	4. すぐにでも他市町村へ移転したい

前問で1、2を選んだ方（問2-1へ）

前問で3、4を選んだ方（問2-2へ）

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしやすい
2. 子どもの教育環境が良い
3. 公民館や運動施設などが充実している
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 医療・福祉サービスが充実している
6. 災害に対する不安が小さい
7. 犯罪が少ない
8. 交通の便が良い
9. 買い物や外食が便利
10. 自然・緑が多い
11. まちのイメージが良い
12. 地域での人間関係が良い
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか？ あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしにくい
2. 子どもの教育環境が良くない
3. 公民館や運動施設などが充実していない
4. 住み慣れておらず愛着がない
5. 医療・福祉サービスが充実していない
6. 災害に対する不安が大きい
7. 犯罪が多い
8. 交通の便が良くない
9. 買い物や外食が不便
10. 自然・緑が少ない
11. まちのイメージが良くない
12. 地域での人間関係が良くない
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問3 あなたは、岸和田のまちを誇りに思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 思う	4. どちらかといえば思わない
2. どちらかといえば思う	5. 思わない
3. どちらともいえない	6. 分からない

Ⅱ 日常生活などについてお聞きます。

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問9 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問10 あなたは、この1年間にゴミ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問11 あなたは、ゴミの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない |
|----------|-----------|

問13 あなたは、かかりつけ医をもちっていますか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1. もっている | 2. もっていない |
|----------|-----------|

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けていない |
|--------|-----------|

問15 あなたは、地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をしますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

- | | |
|-------|---------|
| 1. 買う | 2. 買わない |
|-------|---------|

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1. できている | 2. できていない |
|----------|-----------|

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

Ⅲ あなた自身の感じ方についてお聞きます。

問 22 - 1 あなたは、次の各記述をどう思われますか？ 項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	そう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまり思いません	そう思わない	分からない
ア 生きがいを感じることがある	5	4	3	2	1	0
イ 仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている	5	4	3	2	1	0
ウ 岸和田は、子どもを生み育てやすい	5	4	3	2	1	0
エ 安全な水が安定して供給されている	5	4	3	2	1	0
オ 農業や漁業に魅力がある	5	4	3	2	1	0
カ 岸和田が多く観光客でにぎわい、観光の振興が十分である	5	4	3	2	1	0
キ 商工業に活気がある	5	4	3	2	1	0
ク 働く意欲のある人に働ける場所が確保されている	5	4	3	2	1	0
ケ 労働環境に満足している	5	4	3	2	1	0
コ 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	5	4	3	2	1	0
サ 海や川の水がきれいだ	5	4	3	2	1	0
シ 平和は大切だ	5	4	3	2	1	0
ス 人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係がない	5	4	3	2	1	0
セ 男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力し合っている	5	4	3	2	1	0
ソ 市役所から発信された情報（広報きしわだ、ホームページなど）が分かりやすい	5	4	3	2	1	0

問 22 - 2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思われますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

タ 子育てに関する不安を相談できる機会や場がある	5	4	3	2	1	0
チ 働きながら子育てができる環境が整っている	5	4	3	2	1	0
ツ 子どもが安全に遊ぶことができる	5	4	3	2	1	0
テ 子どもの個性や能力にあった教育が行われている	5	4	3	2	1	0
ト 安心して歩道を通行することができる	5	4	3	2	1	0
ナ ユニバーサルデザイン化が進んでいる	5	4	3	2	1	0
ニ 鉄道駅周辺の市街地に活気がある	5	4	3	2	1	0
ヌ 景観がよく保全されている	5	4	3	2	1	0
ネ 市内をスムーズに移動できる	5	4	3	2	1	0
ノ 高齢者が安心して生活できている	5	4	3	2	1	0
ハ 困ったときに近くに相談できる人や場所がある	5	4	3	2	1	0
ヒ 住民が交流する機会が多い	5	4	3	2	1	0
フ 行政の手続きが便利になった	5	4	3	2	1	0

※ユニバーサルデザインとは、障害の有無に関係なく、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

IV これからの市の取組についてお聞きます。

問 23 下記に示した 58 個の項目について、岸和田のまちづくりにとってあなたが特に重要だと思うものすべてに○を記入してください。

	項 目	主な取組など	記入欄
例	子ども一人ひとりが輝けるための適正な支援を行う	学力向上支援、特別支援教育など	○
1	切れ目のない妊産婦や乳幼児の健康づくりを進める	妊産婦健康診査、乳幼児全戸訪問など	
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消や精神的負担、経済的負担の軽減を進める	発達相談、各種医療費助成など	
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられている環境づくりを進める	市立幼稚園及び保育所再編、民間認定こども園誘致、保育士応援金など	
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	園児・児童・生徒の健康診断など	
5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	学校給食運営、学校体育振興など	
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	通学路巡回パトロール、児童遊園整備など	
7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	障害児通所支援、総合通園センター運営など	
8	育てにくさを感じる親への支援や児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応を進める	児童虐待相談など	
9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育の機会を確保する	学校適正配置推進、就学奨励、通学区調整など	
10	子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う	学力向上支援、特別支援教育など	
11	学校園の適正な施設整備や魅力ある運営を行う	学校園の施設管理や整備など	
12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	青少年育成、いじめ問題対策など	
13	地域の産業を担う人材育成を進める	市立産業高校整備など	
14	様々な学びの活動や知識・経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	学習講座等の開催、図書館運営、生涯学習活動推進など	
15	スポーツへの親しみや参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める	スポーツ推進、総合体育館管理など	
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	芸術文化普及、浪切ホール管理など	
17	働きたい人の就労機会の確保を進める	地域就労支援など	
18	市内事業所の労働環境の向上を進める	勤労者互助会支援、労働相談など	
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	障害者福祉団体支援など	
20	高齢者の雇用促進とともに生きがいづくりを進める	老人クラブ運営助成など	
21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	郷土資料等展示、郷土文化普及、濱田青陵賞など	
22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	文化財保護、発掘調査など	
23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	ウエルエージング推進、介護予防など	
24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	救急・救命、市民病院など	
25	平和への意識向上を進める	平和推進など	
26	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	人権啓発、障害者差別解消、国際化推進（多文化共生）など	
27	男女共同参画の取組を進める	男女共同参画、DV 対策など	
28	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	バリアフリー化、住宅改造助成など	
29	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくりを進める	地域支え合い体制づくり、日本赤十字支援、地域包括支援など	

項 目		主な取組など	記入欄
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	介護認定、サービス費給付など	
31	医療保険制度を適切に運営する	国民健康保険、後期高齢者医療など	
32	高齢者が自分らしく生活できている環境をつくる	高齢者支援、認知症ケアなど	
33	障害者が自分らしく生活できている環境をつくる	障害者歯科診療、医療助成など	
34	住宅困窮者に居住支援を行う	市営住宅整備など	
35	生活困窮者などに必要な支援を行う	生活保護、生活困窮者支援相談など	
36	戦争被害者などが安心して生活できる環境をつくる	戦没者家族支援など	
37	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	交通安全対策、駐車対策など	
38	空家を適正に管理するとともに、建築物の安全性を確保する	空家等対策の推進、建築指導など	
39	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	防犯活動、地域防犯活動支援など	
40	安心して、サービスや物の購入など消費行動が行える環境づくりを進める	消費者相談など	
41	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	地域防災計画の推進、耐震化の推進など	
42	発災時にみんなが迅速に対応できる環境づくりを進める	避難行動要支援者支援プランの推進、避難所施設など	
43	火災予防や火災被害を最小限にとどめる取組を進める	消防、火災予防など	
44	環境汚染による健康被害の発生を防ぐ	公害対策、下水道整備など	
45	安全安心な水を安定的に供給する	上水道の管理など	
46	まちの美化を進める	地域美化、不法投棄防止など	
47	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	緑化の推進、公園整備など	
48	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	自然環境の保全、自然資料館など	
49	ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める	ごみの減量化、リサイクルなど	
50	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	地球温暖化対策、気候変動への適応策など	
51	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	企業経営支援、岸和田ブランド、商工業振興など	
52	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が、市内の資源を活用し、活動しやすい環境づくりを進める	企業立地促進など	
53	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	農業振興、水産業振興など	
54	関西国際空港を活かし、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	観光振興、広域観光、城周辺整備、関西国際空港など	
55	まちのイメージを向上させる環境づくりを進める	シティーセールスの推進など	
56	地域の活性化を導く拠点の整備を進める	駅周辺整備、中心市街地活性化、新拠点整備など	
57	拠点へのアクセス性の向上を進める	広域幹線計画、道路整備、バス交通など	
58	適正な土地利用と景観形成を進める	都市計画、景観形成など	

※4R とは、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの総称のことで、ごみの減量に向けた考え方

V あなたのことについてお聞きます。

問24 あなたの性別は？

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問25 あなたの年齢（令和4年5月1日現在の満年齢）は？

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 15～19歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～64歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 65～69歳 |
| 4. 40～49歳 | 8. 70歳以上 |

問26 あなたがお住まいの小学校区は？（校区名が分からない場合は、町丁名を記入してください。）

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1. 中央 | 9. 修斉 | 17. 八木南 |
| 2. 城内 | 10. 東葛城 | 18. 山直北 |
| 3. 浜 | 11. 春木 | 19. 城東 |
| 4. 朝陽 | 12. 大芝 | 20. 山直南 |
| 5. 東光 | 13. 城北 | 21. 大宮 |
| 6. 旭 | 14. 新条 | 22. 光明 |
| 7. 太田 | 15. 八木 | 23. 常盤 |
| 8. 天神山 | 16. 八木北 | 24. 山滝 |

※小学校区が分からない場合

⇒ 町 丁目

問27 あなたの職業は？

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 農林漁業 | 6. 専業主婦(夫) |
| 2. 自営業 | 7. 無職 |
| 3. 会社員・公務員、役員 | |
| 4. パート・アルバイト・契約・派遣社員 | |
| 5. 学生 | 8. その他
() |

問28 前問で1から5及び8とお答えの方にお聞きます。あなたの勤務地・通学地は？

- | |
|-------------------|
| 1. 岸和田市 |
| 2. 大阪府内（岸和田市を除く。） |
| 3. 大阪府外 |

問29 あなたの出生地（お生まれ）は？

- | |
|-------------------|
| 1. 岸和田市 |
| 2. 大阪府内（岸和田市を除く。） |
| 3. 大阪府外 |

問30 岸和田市に住んでいる年数は？

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 20年以上 | 3. 5～9年 |
| 2. 10～19年 | 4. 5年未満 |

問31 あなたの（同居している）家族構成は？

- | |
|---------------|
| 1. 単身 |
| 2. 夫婦 |
| 3. 親子（2世代） |
| 4. 親・子・孫（3世代） |
| 5. その他（ ） |

問31-1 前問で3、4、5とお答えの方にお聞きます。あなたを含む同居の家族は何人ですか？

- | | |
|-------|---------|
| 1. 2人 | 3. 4人 |
| 2. 3人 | 4. 5人以上 |

問32 あなたには、現在、養育中の子どもがいらっしゃいますか？

- | |
|--------|
| 1. いる |
| 2. いない |

問32-1 前問で1とお答えの方にお聞きます。養育中のお子さんは、次のどれに該当しますか？（該当する欄に、人数を記入してください。）

- | | 人数 |
|------------------|----|
| 1. 就学前（0～5歳） | |
| 2. 小学生 | |
| 3. 中学生 | |
| 4. それ以外（高校生や大学生） | |

問33 あなたの同居の家族（あなた以外）に、65歳以上の高齢者がいらっしゃいますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問34 あなたは、現在、長期的な病気や障害を抱えていらっしゃいますか？

- | |
|-----------|
| 1. 抱えている |
| 2. 抱えていない |

問34-1 前問で1とお答えの方にお聞きます。あなたは、長期的な病気や障害が原因で日常生活に支障をきたしていらっしゃいますか？

- | |
|-------------|
| 1. 支障がある |
| 2. やや支障がある |
| 3. あまり支障はない |
| 4. 支障はない |

VI 最後に

その他市政に関するご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

令和4年度 市民意識調査結果報告書

2022（令和4）年12月発行

発 行：岸和田市総合政策部企画課

所在地：〒596-8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号

電 話：072-423-9492（直通）

F A X：072-423-6749